夕刊
滿洲日報
四月十三日
發行人 印刷人 編輯人
發行所 大連市東公園町廿一番地 株式會社滿洲日報社

建川少將と方氏
山東警備法を懇談
最初徳州に兵を進め
邦軍撤退と同時に任に就く

【北平十二日發電】公使館附武官建川少將は答禮のため本日午前十一時半光明殿兵營に方振武氏を訪問し約一時間會談したが方振武軍の山東入りは確實なる如く最初徳州まで兵を進め日本軍の撤退を待つて山東鐵道沿線に入り孫良誠軍と協力して警備に當るべき旨及びかした、方氏は馮軍と圓滿に治安維持に任ずると稱したが建川少將は山東入りに當り相當人物を派遣し山東日本官民と融和連絡を圖ることが日本兩方面の利益なる旨を希望した

宗昌氏牟平攻略後
山東鐵沿線に進出せん
日本側に諒解を求む
劉珍年軍には離反者續出す

【北平十二日發電】張宗昌氏は目下牟平攻略を指揮してゐるが劉珍年軍容易に門を開かぬため坑道を掘ち城門を爆破すべく計畫し今明日中に爆破實行の筈で落城は時間の問題とされてゐる、劉軍には離反者多く一昨日之等離反者約三百名の武裝を解除し城外に放逐し事暴露したため蔣氏が激怒して之れが詰問のため馮系要人の來濟を命じたものと傳へられ蔣、馮の暗闘は漸次明かとなる、張宗昌氏は牟平陷落後直に兵を山東鐵道沿線に進出せしむべく日本側の諒解を求めつゝあり

蔣馮の暗闘
漸く明みに出る
蔣氏大いに憤慨す

【漢口十二日發電】蔣介石氏は最近馮軍の態度が口に中央服從を唱へながら湖北山東方面では寧ろ蔣氏と對抗的態度を執つて勝手に兵を動かして居る事實に憤慨し、馮氏の眞意を確めるため廣水にあつた韓復榘氏を當地に呼び寄せたのを手始めとして南京にある鹿鍾麟氏及び馮軍の訓練總長總洪森氏其他を漢口に呼び寄せ、總兩氏は昨日南京を出發したと、一説には馮氏と廣西派とが或種の諒解の下に聯絡を執りつゝあり

松岡勞働代表一行出發（八日夜東京驛で）

反日會撲滅に
商震氏動かん
中央の命令あり次第

【北平十二日發電】衛戍總司令代理商震氏は國民政府より命令あらば即時武力を以て反日會を撲滅すべき意向を持ち政府及び閻錫山氏に指令を仰いだと確聞する

芳澤王兩氏
明午後愈よ會見
午前は堀内、周氏會見

【上海十二日發電】日支交渉は周龍光氏來滬の都合に依り十四日午前中今一度周氏と堀内書記官との間に下交渉をなし同日午後愈王正廷氏と芳澤公使とが會見することに決定した

滿洲の基礎を
築いた後藤伯
明治大正を通じての偉勳者
と、阪谷男語る（東京特電十三日發）

後藤伯とは隨分古くからの知り合で伯が内務省の衛生局長時代私は大藏省主計局の豫算課長であつた、伯は豫算の關係でよく談判に來られた、そしてその遣り口は豫算を必要とする問題はまづ豫算課長に交渉して殆ど

決定的 にして行かれた、で何時も私が相談對手になつたが鋭敏にして進歩的で而も科學的な伯は常に小心翼々たる私とは性格に於て全く違つてゐたが爲めに却てよく氣が合つた日清戰役當時私は廣島の大本營に居つた、戰ひはいよ〳〵勝と決まり傳染病流行地たる支那から凱旋兵は消毒せねばならぬが勝戰で還つて來た兵隊を消毒するのだから餘程確かりした者でないと遣り損なふといふので、この時兒玉大將が石黒男から後藤を推薦して來たがどうだらうと

相談を 受けた、私は勿論最適任と折紙をつけた、さうして豫算も後藤氏の思ひ通り工夫したがその結果大消毒所が出來た、伯はこんな仕事には最適任者であつた、臺灣初代總督としては列國の環視の中に兒玉大將が親任され次で私に民政長官に後藤を連れて行かうと思ふがと相談されたので其時も推薦した、暫く經つと山縣總理大臣から至急呼ばれて行くと「兒玉から臺灣經營のため六千萬圓の

公債を 承認しろと云つて來たが兒玉は氣が違つたのではあるまいか」と大變心配されてゐるので私は後藤長官の遣りそうな事だ、大將が氣が違つたのではないと答へたので公も遂に此の計畫に贊成されたがこの時から伯の手腕も大分認められた様だ、日露戰後私は藏相として滿洲經營をやらねばならなかつたが他所の國に總督も置けないから滿鐵を興すことゝなつた、初代總裁の人選には兒玉大將から相談を受けたので後藤を

推薦し たが大將は其の晩亡くなられ後藤も今更斷ることは出來ぬといふので就任したが私は「金と人とは引受けるから經營に專念してくれ」と云つて各省から人を引き拔き金も八千萬圓調達することを約束した、臺灣と滿洲との

基礎を 二つながら築かれた伯は明治大正を通しての偉勳者である

不戰條約諮詢奏請
當分延期に決定
犬養老や外務當局者を加へて
きのふ重大閣議で

【東京十三日發電】十二日の定例閣議は午後一時より永田町首相官邸に開會、田中首相以下各閣僚出席、政府は不戰條約諮詢奏請の手續きを執るに對して樞府側の險惡なる空氣を緩和する方法を審議する重大閣議なるを以て特に田中首相より犬養長老の出席を懇請し外務省側より吉田、森兩次官、堀田歐米、松永條約兩局長等を招致し其の後外務省に於て本條約の全文に對する研究の結果並に米佛大使より批准を督促し來りたる經過につき説明する處あり
一、樞府に於て數を以て爭ふ快意を以て原文の儘の諮詢を奏請するか
一、樞府の意嚮に聽從して留保すべきか
につき意見の交換を行つた結果政府としては今日の場合樞府と一戰を交えることは不利なりとし遂に一、外務省の諸種の見解を一擲してインザネーム、オブ云々の字句につき留保をなして諮詢を奏請す
より外なしと云ふことに決定したり而して留保批准の條約に及ぼす効果に就いては積極説と消極説の兩論に分れたが閣議は政治的解決策としては留保批准を上策とする、然し之れに就いては提唱國たる米國と重大交渉を生ずることであり且批准後加盟各國が承認するや否やも疑問なるため此の點に關して帝國政府は先づ之れが事情を詳述し留保批准の已むなき事を交渉諒解を求めては如何、從つて諮詢奏請の延期も亦已むを得ないとの意見に到達するに至つたが尚政府の確定的方針として固執することを避け先づ關係方面の諒解を求める事に決した模様で從つて諮詢奏請も延期となる模様である

金子顧問官
首相と懇談
首相官邸で

【東京十三日發電】金子樞密院顧問官は十二日午後五時永田町首相官邸に田中首相を訪問し不戰條約問題に對する樞府側の形勢につき懇談し同四十分辭去した

内田次官
漢口に向ふ

【南京十二日發電】内田海軍政務次官は今朝南京着午後に亘り胡漢民、戴天仇、王正廷氏等を訪問し十二日夜軍艦宇治で漢口に向け上江した

協調的
新提案作成
賠償專門委員會

【パリー十二日發電】獨逸賠償債務最終的解決の賠償專門委員會は十一日の本會議に於てフランス、イギリス、イタリー及びベルギーの四國專門委員は獨逸賠償金總額並に賠償年金の支拂を受くべき債權各國間の配分規定に關して遂に協調的新提案を作成する事に成功したが、右の新案は十三日獨逸側專門委員シヤハト氏に提示するものと期待さる、尚フランス側は今回の新提案は其の要求を五割方削減してゐるものと稱してゐる

文化蒙古を建設
王族會議豫備會議に
哲里木盟長が提案

【長春特電十三日發】蒙古王族會議の豫備會議に於て哲里木盟長は十二日左の如き建議を中央政府に提出し各旗の承認を求めてゐる
一、蒙古の自給自決
二、土地を蒙古人民の公有とし人民及び土地は盟旗がこれを管理す
三、普通學校を設け有爲の人材を外國に留學せしむ
四、各旗に於いて河川の修築、公路の修築をなし郵便局、電信局を各旗は市に新設し電燈、電話を重要都市に設く
六、大規模の工場を起し牧畜業より生ずる毛皮其他を蒙古人の手で加工すること
六、專門家を聘し牧畜の改善を圖ること
七、警察を設け戸口調査工業の奬勵、衛生施設の改善をなし漸次社會の改善を行ふ

トロツキー氏
入獨拒絶

【ベルリン十二日發電】確なる筋より聞くところに依ればトロツキー氏のドイツ入國は拒絶されたと

今朝五時半
後藤伯遂に薨去
きのふから假死狀態

【京都特電十三日發】十二日午前十一時全く絶望狀態に陷つた後藤伯は其後昏睡假死の狀態を續けて遂に覺醒するに至らず近親者に取り圍まれて十三日午前五時半薨去の上府立大學新館階下大廣間に移し簡單なる告別式を行つた上同夜九時五十四分京都驛發列車にて特別靈柩車を增結し家族近親者附添ひ東京の本邸に送ることゝなつた

訂正　昨日夕刊に正午薨去の旨を報じたるは打電者の不用意に出で取扱にも手落ちあり此に訂正す

遺骸は
今夜京都發

【京都十三日發電】今曉五時三十分薨去した後藤新平伯の遺骸は午前九時家族近親者の手に依り納棺した

死面をとる
家族の希望で

【京都十三日發電】後藤伯の薨去につき家族の希望に依り故伯のデスマスクを取ることゝなり、京都市東山線松原下ル上野製作所の荒谷技師は午前六時府立病院に來り伯の病室に入り直にデスマスクを取つた

醫者のいふ事を
よく聞いた
後藤伯の枕頭に詰切つた
主治醫飯塚博士談

【京都特電十三日發】後藤伯の發病以來枕頭に詰め切り主治醫として治療につとめた京都府立病院の飯塚博士は語る
四日朝急報により京都驛に駈けつけ貴賓室で伯の診察をした時之は駄目だと思ひましたが取敢ず病院にお連れしてからの容體は頗る順調でした、そして五日夜少し惡くなつてから一時小康狀態を持續してゐました、伯の内臟は非常に頑強に出來てゐるため一縷の望みをつないでゐたのですが何分老體の上に榮養攝取が少いので衰弱を最もおそれてゐたのですが十日夜から經過面白からず十一日朝から食物の攝取全くなく正午ころから脈搏呼吸がいよ〳〵不整となりました、伯の病狀は左内腦血管の破裂でしたが大體頑健な身體であつたのと絶えず病氣に勝たうといふ努力が涙ぐましい位ゐで醫者の云ふことはよくきかれました

本人も
滿足でせう
嗣子市藏氏談

【京都十三日發電】薨去後の伯病室から出て來た嗣子市藏氏は暗然として語る
いろ〳〵皆様に御心配をかけて申譯ありません、こうした旅先とは云へ多くの博士連中や病院の手厚い看護を受けて本人もさぞ滿足であつたと思ひます、私も非常に感謝して居ります

後藤伯叙位

【東京十三日發電】後藤新平伯病氣危篤の趣き天聽に達するや伯の功勞を思召され左の如く特旨を以て叙位の御沙汰があつた
從二位勳一等　伯爵　後藤新平
叙正二位（以特旨位一級被進）

市會解散は
事件解決後考究
まだ一切考へてはゐない、と
田中大連民政署長談

大連市會の紛糾につれて發生した某被疑事件について一部では東京市の例にならつて市會を解散すべしとの説も起つてゐるが田中民政署長は右の如く語つた
市會乃至市長に關することは太だ遺憾ではあるが今市會を解散しやうなどといふことについては一切考へてゐない、それは司直の手によつて裁かれつゝある被疑事件が泰山鳴動鼠一疋式に終るか將又傳へられるが如き大事件となくて曝け出されるかまだ審理中でその結果を俟たねば何事も考へられないからである

兩派妥協形式で
やつと役員改選
開會前から危かつた
關東州辯護士會總會

關東州辯護士會は十二日午後四時より磐城町扇芳亭に於て總會を開催、會長、副會長、評議員の改選を行つた、之れより先會員の大半は大内氏を會長に小野氏を副會長に推すに一致してゐたが大連市會に於て反對の立場にある相川辯護士は之れを快しとせず密かに齋藤氏を會長に、五十村氏を副會長に推すべく猛運動を開始し、また會員内に於ても之れに策動した者あり兩派に暗雲低迷し一波瀾は免れざるものと觀測され事態容易ならざるものあつた爲め前會長の米岡氏と値賀氏が仲裁に入り兩派妥協の形式で開會、出席者十九名、早速選擧に入り投票を行つた結果
十二票　會長　大内成美氏
十一票　副會長　小野實雄氏
に當選、次いで評議員は高橋、河内山、寺島（顧）、古賀、渡久山の五氏當選、米岡前會長より旅順高等法院移轉に關しては既に設計も完成してゐる故意見あれば新會長に於て述べて貰ひたいとの引繼ぎあり、實に移つたが遂に別項の如き亂闘を惹起した

鮮銀對小寺氏
商事調停か
併し圓滿解決は難い
加藤鮮銀總裁語る

【京城特電十三日發】東上中であつた加藤鮮銀總裁は十二日歸任したが氏は語る
小寺氏の問題は自分の就任當時手を着けたので

最初 は双方共紳士的態度で圓滿解決を望んで居つたが小寺氏の當行に對する負債千五百萬圓の擔保は債務の半分にも足りないにも拘らず當方に一言の挨拶もなく擔保外の財産を擔保として昨年六月勸銀から百五十萬圓借入れたがなほ忍んで交渉して來たが依然として何等の具體案を示さないので昨年八月に競賣の申請をしたのである、處が

俄に 狼狽して前遞信省次官米田氏を以て交渉があつた結果小寺氏が條件に反對したので圓滿解決を見なかつた、同十二月漸く契約書を交換した所が片山理事の手違ひで米田氏も手を退き競賣を實行することになつた、結局は商事調停となる譯だが圓滿解決は至難であらう、何にしろ大正九年から元利金一文も入れないので延滯利子でも九百萬圓あるには驚く、何分債務が大きいのに先方では貰つた氣で居るから始末が惡い、次に日魯漁業の問題に付

當行 は直接の關係は薄い、日露貿易進展も相手會社幹部が相場に手を出す事はよくない、日露貿易進展も相手が第三インターナショナルと密接の關係があるから不安で手の出しやうがない、内地の金融は緩慢である、金解禁に對しては政府でも時期が來れば斷行すると思ふ、漁業銀行の破綻は支那政府に貸付けた元利金が返還されぬのでこの解決を見ぬ限りは日本としても更に資金を出すことは難しいだらう。

在滿在鄕軍人の
勤務演習日割

滿洲在鄕軍人に對する昭和四年度の勤務演習は左の如く決定した
▲步兵（旅順九、遼陽二十、奉天三十三　鐵嶺三十八各聯隊）將校准士官豫備隊九月廿八日より十月廿六日まで後備役九月十五日より九月廿六日迄下士豫備役九月廿八日より十月廿六日迄後備役九月十二日より九月廿六日迄兵卒豫備役九月廿八日より十月廿六日まで後備役九月十二日より九月二十六日迄第一補充兵召集演習は兵卒後備役と同じ教育召集は七月五日より九十日間
▲騎兵（公主嶺二十聯隊）將校准士官下士兵卒第一補充兵（召集演習のみ）豫後備役とも六月十五日より七月六日まで
▲野砲山砲兵（海城廿一聯隊）將校准士官下士は八月一日から八月廿二日まで兵卒第一補充兵は八月七日より八月廿八日まで
▲重砲兵（旅順）將校下士兵卒第一補充兵（召集演習）豫後備役とも六月十日より七月一日迄
▲工兵（遼陽十六聯隊）同上八月一日より八月二十二日まで
▲經理部（旅步九、遼陽步二十、奉天步卅三聯隊）將校相當官及び豫備役准士官九月十二日より十月三日まで後備役准士官九月十二日より九月廿六日まで下士豫備役同上後備役は一年志願者出身者は九月十二日から十月三日までその他は九月十二日から九月廿六日まで
▲衛生部及獸醫部（旅步九、濟步廿、鐵嶺步卅八、海城野廿一聯隊）將校准士官、下士の豫後備役共經理部に同じ兵卒は豫後備役共九月十二日より十月三日まで第一補充兵（召集演習）は九月十二日より九月廿六日迄

寫眞帖を寄贈

今期交替歸國した駐滿第十四師團將卒の勞苦を慰安するため大連木會では旅大今昔の寫眞七八十種よりなる寫眞帖を贈る事となり各方面の贊同を得て直に調製に着手し五月初旬同師團に送附し各隊に配付を依頼する由

大觀小觀

◇不戰條約問題で、名案未だ浮び出ず、當分延期して樞府と「不戰」に決定。
◇壽命が終るか、根氣較べをやる氣でもあるまい。
◇遠慮すべき場合に遠慮せず、盡すべき責任はスツポかす。大連市役所はよほど調子が變だ。
◇蒙古に電燈や電話の出來る案が現はれた。これが本當の啓蒙政策
◇某事件、結局ものになるまいとの噂傳はる。かう書くと今度は司法權の名譽毀損かナ。
◇毀損する筈なきものを毀損されたりと騒ぐ。蓋し自ら名譽を毀損するものか。

天氣豫報

十四日（晴）北西の風一時曇
日出五時二十分日沒六時廿九分
滿潮前六時卅五分後一時十分
干潮前六時卅五分後七時四五分

各地の溫度

大連	七、二	五、六
旅順	六、五	四、三
營口	二、五	一、七
奉天	一、〇	〇、八
長春	二、九	〇、四

聯合艦隊出發す
第一、二艦隊相前後して 秦皇島仁川へ

碇泊七日間、大連港内外を壓して軍艦の港と化せしめた聯合艦隊第一、第二艦隊は軍艦便乘に或ひは武道試合に軍樂隊の演奏會に又は相撲大會に、講演會にあらゆる機會にあらゆる方法をもつて我海軍の威力を公開し幾多の海軍ファンを作つたが、十三日朝午前九時過ぎ第二艦隊は第一艦隊に先だつて拔錨、旗艦榛名を先頭に比叡その他廿四隻の艨艟が舳を揃へて黄海を眞直に仁川に向つて出發した、第一艦隊は秦皇島に向ふべく午後三時半旗艦陸奥をさきに山城日向とその堂々たる編成ぶりをもつて約三十餘隻が、午後五時迄に出港した

高松宮殿下に伺候し拜謁
旅大官民兩艦隊を訪ふて 別れの挨拶を交す

これよりさき關東廳よりは藤岡警務、神田内務兩局長、その他村岡關東軍司令官、宮地第十四師團長、久保田駐在武官、二宮憲兵隊長、大山市長等同じく大連民政署より田中民政署長、高山、寺田、荻野谷長山市内各署長、滿鐵より藤根理事、牧野囑託等が午後八時と云ふに滿鐵差廻しの小蒸汽黒島丸によつて榛名御乘艦の高松宮殿下に御別れ言上の爲め榛名に伺候、一行中の主だちたる人々は殿下に拜謁仰せつけられ、大角第二艦隊司令長官等にも別れをおしんで離艦、次に聯合艦隊旗艦たる陸奥に向つた、しかるにこの日は昨日來の波風荒きまゝに艦に近よれずやむを得ず艦の周圍を旋回して一同帽子を打ちふり別れを告ぐ、陸奥よりも谷口聯合艦隊司令長官が態々艦上に現はれ同じく擧手の禮をもつてこれに應えるところあつた

高松宮殿下より 酒肴料を御下賜
田中署長が代表し拜受

第二艦隊の出港に際し御挨拶のため旗艦榛名に伺候した田中民政署長は鮫島御附武官の手を經て高松宮殿下御下賜の御酒肴料を山崎滿洲日報社長、中島燕業會社々長、森重金州民政支署長、本山日清油房常務、田中大連民政署長、石本大連市長、藤井民政署庶務課長、藤原旅順民政署長の八名の代表として拜受し歸署後夫れ〲傳達したがこの外宮殿下には關東廳の高等官、在連中の滿鐵重役、高柳牧野兩囑託藤井秘書役、山崎文書課長旅順大連の各警察署長高崎鋒鈔專務、柄澤裕泰洋行主等へも夫れ〲御酒肴料を御下賜遊ばされた【寫眞は本社長へ御下賜の御酒肴料】

旅大官民に長官から謝辭

谷口聯合艦隊司令長官は十三日正午久保田駐在武官を通じ旅大の官民に左のメッセージの傳達を無電によつて送つて來た

大連民政署長及大連市長へ
當艦乘員貴地に於て官民御一同より熱誠なる歡迎を受け深謝に不堪出港に際し乘員一同を代表し厚く御禮申上ぐ尚益々官民各位の御健勝と御發展を祈る
右關係各方面へ御傳へを乞ふ

旅順官民各部代表へ
御厚禮を謝す御機嫌よろしく

名士を乘せ門司出帆
新船うらる丸

【門司十三日發電】大阪商船會社の大連航路新造船うらる丸は十三日朝初就航の途次門司に入港同船では關門の名士百餘名を同船に招待午前十時より船内に於て就航披露宴を張り盛會を極めた
尚ほ同船は午後一時出帆し大連に向つたが新造船の事とて乘客多く一等三十名二等九十二名三等四百五十名で殆んど滿員である木下長官夫妻及滿日社長山崎猛氏等知名の士が乘船して居る

雪で電線故障

奉天附近降雪の爲東京大連線及京城大連局管内各電信線を始め遞信線は昨日午前九時半頃より奉天蘇家屯間に於て殆ど全線共不通となつたが同十一時半頃より漸次恢復し午後二時半迄には全部恢復した

明夏決行を目標に
第二次の横斷飛行計畫
愼重な態度を執る帝國飛行協會

【東京十三日發電】帝國飛行協會では曩に太平洋横斷飛行計畫の後始末として川西製作所との間に解決の爲め過日來屢々川西側と折衝を重ねてゐたが

一、川西は一、二號機製作に要した費用約十六萬圓を協會に寄附する名目の下に受け取らず此の二臺は川西の所有とし一切其の自由處分に委す

一、横斷飛行には堪へざりしも兎も角優秀の飛行機を作つた川西の功に對し協會から奬勵の意味にて金三萬圓を寄附す

との條件で話が纏まつたので十一日午後三時から理事會を開き阪谷會長から之を報告し滿場一致之を承認した、之に依つて愈協會では第二次の横斷計畫に入ることゝなつたが、今度は愼重な態度を採り明夏決行を目標として大體次の如き方法を採ることゝなつた

一、太平洋斷横の能力ある飛行機の製作を第一とし此の費用二十萬圓は富豪の寄附を募る

一、斯くて航空局の斷行證明書を得て成功の確信がついてから初めて太平洋横斷飛行の計畫を發表し全國的の後援を俟つて擧行する

支那女誘拐犯

小崗子署司法係では露天市場一區四十三號料理店營業常殿海(三一)を引致し取調中であるが常は婦女誘拐の常習者で一昨年天津支那官憲に懲役四ケ月に處せられたが性こりもなく更に本年三月天津より三名の婦女を誘拐し來り内一名は小鳳なる妓名で自宅に娼妓稼業を爲さしめ内一名は小洋六百圓で瓦房店平康里八號李某方へ賣飛ばした事實があるが尚他に餘罪ある見込で嚴重取調中

支那海賊團の一味
蘆山丸奪取を圖る
怖るべき船員全部慘殺の陰謀
出帆直前に暴露す

【上海十二日發電】當地から廣東に通ふ日支汽船蘆山丸の乘組員全部を慘殺し汽船を荷物ごと奪ひ去らんとする一味十八名の海賊團の計畫が同船出帆二、三時間前に暴露し犯人の一味を逮捕した事件が今朝あつた、今朝六時頃黄浦江岸のガーデンブリッジ附近で擧動不審の一支那人を捕へ身體檢査をしたところ携帶せる乾葡萄箱にピストルを充滿して居たので工部局の警察に拉致し嚴重取調べの結果本日午前十一時半出帆の前記蘆山丸の航海中安川船長以下船員全部を射殺し船ぐるみ奪はんとする海賊團の一部なることを自白し、同船には船長運轉士機關士其の他の役目を努める一味徒黨十八名がそれ〲旅客に扮裝して乘込む豫定なることをも自白した急報に接し總領事館警察は總動員にて海賊團九名を捕縛したが殘りの者は行方不明となり目下搜索中なるが支那海賊團が三千噸からの日本定期航路船を奪はんとしたことは始めてゞ各船會社は大恐慌を來してゐる

愈よ明日から關東州野球大會
午前十時に入場式、興味ある二試合

大連に在住する野球名選手總動員の觀ある關東州野球大會はいよ〱明十四日午前十時より中央公園滿倶球場に擧行する、參加ティームは精鋭をすぐつた十ティーム、參加選手は總勢實に百四十名、曾て滿倶實業の花形選手だつた球界に名だたる古つはものがあれば、同じく今を時めく滿實兩軍の現役選手としてファンの注視を集めてゐる新鋭あり、更に本年度初めて實滿兩軍に加入した新顔選手もあり、或は工專、工大、大商の如き意氣と熱をもつて立つ學生團のごとき本年新入學の有力選手を多く有する點、特に大商のごときティームの全部に大變革が行はれ、殆ど新進選手を以て組織された新ティームが如何なる程度まで大會に活躍するか相當に興味のある點であり、沙河口工場ティームが傳統的の不撓不屈の粘り強さを以て戰ふところ大敵を惱ますものと見られてゐる、當日は午前十時より參加ティームの入場式、優勝旗返還式後小日山大會委員長、飯塚審判委員長のバッテリーで始球式を行ひ、同十時三十分より國際對鐵道部の試合を球審岩瀨五郎氏、壘審[illegible]氏で行ひ右終了後午後三時より工專對工大の試合を球審中島讓氏、壘審兒玉政雄氏で行ふ豫定である、當日の觀覽席は本紙に刷込の入場券を要する、内野網球外は全部解放である

出場チームの主將
「左上から」北川(消費)山本(用度)矢田(鐵道部)介田(滿電)伊藤(鐵道事務所)「右上から」高橋(國際)梅本(大商)野田(沙河口工場)向田(工專)池ノ江(工大)

不可解極る
市役所の態度
重大な責任を無視し 非難の聲が高かまる

大連市役所は聯合艦隊の入港に際して或は單獨で或は滿鐵、海軍協會、海務協會、滿洲日報社等との共同主催で幾多の催しをなし殊に滿鐵道場に於ける柔劍道大會及び大連運動場に於けるラグビー試合には畏くも高松宮殿下の御臨を仰ぐの

光榮 に浴したに拘らず艦隊側から「其儀に及ばず」との沙汰があつたからといふを理由として殿下へ對し奉りての御禮言上にも伺候せず更に十三日朝出港にさきだち別辭の交換が行はれたときにも關係各機關が夥しく出席したに拘らず市からは一人も顏を出さなかつた、石本市長は假りに御遠慮申しあげたとしても之を

補佐 すべき小數賀助役のあるに一人も出頭しないのは大連市民の代表として重大なる責任を無視したものであるとして非難の聲が高い

第十四回關東州野球大會
讀者席入場券(一枚一人に限る)
(四月十四日より會期中有効、於滿倶球場)
主催 滿洲日報社

第十四回關東州野球大會
讀者席入場券(一枚一人に限る)
(四月十四日より會期中有効、於滿倶球場)
主催 滿洲日報社

大内、相川兩派が
快樂で亂鬪を演ず
相川氏と小野氏の口論から
辯護士會員の劍劇

十二日夜開かれた關東州辯護士會は別項(第一面)の如く役員選擧を行つて後、其の結果に憤慨せる相川氏は先づ高橋氏と摑み合をなさん計りの口論をやり一方齋藤氏對松谷、竹田兩氏の激論行はれ蜂の巢をつゝいたやうに亂れた揚句大内派は晩翠軒に相川派は快樂に流れ込み二次會に移つたが兩派合流の妥協成り晩翠組も引揚げて快樂に

乘り込み 立川、鹽田、米岡三氏を除く十六名は二階散財部屋にづらりと並び始めは酒よ女よと戲談も言ひ合つてゐたが、突如相川氏は向側に座を占めてゐた小野副會長に對し「オイ小野君、君は生意氣だ、自重しろ」と血相を變へて問き直つて來たので、小野氏は「自重しろと言はれても何を自重するのか、自分は自分の信じてゐる處を遂行してゐるまでである」と答へたがこの時既に

激憤 してゐる相川氏は「何！生意氣奴が——」と言ひざま自分の前にあるコップのビールを投げつけ小野氏の頭から顏面一帶にビールを浴せかけたので古賀氏は相川氏の後方より抱き止め制止したがこの時氣早な連中は相川氏を取り卷き滅茶苦茶に鐵拳で毆打し相川氏もまた之れに抵抗して大活劇を演じた

原因は何か
三辯護士夫々かたる

右に關し小野氏は語る
相川氏はこの前の軍人宿泊問題から會長の椅子を離れた經緯などあり、今回の會長改選にも皮肉策を用ひ自己の反對の立場にある某氏を擔ぎ上げやうとして失敗した爲め胸中面白からざるものがあつたであらう、自分に對しては「副會長になつたからつて今後生意氣にするな」等と云ふから自分は「生意氣か生意氣でないか今後の態度を見て欲しい」と云つた、然うしたら相川氏は俄かに激昂して矢庭に僕の顏へビールを打つかけて挑みかゝつて來た、僕も今考へて見れば濕かつたが盃洗の水を打つかけてやりました、

また相川辯護士は語る
原因は別に何もない、只醉拂つた揚句の口喧嘩だ、けふは二日醉で頭が痛くつて寢てゐる

更に席を同じうした某辯護士は語る
小野君は大體喧嘩するやうな男でないがあの場合に處しても只盃洗の水をかけた丈けで泰然自若として少しも反抗せず紳士としての體面を保つてゐた事は實に感心する、併し隨分不愉快であつたと見えて事件が濟んだ後も「オイ氣を取り直して飲み給へ」と盃をさしても終りまでその座を去らず浮かぬ顏して飲んでゐた

說敎判決
懲役七年

大連市民を脅かした說敎強盜松村藤吉に係る公判は十三日午前十一時大連地方法院に於て開廷野本判官は懲役七年を言渡した

南船北馬

◇……杏の花は綻び泥柳も芽を吹いて花には早いが行樂の好季節が訪れた

◇……あすの日曜日の天候は風もおさまり曇模樣であつても大丈夫、若草山の觀測

◇……支那側で湯崗子温泉對翠閣東方の土地約二十天地を買占め中學校を設置する計畫中であると【鞍山發】

◇……二日朝來撫順では氣温が低下し、攝氏三度一を示し午前十時半頃から牡丹雪が降り出した 數年前四月一日に雪が降つたが四月半に雪が降つたのは珍らしいと【撫順發】

◇……圓卓騎士團(ナイツオブ、ラウンドテーブル)は本日新會員として松平恒雄氏を招待して盛宴を張つた 其の際松平氏は演說して、秩父宮殿下東郷元帥其の他日本の名流が此の團體の會員となつてゐる事を回想し英國の紳士道と日本の武士道は全く酷似してゐる、と結んだ【倫敦十一日發電】

日曜の催し

▲本社主催フルマラソン 午後一時より
▲關東州野球大會 午前十時より滿倶球場において擧行
▲組合基督教會 東京巣鴨教會牧師野口末彦氏午前十時半よりイエスの體驗の講演
▲本願寺關東別院 午後二時より悟と救赤星布教使本願と名號岩本輪番助勤
▲救世軍大連小隊 午前十時獻身者の生活西部大尉午後七時半神の淋しさ波山小隊候補生
▲日本基督教會 午前十時鏑理の神白井牧師午後七時半天父の御前に手塚長老
▲幼棋會主催ヘボ將棋第二回月次會 正午より松山臺フヂウム温泉に開催同好者の參會を歡迎すると
▲大連稿會 午後六時半より市内岩代町遊樂館において法照院大津旭史氏送別琵琶演奏會
▲觀水會素謠會 午後一時より楓町中堂疏範宅にて開催

金剛呪門 (208)

山中峰太郎作
小田富彌畫

阿呆の尾行

——場面は西陣の番所へ移る……

四郎の十兵衛と、なほ一人の男を緒方維六の邸から、捕手たちに曳かせてきた隼、訊問するより先に、朝早く女呂の家から運んできた武士の屍骸といふのを、まづ檢視した。

「ウム、この男か！……」

所司代を路に襲つて、孫彦と互格に闘つてゐた覆面の男に、骨格が紛れもない。

「これが、十合の邸から、金剛盤を掠つたと？」

「さやうで。もう一人、十合の家で斬り斃された浪人體の男と、二人が御用と僞つて入つてきたと、屆けてきた者が申しますんで。しかし、金剛盤の行方は、まだどうも何とも分りませぬ」

と、土間に寢かしてある眞木兵助の屍骸を、傍で見ながら番士長が、委細を報告する。

「も一人の男は？」

「え、それは、まだ、十合の家の方に」

「なぜだな？」

「と申しますのは、十合の番頭も斬り斃されましたんで、そのまゝ親分に見てもらひたいと、かう私が思ひまして」

「幾つ屍體を見ても、金剛盤の行方は分るまい」

「へえ……」

「が、とにかく十合の方へ、見舞がてらに行くとしよう。桂五郎さん、十合の御主人に、引合せて貰ひたいが」

と、振り向く傍に立つてる桂五郎、

「行きませう。親分が見えれア、あすこの皆が安心しますしな。お京も、あすこへ歸つてきませうから」

「では、案内して貰はうか。番士長、二人の捕物をこのまゝ打ちこんでおけ！」

虛無僧すがたの隼、桂五郎と連れだつて、番所を出ると、十合の邸へ足を向けた。

路々に、昨夜の亂闘の始末を、隼、殘りなく語る桂五郎、それを聞く隼、

「いや、結局、朱雀組といふ一黨の奴原が、かうした騷ぎを捲き起したのだ。御時勢が變つてくると、いろんな奴が黨派を結んで、よくない騷ぎを企らみをる。油斷のできない世の中になつてきたものだ」

「で、なんですかい、八坂の捕物の上臈といふのも、やはりその、北大路卿の奥方だとか、さういふ向きの？」

「いゝや、違ふ。白洲でその方の水も向けてみたのだが、あの女、北大路卿の居所さへ、すこしも知らずにゐるからな。いや何とも、公卿の奥方といふ柄ぢやない。毒婦だな」

「では、正體は？」

「まだ分らぬ。今に紲げてくるだらう」

「今さきの緒方維六といふオランダ醫者と、繋がりがありますんで？」

「さア？、まづ無からうか」

「あすこの藏の中にあつた屍骸は、どうした殺され樣を？」

「藥と見た、が、オランダ醫者の使ふ藥が、おれには分らぬ。あゝ、桂さん！」

「えッ、なんで？」

「後を見なさい」

「え？」

と、振りかへつた桂五郎、鼻のさきで笑ひ出した。

「フ、成程、あの阿呆が、まだ尾けてきてますな」

「煩さい阿呆だ。十合の家まで來るだらう。あいつ……お京さんを戀つてる。油斷をすると、ああいふ阿呆が反つて恐ろしい」

「〇に十字の燒印がある鍬だなんて、さツぱり分らんことを、ぬかしをりましたが……？」

「ハ、、、何か目星をつけたのだらう。江戸の隱密の遣り口だな、桂さん」

「と言ひますと？」

「何か一つの小さな手掛りから、ズル／＼と手蔓を引きださうとする。早い樣で間ぬるい。確かな樣で目星を外す」

「成程……」

二人が親げに話して行く後から、チンバを引き／＼尾けてくる乙藏……畜生ツ！「この俺を、除け者にしやがツたな、今に見やがれ奴！天龍寺の墓發きを！……洗つてくれるぞ、あの桂五郎をどこへ、隼の奴、送りこんぢまやがつた？」

と、跛を振りながら、路の片端を歩いてくる。十合の邸の横路である。

映畫と演藝

東亞は家庭向トーキー製作

日活、松竹、マキノと此の頃我國にも漸くトーキー時代を招致せんと策動して居るが、今回東亞キネマでも小野技術部長、仁科監督に命じて其の具體化に着手した、其の第一着手として最初は二三卷物の實寫に依つて試み引續き時代劇をレビュー的に撮影し、將來の對策から家庭向トーキーを製作する事になつた

第三週の映畫陣 各館上映々畫

四月第二週の映畫界は上映々畫よりも寧ろ突發した各社の配給系統動搖說が興味の中心となつた模樣であつたが、大連全市を艦隊化した聯合艦隊の出港で第三週は愈よ春シーズン映畫戰の最高頂に近づきつゝある問題の帝國館は早くより樂譜入りのパンフレット其他で宣傳しつゝあつた八雲惠美子主演の松竹小唄映畫「君戀し」をいよ／＼上映するが各社の「君戀し」中最もキヤストの光つた作品である、これに對抗して常に小唄映畫で大衆ファンを吸集しつゝある演藝館にては同館一流の興行法により「君戀し」と銘打つた所謂小唄映畫を上映し松竹の「君戀し」の向ふを張ると共に時代劇はマキノ特作品の「浪人街第一話 樂屋風呂解決篇」を公開し更にコロンビア映畫の「ザブマリン」（潛水艇）を以て陣容を固め必勝を期してゐる、浪速館は問題の人大河内傳次郎の人氣を以て押切らんとし池田富保監督の赤穗義士三部曲の一つである大河内傳次郎主演の「天野屋利兵衞」を上映するから結局演藝館と浪速館の對戰となるだらうと觀られてゐる

みたまゝ 映畫 サブマリン 演藝館上映

深海の威嚇と闘ふ勇敢な潛水艇乘組員と潛水夫の息詰るやうな命を賭した潛水作業を中心に米海軍S四十四號の事件を劇化しメロドラマ的なエピソーズを點綴して興味深く製作されたコロンビア映畫である、先づ興味は潛水艇を取扱つたところにあるが、この映畫の持つ迫眞性は物凄いものがある、この映畫ほど力強い迫眞性を持つ映畫は珍しい、海底に遭難した潛水艇に刻々に迫る死の手、海上に於ける泪ぐましい潛水作業の尊い犧牲、涙なしに見てゐられない場面の連續である、友情愛をテーマにしてそのプロットに闇の女を配しガターのテクニックに情慾の葛藤を描き出してメロドラマ的に筋を運んでゆく邊、また遺憾なく明るいメリケン水兵氣質を織込んだユーモア等監督フランク、キヤプラ氏の腕は次第に冴えて最後の息もつかせぬスピード、自動艇から飛行機へ そして底知れぬ海底へ——正確なテンポを以てぐん／＼觀客を引づつて行く、ジヤツク、ドーガンのジヤツク、ホルトとボツブ、メイスンのラルフ、グレイヴスの氣持よい二重奏、エロテイシズムの豐な闇の女スナツグルに扮したドロシー、レヴイア孃のコケテイツシユな演技、前半から後半への美事な轉換等近來稀に見る傑作の一として推賞に價するものがある

協和會館映畫 スピーディ封切

大連滿鐵社員倶樂部主催で來る十五日午後七時から協和會館に於てパラマウント社特作品「ロイドのスピーディ」八卷及びダニエルス孃主演「男裝女劍客」八卷を上映、會費は大人五十錢、小人三十錢會員外八十錢である

僞稱劇團注意

朝鮮國境の警備を主題とし警備劇を組織し鮮內各地を巡業して總督府及び警務局の證認應援を得た如き宣傳で觀客を吸集する東京八王寺浦島讓治一行は僞稱してゐるものであるからとの通知が關東廳內務局に達し各警察署では注意してゐる

噂話

浪速館では十五日から大河内傳次郎主演の「天野屋利兵衞」を上映するが大河内傳次郎が日活復歸に決定し來る廿一日頃復社するといふので▲日活歸社記念興行と銘打つて花柳界全部にハガキを以て華々しく宣傳▲ところがマキノ出張所ではそんな筈はないと一笑に附して机の抽斗から▲大河内を日活で返してくれといつてゐるが返さぬといふ電報を見せる▲松竹との解約問題で大阪に行つた林帝國館主が家主の花月館代表者河合氏を伴つて行つた事は可成り映畫人から興味を以て見られてゐる▲また一方では從業員の暗闘を中心に盛んな流言蜚語が傳へられてゐる▲兎に角帝國館問題の落ちつき先は來る十六七日頃には目鼻がつくだらうが大連映畫界の紛糾はこれから愈よ本舞臺に入るのだらうといふ見解も下されて賑やかなこと

滿洲日報

青島商埠局引繼ぎ協定圓滿に成立す

南京政府代表と趙祺總辦の間に

新市長は陳中孚氏か

【青島特電十三日發】濟南では來る十六日より馮玉祥氏の部下孫良誠軍を入れて諸般の事務を引繼ぎ漸次膠濟沿線に及ぶことになつてゐるが、青島商埠局の行政事務は來る十五日張宗昌氏時代からの總辦である趙祺氏から南京政府より接收委員として任命され陳中孚氏に圓滿に引繼ぎをなす事に本朝兩者の間に協定が成立した、從つて青島にも十五日から青天白日旗が飜る引繼後の青島市長には多分陳中孚氏が任命される事であらう

蔣氏、張馮氏らを促し膠東方面の總攻擊

張軍の劉軍攻擊依然進捗せず

褚氏の戰死說傳はる

【東京十三日發電】青島發某所着劉珍年軍に對する張宗昌軍の攻擊は既に旬日に亙るも依然進捗せず却つて張軍に損害多きもの丶如く且つ眞疑不明なるも褚玉璞氏は過日牟平の戰鬪で戰死したと、一方蔣介石氏は張學良氏に對し軍艦を龍口に派遣し張宗昌氏を討伐すべきことを要求、次で張學良氏の回答あり次第膠東方面の總攻擊令を下し各軍を前進せしむる豫定で馮玉祥氏にも然るべく實行方電命したと

全軍武勝關に撤退するやう正式命令を發した、之が爲同方面に於ける蔣、馮兩軍の危機緩和され當分戰事行動に移ることはないであらう

南京政府幹部の更迭

【奉天特信】南京に於ける中央政府では武漢討伐も一段落は近く蔣氏の歸來を見ると共に政府要路の大更迭を行ふ由で其際張學良氏は南京方面の某重要なる要職の椅子を與へらる丶由傳へられつ丶ある

拜謁仰付けられ對支外交經過並に不戰條約問題に關し奏上し御下問に奉答するところあり午後一時三十分退下した

共和同盟軍陝西に支部

西安府を攻擊

當地某所着電によれば陝西省漢中の吳新田師長は吳佩孚氏の指揮をうけ部下千五百名を率ゐ去る六日同地を出發西安攻擊を開始し引續き攻鬪中であるが附近の民團縣警察等は續々吳軍に加はり十二日陝西に共和同盟軍支部を組織した

韓復渠軍に撤退命令

蔣馮の危機去る

【北平十三日發電】馮玉祥は十日附にて湖北進入の韓復渠軍に對し

田中首相參內

【東京十三日發】田中首相は十三日午後一時宮中に參內天皇陛下に

獨逸賠償年賦額

【パリー十三日發電】ドイツ賠償債務最後的解決の賠償專門委員會十二日の本會議に於て作成された聯合國側の賠償新提案は賠償年賦金を今後三十七年間十八億馬克乃至二十四億馬克と規定しその後の二十二年間は十七億馬克と定むるものと解せらる

解決案文の字句修正も終る

日支三懸案交涉につき

堀內書記官語る

【上海十三日發電】南京での豫備交涉を終へた堀內書記官一行は今朝七時着列車で王正廷氏と同車來滬した堀內書記官は語る前後數回の豫備交涉で南京、漢口事件解決案文及び條約廢棄問題に關する交換公文の字句修正も出來上つたから次回の兩全權の會見で正式承認を得れば調印となるのだが日本は樞密院に諮詢しなければならぬから次回の會見では調印出來まい排日取締に關しては芳澤公使より詰問する筈である

軍縮開催商議を米政府否定

【ワシントン十二日發電】ホワイトハウスでは海軍々縮商議の爲め近く國際會議を開くアメリカ、イギリス間に於ては非公式商議行はれつ丶ある報導を公式に否定した、而して來る十五日よりゼネバーに開かる國際聯盟軍縮準備委員會の爲め渡歐の途に在るアメリカ首席代表ヒユー、ギブソン氏は國際海軍々縮會議開催の交涉に就ては本國政府より何等の訓令を受けて居らぬと

トルコ大使外相を訪ふ

【東京十三日發電】新任トルコ大使チエベット氏は十三日午前十一時外務省に田中外相を非公式に訪問

日歐間の電報に一新紀元を

名古屋無電局完成で

早くて料金も安い

【東京十三日發電】日本、歐羅巴間の電報は從來大部分外國電信會社の海底線經由に依り取扱はれ、その不利負擔から直接連絡設備の必要は多年痛切に感じられて來たところなるが、今回日本無電會社が六百萬圓を投じて建設した名古屋附近依佐美に在る名古屋無電局送信所の完成せることに依り日歐間の通信連絡に一新紀元を劃することとなつた、事業開始は來る十五日よりとなつてゐるが、これと同時に歐洲より日本に來る無電は從來の時間通信を廢し無休通信とし年中間斷なく通信することとなつた、この結果日歐間の電報は從前に比し著しく迅速するのみならず、中繼に起因する誤りその他の事項も大いに減少すべく又料金は通常電報一語につき一圓三十八錢、新聞電報一語につき四十錢で支那を經由する電報料金に比べると通常料金に於て一語三十二錢新聞電報二十五錢低廉である、尙長崎、上海經由歐洲あて電報料金も名古屋無線局經由電報料金と同額に低減した、因に名古屋無線局經由を希望する歐洲各地あて電報に對しては經過線路を「N G」と指定されたいと

獨露調停和解條約

【ベルリン十二日發電】獨逸外相ストレーゼマン氏と駐獨露西亞大使クレスチンスキー氏は去る一月廿五日莫斯科に於て締結せられた獨露調停和解條約批准の文書に調印し即時効力を發生した

聖旨を拜して戶田理學士が東印度へ

生物學御研究の資料採取に

【東京十三日發電】宮內省內匠寮囑託理學士戶田康保(□□)氏は、天皇陛下の生物學研究の思召を拜して個人の資格にて來る五月九日神戶出帆の加茂丸にて蘭領東印度に赴き三ケ月の豫定にて同地方特殊の植物採收を爲し歸京後新宿御苑にこれを移植し天皇陛下の御研究資料に供し奉る事になつた

蒙古王族會議十五日から開く

【長春特電十三日發】蒙古王族會議の正式會議は十三日午後一時から各旗代表の茶話會を催し協議の結果十五日より交涉處に於て正式會議を開くことになつた

不戰條約案問題と關係當事者の進退

政府が折れて留保を認めれば後に殘る責任問題

【東京十三日發電】不戰條約問題に關し政府は大體樞府の留保主張に從ふことゝなり先づ米國の諒解を求むることゝなり樞府の主張通り政府が折れて出れば先づ本案は大した論難を見ずに樞府を通過するものと見られてゐるが、此處に問題として新に發生するものは當時の特派全權たる內田顧問官の責任問題である、字句の留保は如何に務(文官)も亦自然に責任問題が及ぶ譯でありしかする時は餘儀外相にも內田全權の面目に拘るもので重大なる難案である、更に內田伯にしてその進退問題に觸る丶以上本條約に携はつた直接の責任者たる松平駐英大使(當時の駐米大使)及び出淵駐米大使(當時の外務次官)も自然餘波の及ぶこと丶なり之等の點は大いに注目されてゐる

朝鮮博協議會

關係主任集合

【京城特電十二日發】朝鮮博覽會では十二日午前九時から日本全國の博覽會關係主任者を招き本府第一會議室に於て協議會を開いた、出席者は鐵道省、滿洲、臺灣、北海道及び各府縣六十餘名、山梨總督の挨拶につぎ今村殖產局長より朝鮮博覽會の大樣につき說明し、小島課長より各項につき逐一應答し各主任者何れも非常な意氣込みにて審議し午後四時から實地視察をした

徵兵會議開催

關東軍司令部にては十五、六の兩日に亙り午前十時半から午後四時まで徵兵會議を開催、第一日は村岡軍司令官の訓示、三宅參謀長、宮崎軍醫部長の說明あり各沿線からは大隊長及軍醫が出席すると

對外爲替軟弱

【神戶十三日發電】對外爲替市場は交換所大會における三土藏相の演說が金解禁に對して何等の新味なきため軟弱步調となり、一方內地銀行に遊資橫溢し資金の處分難顯著なるものあり朝來生絲ビルの出廻りも正金その他の銀行に極力吸收されて市場に出廻らぬため一向響かず近物買旺盛でヂリ安商狀である

大連春季競馬

今期も四日間か

貴衆兩院を通過した競馬法の改正に伴ひ關東廳管下の競馬も從來の開期四日を六日にすることができることになつたが大連で來る四月廿八、九及五月四、五の四日間に亙り開催する春季競馬はこれまで通りとし、別に六日間の開期を關東廳に申請してはをらぬから今回は四日で終る豫定であらう、右につき倉賀野技師は語る

四日間の開期が六日間になつたことは內地法の競馬法に基くのであるが、其結果假令敗け馬でも最後は選に入ることになり馬種改良の見地からよいことである

綿織糸の內地輸出

關東州內特惠關稅實施に伴ふ綿織絲の內地輸出に關し關東廳として數量の制限をすることになり五月三十一日までに、本年九月一日から昭和五年八月卅一日までの一ケ年間の豫定數を斯業者から報告せしめると

大連神社月次祭

大連神社では十五日午前十時から氏子代參富番町西通區の氏子役員等參列のうへ月次祭典執行するが、尙當日は一般參拜者のため早朝より祓神樂を奉仕し神酒御供物を頒與すると

後藤新平伯

（上）柳絅

大半の行旅に附隨すると共に、其の間日夜、伯自身の經歷談を聽き、政界裏面史を敎へられ、當面の時務に對する批判を耳にした。伯の壯年時代を彩る板垣伯遭難事件の如き、或は相馬事件の如き、更に政界に入つては臺灣、滿鐵時代の植民地行政の創始、桂、寺內兩閣時代の活躍の如き、又近くは對露交涉經過の如き、頗る細微にわたつて聽かせられたのであるが、筆者の健忘にして不用意なる、其の全部を記錄し置かなかつたことを今日に於て悔ゆること切なるものがある。

◇伯は常に所謂大風呂敷、脫線家てふ世評を受けて常に斯く言ふのであつた「俺を大風呂敷といふのは、ハンケチに包むほどの見識も持ち合せぬ連中のいふことだ、臺灣、滿洲を見よ、東京の復興計畫を見よ、今日に於て世人は漸く我輩の意圖を諒解したであらう」と、又「我輩は常に大中至正の中道を行つてゐる。之を脫線だなどゝいふ奴こそ自ら脫線してゐるのだ」と。伯は又鐵道廣軌論の主唱者であり、現在の我鐵道が狹軌によつて少からざる損失を招いてゐることを切論し「我國民多數の頭がナーローケージだから何を言つても駄目だ」と痛罵してゐたものである。

後藤伯の死を悼んで

滿蒙權益の基礎を固めた人

多くの重大使命を果してある

首相、生前の伯を語る

人氣

發病

政治　は須く公明正大で

子供のころから小生意氣だつた

然し熱心は買つてやらねば……

幼友達の齋藤實子談

後藤とは少年時代からの友だ、その後進む道が違つてゐたが、しかし竹馬の仲であつたから自分にはあの男が世間で云ふ程偉い人間だつた、とも思へぬが、兎に角異色のある人間だつた、十三、四の頃から小生意氣なことを云はなければならぬ等と小生意氣な口をきいて吾々を煙に卷いたが晩年政治の倫理化等夢中になつたところを見ると三つ兒の魂百迄もの通りだつた、彼は奇策縱橫色んな案をつくつたがいざ實行となると何時も押され氣味だつた、しかし熱心なことは驚くべきことで事の可否は別としてその點は買つてやらねばなるまい、世間では

彼を　大風呂敷と云つたやうな惡口を云つてゐたがしかし彼はこの點でも無邪氣に己の考へ通りやつてのけた迄で、自分等はあの男が何をやり出しても驚きもしなかつた代りに感服もせず相變らずやつてゐるな位に考へてゐた、しかし彼にも小さなところに氣を配るところ、即ち小心翼々と云つた所があつたし、又その一面には一つの意見をたて丶押し通すところもあつた、そんな事から

世間　に誤解され通しであつたが、自分はあの男の氣質を知つてゐるから氣の毒だと同情してゐたものだ、政治家は馬鹿な者だと考へてゐる自分には後藤の政治上の意見等は別に問題にもしてゐなかつたが、只彼が日本の政治をもつと向上させねばならぬと云ふことは絕えず本氣に考へてゐたらしく、そして偉大な人間に政治をやらせたいと

口癖　に云つてゐた、自

ために席温まる暇もなく東奔西走し彼のヨツフエ氏を

日本　に招いて日露國交橋渡しをしたこと吾等の記憶あるところである、現內閣においても伯は自ら進んでモスクワに使ひして日露親善のため重要なる使命を果されたこと、その他對支問題に就いても色々意見を寄せられたことは自分の深く敬服するところである、最後に會つたのは議會後の去る二十八日外相官邸で濟南事件

解決　に就き話した時であつたが今計報を手にして返す〲も痛惜に堪へぬ次第である

ら偉大な人物を以つて任じてゐたかどうかは知らぬが

明治大正を通じ珍らしい政治家

常に光明を認め活動した

濱口雄幸氏談

【東京特電十三日發】後藤伯の逝去は實に哀悼の至りである、伯は天才肌の一風變つた政治家であつて明治、大正を通じて斯うしたタイプの政治家は少い、物事にこだわらず常に光明を認めて何事かを計畫し間斷なき活動を續けてゐたが其の計畫が常に百發百中といふわけには行かず往々的を外れることもあつたが之は

天才　の常として已むを得ない、伯は一度は內閣を組織すべき人であつたが同志會脫退以來政黨の背景を有せずして充分に其の志を伸べ得なかつたことは甚だ遺憾である、伯が日露國交恢復に努力せることをはじめとして國家に盡せる功績は天下周知の事實である、伯が滿鐵總裁になられたとき私に理事にならぬかと慫慂されたことがある、當時專賣局の部長であつたが都合により辭退した、其後大正二年第三次桂內閣で遞信大臣となられたとき其の下に次官となつたが間もなく憲政擁護のため內閣瓦解し立憲同志會が組織されたが

桂公　の薨去と共に伯が脫黨して以來政治的には關係は無かつたが個人的には尊敬し親みを有してゐた、今伯の訃報に接して感慨無量なるものあり國家のため深く痛惜すると共に何んとなく寂寞を感ずる

▲大阪商船の飯塚支店長は關東州野球大會の審判委員長であるが、野球は中學から高等學校へかけて選手として活躍した人▲大學卒業後樂壇に赴任してからは同地に野球熱を鼓吹して或は自らチームを組織し或は審判者として鳴らしたものである▲ひとり野球のみならずランニングの方も得意であつて、其の當時大時代はボールのチームが駄目であつたので例の三島、明石などいふ人々と共に盛んに競り合つてゐた▲ソレで同君の述懷に曰く「アノ時ランニングの方に力を入れてゐたら有名な人間になれたであらうものを……しかし今でも五千米突や一萬米突くらゐは相當のレコードで走る確信があると▲孰そのうちに永谷君あたりに挑戰しさうな元氣である

人事

▲木下謙次郎氏(關東長官)十五日うらる丸にて歸任

▲春日善之助氏(同秘書官)同上着任

▲山崎猛氏(本社長)同上歸任

▲寺崎由松氏(辯護士)十四日出發沿線各地へ

▲村上純一氏(大連醫院內科醫長)歸省中の所十三日午後八時着列車で歸連

▲香取秀眞氏(東京美術學校講師)伊東陶山、宮永東山、牛島北郎、皆川日華諸氏と共に十三日午後五時半着列車で來連ヤマトホテルへ

辭令

【東京十三日發電】

旅順師範學堂敎諭　關　シン

任關東廳高等女學校敎諭(七等)

關東廳辭令(十二日附)

長野縣上伊那郡赤穗尋常高等小學校訓導　杉山岩夫

任關東州訓導

大阪府師範學校敎諭兼大阪府女子師範訓導　佐藤孝太郎

任關東州公立高等女學校敎諭

敍高等官八等

關東州公立高等女學校敎諭　佐藤孝太郎

大連彌生高等女學校勤務ヲ命ズ

稅關鑑査官補　藤井武人

任稅關事務官補

八級俸下賜

任關東廳遞信書記　沼田倘嘉

任關東廳中學校敎諭　古林光雄

任關東廳秘書吏　山田芳雄

福井縣吉田郡森田第一尋常高等小學校訓導　池田初晉

任關東州小學校訓導

特產

◇定期後場(銀建)

▲大豆(強保合)單位厘

▲三等大豆(出來不申)

▲豆粕(強含)單位厘

▲豆油(保合)(單位錢)　出來高　一萬三千枚

▲高粱(強調)(單位厘)　出來高　二千箱

◇現物後場(銀建)

	寄付	大引
混保(袋込)大豆(裸物)	六〇六〇	六〇六〇
出來高	五十車	
三等大豆	出來不申	
豆粕	二〇四〇	二〇五〇
出來高	一萬八千枚	
豆油	一五三〇	一五三〇
出來高	一千二百箱	
高粱	三三〇〇	三三〇〇
出來高	五車	
包米	出來不申	

錢鈔

◇定期後場(單位錢)

期近　出來高期近　四十九萬圓

◇現物後場(單位錢)

商品

後場

麻袋　約定期延四月末　値段四二五　枚數一〇　出來高一萬枚

綿糸布(出來不申)

麥粉(出來不申)

神戶特產物(十三日)

銘柄	値
大豆現物	七四五
先物	六四五
豆粕現物	二一七
先物	四六九
滿洲小麥	六五〇
豆油現物	二二五〇

大阪株式

銘柄	後場寄	後場引
大株	九七五〇	九七五〇
大株新	八七二〇	八七五〇
鐘紡	二七〇〇	二七〇〇
鐘新	一四一〇	一四〇〇
日糖	六七四〇	八〇
郵船	不申	不申
東新	一五二九〇	一五二六〇

東京株式

銘柄	後場寄	後場引
東株	一六一六〇	一六〇七〇
東新	一五三〇〇	一五二九〇
五品	不申	二四四〇
中豆	不申	二四五〇
先豆	二四五〇	二四五〇
新	不申	一九〇〇
中	不申	不申
先信	一九一〇	一九二〇

東京株式(短期)

銘柄	品	新
寄値	五	東
引値	不申	一五二九〇
高値	不申	一五三三〇
安値	不申	一五三三〇

大阪期米

限月	後場寄	後場引
四月	二九一七	二九一〇
五月	二九八〇	二九七五
六月	三〇五〇	三〇四〇

滿洲日報
後藤伯を悼む

邦家の元勳であり在野の一勢力として政界に重きをなした後藤新平伯は、七十三を一期として京都に客死した。我等は、伯が老軀を提げて最後まで國家民人のために努力せる耿々の至誠を敬慕し、其の死を謹悼するものである。

◇

伯は毀譽褒貶の多かりし點に於いて、故大隈侯と相似型の人物であつた。それだけ其の行藏の振幅が廣大であつたとも謂ひ得る。而も今や棺を蓋ふにあたり、伯の足跡を回顧すれば、國家に對する勳績の赫々たるものゝみあるを何人も齊しく看取するであらう。

◇

伯の功績を指摘すれば、枚擧に遑なきものあるも、就中衛生行政に關するものを始めとして臺灣、滿洲に於ける創業始政、對露外交に關する貢獻等は其の顯著なるものであり、晩年に至りては、少年團の訓育、政治倫理化の提唱等によつて全國民の教化に努めたる功績は永久に沒すべからざるものがある。

伯は其の閲歷、貫祿より見て夙に一度は臺閣の首班に列すべかりしに拘はらず、遂に其の機を失した。是れ、往年同志會を脫退して以來、全く政黨の外に立つたために他ならない。伯にして若し黨人たらんことを欲せば、政黨は禮を厚うして迎へたであらうが、伯は自ら所謂「廣軌」の人であり「無限軌道」の人であつたので、既成政黨の「狹軌」の上には到底當て箝まる人物ではなかつた、否な寧ろ政黨外に立つて政黨を牽制し、國民を教化することが伯の適所であつたであらう。要するに其の功績と國民に對する印象の總量は、適に近代の首相經歷者の上に出で居ることは何人も認むる所であつて、伯としては些の憾みがないであらう。さらでも人物凋落を感ずる我政界に、伯の死に依て生じたる空洞の寂寥は一入切なるものがある。

中間內閣夢想

民政黨の內閣倒壞運動は、東京を始め內地各市に在つて、順次具體化さるべく揚言せられ、現に又、その一部を實行せられつゝあるのに拘はらず、世間のこれに對する期待は、甚だ覺束なきものゝ如くである。民政黨自身、何等、政局を安定せしめ得る信賴を受けぬ限り、假りに內閣を倒壞せしめても、爾後の政局に期待をつなぐことは出來ぬからである。而して國民のこの民政黨若しくは在野黨に對する所見と觀測とは、一部識者の間に反映し、世間、有識の人として尊敬し、必らずしも亦、保守頑固でない方面の人にして、尙且つ次ぎの內閣を、民政黨に依つて組織せしむべきや否やを論議するものがあるのは、最も注目すべき現象でなければならぬ。

◇

所謂中間內閣說は、薩長藩閥の餘勢力に向つて、未練を絕ち得ぬもの〻、時代錯誤的幻覺作用である。政黨政治時代の今日に在つて、何人も再びその幻覺作用に依つて妄動する人がある筈はない。然し議會閉會前後から、何處より起り何處に反響するともなく、斯種の風評を傳ふるものが有つたことは、世間周知の通りである。而もこれを一部古風なる策士の夢物語と思ひきや、昨今却て眞面目なる論題と做すものを生じつゝあることは、驚くべき成行きである。中間內閣とは何か。現內閣を更迭せしめて、民政黨內閣を期待するのでなく、朝野兩黨以外の勢力を組合せて、一個の新內閣を造らうと云ふのである。

◇

今日、政友會に屬せず、民政黨にも屬せぬ政治家は、決して絕無ではない。彼等の或者は、勿論、黨人政治家以上の手腕があり、識見があり、或は更に實務上の經驗がないとも限らぬ。即ち彼等の二三子を中心として內閣を組織することは、絕對不可能ではないに相違ない。然し議會政治は數の政治である。國民の總意又は多數意を基礎とする政治である。何等政黨の背景と國民多數の意思を代表する地位と權利とを有せずして、如何に議會政治の目的を遂行し得るか。藩閥政治から議會政治、政黨政治への推移は、極めて明々白々に民衆政治の歸するところを說示して居る。敢てこの大勢を無視して、政治を行ひ得るものは果して誰れか。

◇

政黨政治が常に理想的でない例は、獨り日本の特有的事實ではない。而もこれが爲めに、政黨政治を排し、或は事實上、その精神、主義を沒却しつゝあるものゝ現狀は何うか。イタリーは何うか、スペインは何うか。若し政黨政治が理想的でなかつた點に就いてのみ言へば、固よりイタリー、スペインのみではない。然しこれが爲めに、政黨政治を排斥して、直ちに獨裁政治又は專制政治を欲求するものが少いのは、その害毒の恐るべきこと、尙且つ政黨政治以上であることを知るからである。政治は實際である。徒らに目前の事相を忘れて、未來を說くべきではない。然し偶々獨裁政治の半面を見て、將來の危險を思はぬのは、政黨政治に就いて、單だ目前一時の現象を厭うて、將來の濟美を思はぬと同じである。

◇

唯然し今日の政府反對黨および政府與黨が、國民をして議會と政黨とに對する感興を失はしめ、殆んど彼等の將來を悲觀せしめ、遂に中間內閣說を行はしむるに至つたことは、最も遺憾である。

王樣に隨伴の青年連が一足先へ
勵志會を作り三民主義信奉　革命の旗を飜す

長春で王族會議を開く爲めに參集した十旗の王さまは市內各地に分宿してゐるが、各旗の意見がまちまちで既に半月以上にもなるがまだ正式會議を開かない有樣だが、茲に面白いことには王さまに伴いて來た青年從者が

揃ひも 揃つて王さまとは丸で反對の頗る急進思想の持ち主で、蒙古は王族が各地にばつこして專制を行ひ極端な階級制度を保つてゐるから文化は遲れ世界から忘れられてしまふのだとあつて各旗の青年從者二十餘名が王さまの集まつてるお膝許の長春で結束して革命の反旗を飜し勵志會なる黨を作り十日長春で發會式を擧げた、その綱領には三民主義を奉じ蒙古人にして普通の智識あるものは各個人は一切平等とすとある、

何人を 問はず入會し得ることゝなつてゐる、中心人物は賓圖旗の博代表其他二、三名だが折角集まつた王さまの會議が物にならずに却て革命分子の方が一足お先にご免被つたのは皮肉である勵志會は現在長春に集つた青年達が中心となつて各旗で會員を募り漸次會員を增し、教育して早晚支那の國民黨やロシヤの共產黨のやうに一黨で統一しやうとの意氣込みである

參集每に意見が分れ
依然として成立せぬ　蒙古王族正式會議

【長春特信】王族會議は既に數回王公の參集が行はれたが、その都度意見が分かれて何れも流會となり依然として正式會議が成立しない、今各王公の意見を大別すると盟長コロラス王を極右派、賓圖旗博代表を

極左派 としてその間に左右兩派の穩健派が介在してゐるが右派穩健派が大多數を占めてゐる、穩健派の主張は蒙古の現狀に適しないから政治組織の政策は今俄かに實行を見合せ、先づ各旗から二名の委員を出して南京に送り南京政府の政治を學ばしめ、委員の歸國を待つて三民主義の內實施して差支なきものは實施し一方教育に力を注ぎ人民の啓蒙に努める

と言ふにあり、兩派の意見を折衷し支那の面子をも尊重した主張で會議の決議として最も可能性多い意見である、然し

急進派 の意見も相當有力にて一、二の王族は進んで退位する旨を申出で、王公が蒙古民族のため如何に眞劍の態度であるかと窺はれる、急進派の急先鋒たる賓圖旗の博代表は最初聯合會案を出し王族を廢し委員制とし、盟長に代るに聯合會を以てし政務一切を處理すべしと唱へたが、多數の反對があつたので第二案として民生協進會案を出して贊成を求めてゐる、その骨子は「蒙古民族を救ふ道は產業の改善にあり」とし牧畜より外に智識なき人民を

誘導し て漸次農工業に代らしめんとするもので、大多數の王公も之に贊意を表してゐるの

英皇室の御特使　グラスター殿下（五）
雄辯家、陸軍の宮、スポーツの宮

又同年同月殿下御自身ガーター勳章を拜受遊ばされ翌一九二三年にはG、C、V、O、即ちグランド、クロス、オブ、ジ、ヴキクトリアン、オーダーと云ふ勳章を受けさせられた、御在營中にも各種の運動に御關係遊ばされたことは勿論で殊に一九二二年頃英國各地に催されたる競馬會の記錄には殿下の熟練なる御馬術の報道が屢々發見さるゝのである競馬界で御優勝遊ばされたる事實を一々列擧する遑なきも

今二三の例だけを擧げて見ると一九二二年の四月頃の競馬界記事を讀むと當時殿下が連戰連勝を遊ばされて居つたとが窺はれる、三月中頃第十輕騎兵聯隊の競爭で第二着、グラフトン會競爭で第二着、それから一週間後ベンベリーの競爭で第二着、それから四月サセックス州ウエスト、グリンステットの會ではポイント、ツー、ポイント競爭で第一着の榮冠を得させられた。

◇

近年の例で見ると昨年七月のことであるがバイベリー大競馬に御參加遊ばされた時には何騎揃ひの間に列せられた關係觀衆側に於ても殿下の御成績を氣遣ひを挾み御入選到底覺束ないものとの豫測をして居つた、これは其の際の20―1と云ふ配當率が證明して居る、然るに結果は殿下が第三着と云ふ番狂はせの好成績を擧げさせられ同競馬會に時ならぬ驚きと賑はひを與へ遊ばされたことは未だ世人の記憶に新しい。

◇

殿下は國務御參與は一九二五年頃から始まつたと申してよからう、即ち同年殿下は樞密顧問官を御拜命あり偶々父君陛下御外遊に付き御留守四名の宮中國政參議員の一人として陛下の御代役を勤めさせ給ふたのである、一九二六年倫敦グレーズ、イン法學院に於て法學士の學位を受けさせられ、以來同學院の上席員として資格を有し給ふ、又一九二七年三月大尉に御昇進遊ばされ、同年以來第十輕騎兵隊附に在しますが秩父宮殿下の英國御滯留は丁度此の當時であつたのでヘンリー親王、秩父宮殿下共運動御愛好同志とて親く御交際遊ばされた

◇

此頃までは殿下は皇室に於て唯皇子に在しますと云ふ以外別に獨立の御資格を有し給はなかつた、一體英國皇室の御習はせでは皇子は長男を除き皆デュークを授爵までは何等特別の御席順を備はせ給はないのである、デュークに成らせられて初めて獨立したる皇族と認められ貴族院議員を命ぜられ皇儲プリンス、オブ、ウエールスから適當な順位に席を占め得るに至り給ふのである、そこで今までプリンスヘンリーとして知られ給ふた皇子は一九二八年即ち昨年の三月三十一日殿下の御生誕日を期しデューク、オブ、グラスターと成らせられ間もなく貴族院に席を初めて占めさせらるゝに至つたのである、それで目下英國貴族院に於ける皇族の御席順は第一にプリンス、オブ、ウエールス殿下、第二にデューク、オブ、ヨーク殿下、第三にデューク、オブ、グラスター殿下、第四にデューク、オブ、コンノート殿下と云ふ風になる、あとは臣下の席順に下るのである

◇

尙英國貴族制度は日本のものと又趣きを異にするものであつてデューク、オブ、グラスター殿下は同時に伯爵及男爵の二爵位をも併せ有せられる、それは前記一九二八年三月三十一日にグラスター公爵を賜はつた際同時にアルスター伯とカロデン男をも授かつたのである。

で決議の一部として採用されやう

鮮人の徵兵
浦鹽に赴く

【間島特信】浦鹽よりの情報によれば、同地赤軍第二軍團司令部に於ては第九回徵兵實施を爲すため沿海州一圓の徵兵適齡者に對して先月二十六日より浦鹽にて徵兵檢査を受くべき旨の訓令を發したので、南部烏蘇里各地に在住する鮮人適齡者は之に應ずべく浦鹽に向つたが其の數七十名であつた

打倒南京政府の氣勢を揚ぐ
北滿に集る共產黨員

【哈爾賓特信】中部支那の戰亂のため浦鹽へ逃れ來る武漢派左翼分子並に日本、朝鮮各地から渡航する共產黨關係者は最近非常に多くなつたが、皆異口同音に南京政府が英米の鼻息を窺ひその勢力の下に屈服するを憤慨し、去る五日極東革命委員講演會を開いて打倒南京政府の氣焰をあげ且つ東三省各地學校生徒に向つて宣傳文を發し東三省が南京政府の勢力圈內に捲き込まれることを阻止することゝし、且第二回極東革命委員大會を哈府に開催し片山潛氏を特に招致することを決議した

神祠破壞
禁止の命令

【間島特信】吉林省公安管理處長王之佑氏は今回管下各公安局に對し神祠破壞方停止に關する左記の訓令を發したが、此のほど間島延吉市公安局にも來た

國民政府は過般先哲の崇拜と迷信打破の見地より神祠存廢標準を頒布したところ各地人民は徒らに神祠を破壞し任意行動を執り紛糾を續出する等治安を紊亂すること多し、故に向ふ三ケ月間に神祠の破壞を停止し三ケ月後本部より正式頒布する神祠存廢標準に依り其の實施に着手すべし云々

哈爾賓の英國領事館昇格

【哈爾賓特信】哈爾賓英國領事館は目下當市新市街滿鐵事務所附近に新館を建築中で本夏竣成の豫定であるが今回總領事館に昇格し同時にグランド、ショシス領事を總領事に昇任した

臺灣時代の後藤伯（上）
山田芙峰

◇伯爵後藤新平氏が縱橫自在にその政治的手腕を揮つたのは臺灣の民政長官時代であると私は思つてゐる。滿鐵の初代總裁としての創業の功は沒すべからざるものあり、當局以外の第三者として日露外交の上に竭した功績もまた錄するに足るものあれど、何といつても臺灣時代が花であつたと思ふ。第三次桂內閣の遞信大臣、次いで外務大臣、寺內內閣の內務大臣、第二次山本內閣の內務大臣等は、そのいづれもの內閣が短命であつた爲め、十分に手腕が揮へず、從つて赫々の功績がない。

◇當時無爵であつた一平民の後藤氏が總督兒玉源太郎男と共に臺灣に乘込んだのは、明治卅一年の夏頃で、四十餘歲の男の働き盛りの時であつた。乃木總督時代の臺灣は、土木業者の疑獄事件や彼の高野孟矩事件を起したゞけで、土匪や生蕃は荒ばれ廻り、總督府間には文武官の軋轢などあり、所在紛々鼎の沸くが如き有樣であつたが、斯うした時代に飛込んだのであるから、民政長官としての後藤氏は兒玉總督を輔佐して先づこれを刷新し、改善し、整理せねばならなかつたのである。

◇順序立てゝ書くと長くなるから、大掴みにその要綱だけを記する事にするが、臺灣總督新領土政治刷新の第一步は、官制改正となつて現はれ、臺北、臺中、臺南に知事を置いた地方分權的制度を中央集權的制度に改め、縣廳を廢すると共に各要所に辨務署なるものを設け、勅任知事の代りに奏任辨務署長をしてそれ〴〵地方行政を管轄せしめた。乃木總督時代には撫墾署なるものが設けてあつたが、東部蕃地は暫くこれを化外の地とし、本島人と稱する約三百餘萬の閩粵二族の居住する西部地方の開發に全力を注ぐことゝなつた結果、この撫墾署なるものも撤廢された。先づ斯ういふ具合にして新領土臺灣統治の整理改善に着手したのである。

◇次いで行はれたのは土匪討伐と土匪歸順政策の實施であつた。その頃まで西部臺灣には北部の宜蘭に林火旺、中部の臺中に柯鐵、南部の臺南に林少猫などいふ土匪の親玉が部下を率ひて頑張つてゐたが、先づ說くに順逆の道を以てして彼等に歸順を促し、頑迷度すべからざるものは警察隊を向けて容赦なく討伐し、この懲痛と懷柔との兩刀使ひの下に、臺灣の贅疣物といはれた土匪は、明治三十二年五月に至つて兎も角も平定されたのである。後藤長官は此間殆ど不眠不休の活動を續けた。この土匪平定は臺灣統治史の上に特筆すべき功績である。

◇之より先、官制改正と相前後して、臺灣新報と臺灣日報の兩新聞社を買收して之を一個の臺灣日々新報社としたが、これも後藤長官のやつた仕事の一ツである。臺灣新報社の社長は山下秀實といふ人で、田川大吉郎氏は一時その主筆として働いてゐたが、合併當時の主筆は木下新三郎氏であつて、この人は引續き臺灣日日新報の主筆となつた。臺灣日報社の社長は兒島鎭鳳といふ人で、主筆は今日の文學博士湖南內藤虎次郎氏であつたが、この兩氏は合併後直に臺灣を去つた。小說家の本田美禪氏はその頃臺灣日報社の社會部長をしてゐた。臺灣日々新報社の社長は守屋善兵衛氏、副社長は村田誠治氏で、その當時臺北新起街にあつた新聞社の記者合宿所に、後藤長官は一人で飛び込んで來て、若い記者を相手に議論風發大いに氣焰を吐いたといふ一挿話もある

◇その頃の日本は藩閥官僚の全盛時代であつたので、臺灣の新領土植民政治も官僚的專制主義であつて、民衆主義だの地方自治だの云ふことは全く顧みられなかつた。蒙古王佐々木照山が高山國といふ不定時刊行雜誌を發行して盛んに總督政治を攻擊し、次いで臺洲民報といふ民間新聞が民間の國論たる利民協會によつて發刊されたが、この臺洲民報社は長官の一命の下に發行を禁止され、遂に寂滅してしまつた。總督府中心の新領土植民政治は今でも官僚專制主義の面影を存してゐる。

滿洲日報 地方版

撫順

背後地への進出 活躍次第だ 延び得る餘地は充分にある 實地視察の歸來者談

背後地進出計畫確立のため撫順奥地視察中であつた某氏は十一日午前歸撫したが語る

撫順縣及び通河、柳河、興京の各縣居住の中國人に消費される日常必需品が南支方面奉天等で排日貨の喧ましかつた直後なるにも拘はらず九割位が

日貨 である事は特に注目に値する、而も地理的に撫順市の勢力圏内とも言ひ得る興京永陵、通化、恒仁地方で消化されてゐる日貨の供給者が從來奉天の中國商人に依つてたされてゐて大豆等の特產のある部分が撫順市場に搬出されてゐた狀態である事は撫順商人が猶額大の附屬地で小競合をしてゐる事の愚なる事を今更の如く痛感した而も是等地方へ供給される日貨が奉天から興京街道に依り撫順經由

供給 されつゝあるが該地方と馬車行程にて一日以上も早い近距離にある撫順邦商が當然自己の勢力圏内である經濟地帶を他地方の中國商人に奪はれてゐる現狀は撫順商人の一般に消極的なる事を證據立てるものである、前述の如く撫順商人は商策の如何と活躍次第で是等背後地に延び得る餘地は明確に殘されてゐる事が判明した、そこで奥地の現狀を踏査したる結果背後地進出の具體策として撫順輸入組合全部と實業協會々員との合同になる定期旅商團を而も頻繁に送るに限る、年に一回位では

効果 はない、先づ當初は商品の宣傳をなす傍ら奥地需要者と親善融和を計ると共に各旅商團員自らが奥地の需要狀態經濟狀態を研究的に實査し回を重ねるに從つて撫順商品の販路を固定的に擴張すべきである、而してその半面撫順背後地の中心市場たる興京、通化等に撫順商品の陳列場を常設する事も緊急の要事である、そして不斷に撫順商品の宣傳、顧客の吸收に努め奥地住民の需むるものを定期に派遣される旅商團へ報告、仲介の勞を執り兩々

提携 して進むならば撫順商人の延び得る天地は實に洋々たるものがある

撫順小賣市場の局面打開策 先づ市場移轉が急務 但しその實現は困難

公設市場設立問題の完全に立消えになつた今日撫順小賣市場は今後如何に進むべきかに就き寄々協議中であつたが十一日組合員一同の參集を需め行つまれる現狀打開及び如何にすれば市場の機能を完全に

發揮 し得るかの具體策につき熟議する處があつた

まず根本問題として現市場の振はない禍根は市場の場所が一方に偏してゐる點がある、市場設立當時は中央大街以東に邦人市街が建設され同大街以西は全部支那町になるとの新市街建設計畫であつた故現市場はその計畫に依ると地の利を得てゐたのであるが、現在の如く中央大街以西に日本町の延びた以上この際斷然現市場を各消費者の足を吸ひ寄せに足る中央に

移轉 すべしとの論が相當熱心に主張されたが、その實行には相當な資金を要するので是は理想として他の機會を待つより外ないと云ふ事になつた故に當分現在の場所で營業を續ける事に腹をきめたが賣買取引の改善、不良顧客への對策に就いては各組合員が共同戰線を張る事に意見の一致を見た、尚目下計畫中の市場組合員の金融機關の設立は大馬力を掛け一日も

早く 取運ぶやう各自の意見一致で役員改選に移り次の諸氏が當選した

▲組合長金森貫一氏▲副組合長江頭政吉氏▲顧問福井榮三郎氏▲幹事古賀氏、西田氏、角田氏

市場會社視察

滿鐵本社商工課の小川一郎氏島根長春市場會社支配人、香取奉天市場會社支配人は打連れ十二日午前十一時の列車にて來撫撫順市場會社の位置、現狀等に就き視察する所があつたが時節柄各方面の注目をひいてゐた

歸還除隊兵 廿六日出發

大正十五年以來異郷の野にあつて特殊の任務に盡瘁しつゝあつた撫順獨立守備隊兵の内四十八名は滿期除隊になつたので來る二十六日午前十一時五十五分の列車にて内地に歸還する事となつた

警察の射撃會

撫順警察署では一朝事ある場合に備ふる爲め近來射撃を奬勵してゐるが、十、十一日の午前八時より午後一時まで守備隊射撃場に於て春季射的大會を開いた、當日の出場者は署長以下八十二名巡捕二十四名計百〇六名で幹部級では大林署騎銃四十二點で腕の冴えを見せ次で倉田司法主任が好成績であつた

強盜犯人 豪遊中逮捕

近時強盜團の跳出に必死の捜査を續けた撫順署では十二日午前三時平康里で豪遊する怪漢がかねて目星をつけた強盜犯人である事判明格鬪數十分の後逮捕したが右は山東省兗州府魚臺縣生現住所不定盧永禮(二七)と言ひ檢擧の際モーゼル拳銃と彈丸四十發を所持してゐた全滿を股にかけ兇行を働いてゐたものゝ如く目下極力調査中

撫順米改良の爲 優良種籾を配付 約十町歩に播種させ 理想的種籾を生產

從來撫順米は縣内地質の關係上全滿唯一の優良米を產じてゐたが近來種籾の選擇あやまり清源縣興京縣等の地米を混入する爲頓に聲價を失墜しつゝあるに

鑑み 炭礦農林課では撫順米改良のため優良種籾を配付すべく搭連坑の北方約十町歩の採種田五町歩水田耕作に熟練せる鮮農を直營「嘉笠」「京租」の二種を各使用して播種する事となつた、耕転、播種から除草まで綿密周到なる方法に依るのであるが混種のない眞に理想的の種籾が得られ近き將來撫順米の聲價は挽回され延いては全滿に優良籾の供給を得るものと農事關係の方面では

非常 に囑目してゐる、因に刈取りは九月二十五日迄にやり特に降霜前にやる事に注意し脱穀は石油發動機を使用するのである

三人組強盜 客を裝ふ 金品を強奪逃走

十日午後六時まだ暮れきらぬ春の宵撫順古城子の雜貨商東順長方の表入口より客を裝へる三人組の強盜現れ二號型モーゼル拳銃をつきつけ家人を脅迫金票その他物品を多數掠奪同七時頃薄暗くなつた頃西方へ逃走した犯人不明、又十日午後七時頃塔連市街の魯德利方へ一名の強盜侵入魯の兄を脅かし金品を強奪せんとしたるも應ぜざる爲大格鬪となり被害者に頭部その他に半死半生の重傷を負はし兇行をしたる上撫順市内各方面へ入り込んだ形跡あり、目下極力調査中なるも右犯人はかねて當局の目星をつけてゐる奉天省生れ(三〇)の人相に酷似せる爲目下指名捜査中

安東

滿倶と三菱 初試合 五月五日擧行

陣容を新にせる安東滿倶野球部は本年度劈頭の對外試合の手始めとして西鮮の覇者兼二浦三菱軍に挑戰したが十一日承諾の回答あり五月五日第一日曜日をトして安東驛前グラウンドに於て試合を行ふ事となつた、安東軍は連年三菱軍に名を成さしめてゐた關係もあり實に積年の怨みを持つチームであるから此の戰ひに於ては是非勝たねばならず、且又本年度の滿洲球界に覇を唱へんとする活躍の血祭りに擧げんものと滿倶軍の意氣軒昂千葉監督、吉本主將を始め物凄き意氣込みで猛練習を續けてゐる

開原

在郷軍人分會 春季總會

開原在郷軍人分會にては十四日午後三時より公會堂に於て昭和四年度春季總會を開催する事となつた

京城

博覽會場として申分がない 慶會樓を中心とせる 十萬餘坪の大苑内

今秋朝鮮總督府で開催の始政二十週年記念博覽會々場は元景福宮の城壁を廻した現在總督府廳舍の背後で慶會樓を中心とした十萬餘坪の大苑内であつて

其背景 には北漢山の連峰三角山や冠岳山を帶び古き丘陵の間には數千の老樹老松で木立の下は廣々として芝生を敷きつめられた中には櫻樹が二千餘本も植えられてゐる、殊に古蹟保存の指定となつてゐる古門古石垣等がある又昔を語る彩色麗なる大小建物の點在するありて古色蒼然、風光明媚につきたる處は一般觀覽者に對し大なる興味を與へるものであるから、樹木の如きも移植又は伐採することになつてゐるが之とて風致を害せざる樣考究してゐる、斯の如き會場は内地並に植民地にありても得難き

理想的 の博覽會場である又會場正門となる光化門の如きは現在二層樓なるも如何にも廣大なる會場から見て貧弱な感じがするので目下建築課で考究中なるが、今一層を加へて三層樓となし適當なる容姿を整へて石門の内外には朝鮮を表現する裝飾を施し充分趣向を凝す豫定である、尚慶會樓は主として音樂堂や休憩所に充當し勤政殿は同會の開場式後は各種の大會式場に充つる事となつてゐる、會場の整理地均しは五月中に完了し六月早々には各館の建築工事に着手する筈で

七月中 には全部の竣工を見る豫定で目下各館の配置等につき當局にありて充分注意をはらつてゐる苦心してゐるが、今日迄に略内定せる各種別館の割當坪數は

館名	坪數
產業南館	一、一五〇坪
同北館	七六五
米館	二〇〇〇
社會經濟館	二〇〇〇
審勢館	五二〇〇
美術工藝館、教育館	五二〇〇
交通建築土木館	五四八〇
司法警務衛生館	三二〇〇
機械、電氣館	五〇〇〇
參考館	四〇〇〇
内地館	一三〇〇〇
陸海軍館	一五〇〇
水族館	二四六〇
畜產館	三三〇〇
演藝館	五〇〇
野外劇場	一二〇〇
活動寫眞館	五〇〇
メートル館	五二〇
接待館	一三〇〇
水產館	一八〇〇
山林特設館	[illegible]
畜產特設館	一六二〇
朝鮮農會館	一五五六
事務局	二〇〇〇
各道事務所	二九〇〇
滿蒙館	三〇〇〇
臺灣館	三五〇〇
北海道館	三五〇〇
樺太館	六〇〇
東京館	三〇〇〇
京都館	二〇〇〇
大阪館	三〇〇〇
名古屋館	二〇〇〇
廣島館	一〇〇〇
九州館	四〇〇〇

一鮮内各道の分は 京畿館 四八〇 忠北館 六〇 忠南館 三六 全北館 二五〇 全南館 一九二 慶北館 一〇六 慶南館 四八 平南館 一六〇 平北館 六五五 江原館 三二 咸南館 一六二 咸北館 五〇五 黄海館 未定 其他三井館 一二〇坪、三菱館一〇〇坪である、之等兩者共二三萬圓を投ずると云ふのである、鮮外

特設館 の施設費は約五十萬圓で九州館、滿蒙館、臺灣館各十萬圓内外より東京大阪の四、五萬圓でその他各一二萬圓を投ずる豫算であるとのこと

哈爾賓

山本課長赴歐

倫敦において開催の萬國郵便會議に列席の途にある遞信省郵務課長山本直太郎氏及び岐部長春郵便局長等一行十名は十日午後四時來哈一泊の上十一日午後九時西行赴歐した

採木夫を募集

浦鹽政廳では昨夏沿海地方の大洪水のため衣食に窮してゐる離民救濟のためクルターヌク及びカムチヤカ方面の木材採伐夫を支度金五百留附で盛んに募集してゐる

長春

二ケ所の井戸に石油を投げ込む 當局では犯人嚴探中

去る十日午前九時頃長春浪速町三丁目十四番地及び曙町三丁目滿鐵裏の井戸水が異樣の臭氣を含んでゐるのを發見し大騷ぎとなつたが二ケ所共附近の日鮮人多數の居住民が日々飲用に供してゐる井戸なので早速調査した結果石油を混入してゐることが判明したので井水をかへて檢査した處一方の井戸からは一合入り位の白色瓶、一方からは二合入り位の黒色瓶を發見した、兩所とも何者かが投入したらしいが殺人の目的であるか單に惡戲であるか目下犯人嚴探中

三月中の犯罪

長春警察署管内の三月中における犯罪は殺人事件一強盜事件四、竊盜は頗る件數多く六十七件に上り檢擧件數五十二である、内邦人の竊盜は一件にて他は悉く支那人である之に次では阿片取締の違反が十件、詐欺横領十件、賭博五件合計百十件檢擧八十三件である

海外ニュース

チムールの宮殿發掘さる

【ハルビン發聯合】オムスクからの報道によるとトルキスタンのサマルカンドを距る十二露里の地點で飛行場の地ならし中地下數尺の所に一大城壁の遺跡が埋沒されてあるのが發見せられたソヴィエット藝術研究探檢隊の踏査した結果によると右は十四五兩世紀に亘り中央亞細亞よりインド、ペルシヤを征服した一世の英傑チムールが繁榮の都と稱した宮殿の跡である事が判明した、城壁には蒙古文明を飾る種々の彫刻があり幾多の學術研究の材料が殘存してゐた。該遺跡は早速寫眞にされモスコーの學術研究會へ送られた。

ロイド・ジョーヂの回想錄

【ロンドン發聯合】前首相ロイド・ジョーヂは今度又復自身の回顧錄起草に着手する事が發表された、氏は今でこそ失意の地にあるが自由黨首領として又曾ては戰時宰相として獨り英國政界のみならず國際的活舞臺に重要な役割を演じた人だけに世間では回想錄の出版に非常な興味と期待をかけてゐる。尤も現在は英國總選擧の直前とて非常に多忙を極めてゐるので五月總選擧の濟み次第執筆する筈で目下盛んに必要材料の蒐集中である。因に氏の回想錄執筆は今回が二度目である。

玉蜀黍の軸からの製品

【ワシントン發聯合】米國商業會議所の廢物利用調査報告によれば農村には何處へ行つても邪魔物扱ひにされてゐる玉蜀黍の穗軸から五十二種以上の有用製品を作ることが出來る。その主なるもの左の如くである。

セルローズ、ボタン、パイプ、リノリウム、ゴム代用品、火藥、棉火藥、燃料、炭、各種アルコール、醋酸、アセトン、蓚酸、チヤンタール、食料色素、顏料、防臭劑、香料、人造絹糸、糊、紙

之等の製品は未だ商品として賣出して引合ふ點までは達してゐないが何しろトウモロコシ殼は殆ど無限にあるのであるから遠からずソロバンの取れるやうになる見込である。尚トウモロコシ殼は嵩張るので運搬に不便であるが、單に燃料としても同一重量の石炭の半分以上の熱量を有してゐる。

ラヂオ應用で職業紹介

【ベルリン發聯合】ドイツで今度初めて試みられた當局者が雇主及被雇傭者の間に立つてラヂオを應用しての職業周旋は豫期以上の大成功を收め非常な好評を博してゐる、即ちベルリン市立職業紹介所ではラヂオを應用して迅速に且つ廣汎に雇主に對して職業口を求めた所非常に好成績でたちまちにして數千口の申込あり求職者全部を就業せしめても尚あまりあつたのである。

奉天

醫大豫科入學者 千十名の内五十六名

滿洲醫科大學豫科の入學試驗は既報の如く先月廿六日から四日間に亘り東京、福岡、奉天の三ケ所で施行されたが十二日開かれた醫大教授會議に於て銓衡の結果受驗者千十名中左記五十六名が合格に決定し同日發表された

▲東京受驗者 庄司司郎吉(和歌山縣海草中學)藤田長雄(福井中學)塵芙雄(同志社中學)今野通(仙臺一中)穗積正敏(福島縣白川中學)二宮光滕(宮崎縣延岡中學)本間錦次(山形縣酒田中學)津村大郎(京城中學)兒玉貞雄(長野縣上田中學)西野廣吉(兵庫縣洲本中學)栗山悅三(奈良縣五條中學)宮下尚守(群馬縣藤岡中學)花澤讓治(千葉縣長生中學)岡内茂(大連一中)上野正夫(大分中學)北村武雄(北海道祖安中學)、古市友成(大連二中)山崎舟(京都東山中學)梅原一雄(高知縣城東中學)

▲福岡受驗者 樋口四郎(大連二中)渡邊正住(福岡縣嘉穗中學)前原裕(福岡縣修猷館中學)門英雄(廣島一中)山崎正雄(同上)山嶺忠俊(大連二中)前出長(滋賀縣今津中學)香月英太郎(佐賀縣鹿島中學)東長年(大連二中)土井滋(大田中學)市川清實(光州中學)伊庭衍樹(廣島修道中學)井原忠邦(廣島一中)堀滅比吉(大連二中)高木紘(德山中學)堀谷良平(大連二中)望月葉夫(廣島高師附屬中學)紫水英次(宇佐中學)

▲奉天受驗者 照井緒任(一ケ關中學)濱野鋼雄(東京濟美堂中學)兒島勝雄(奉中)古井清(大連一中)石井清(撫中)吉野時雄(旅順一中)高橋誠吉(大連二中)都谷元二(奉中)瀧谷愼雄(撫中)本池勇三(奉中)櫻本主計(鹿本中學)大野虎夫(大連二中)佐藤幸治(旅順一中)大下要英(奉中)松島將(鳥取一中)宮川俊介(撫中)米港芳文(大連二中)越口景男(旅順一中)中國人詹之吉(滿中)萬與文(同上)劉憲高(大連二中)華澤全(天津中日中)劉寶珍(同上)興國興(滿中)梁成(同上)高永祥(同上)韓庚寅(旅順二中)以上五十六名

右合格者中滿洲出身者は日本人廿二名にて大連二中十名奉中四名撫中旅順一中各三名大連一中二名で又中國人側は滿中出身五名天津中日中學出身二名旅順二中及び大連二中各一名となつてゐる

駐屯軍 十八日到着

奉天駐屯軍隊長步兵大佐板倉伍四郎氏以下は來る十八日午前十時五分着列車にて來奉忠靈塔富士町大廣場奉天神社春日公園を經て兵舍に入る事と成つた

旅商團の具體的協議

既報第二回奉天旅商團の具體的協議會は十一日午後八時から商工會議所に於て開催の結果左の如く決定した

一、團長推薦は追て決定す
二、出發四月二十二日
三、集合場所は城内瀋陽驛に午前六時迄必ず集合
四、携帶品は第一日中食並に毛布二枚食料品は各自持參
五、旅費は一人現大洋五十元奉票二千五百元
六、商品展示場所は山城子、海龍、朝陽鎭、東豐、西安の五個所

而して旅商日程は十日間範圍と定め其他は全部會議所に一任する事となり同十時過ぎ散會したが、今回の參加商店は十六軒に及ぶ筈である

學生登校して暴行

春休みを利用して北支滿鮮地方に見學旅行を試み去月廿日來奉せる臺灣人正則豫備校生黃啓煌(二)、等修大學豫科一年生曾採澤(二一)の三名は驛前瀋陽旅館分號に投宿して市内を見物してゐたが十一日夜驛前千代田カフエーにて十三餘圓の飲食をなし興に浮れた彼等三名は自動車にて十間房朝鮮料理店松鶴樓に登樓し更に飲めや歌への大騷ぎを演じ果ては登樓客四名と喧嘩を始め大立廻りを演じ二名の負傷者を出す始末に同料理店では直に十間房派出所に屆け出で急報により係官が現場に赴いた時は四名の客は既に姿を晦ましてゐた、喧嘩の際樓主及び酌婦にも亂暴をした模樣で樓主は告訴するといつてゐたが樓主を宥め學生に對しては將來を誡めて引揚げた

天香師の托鉢

西田天香師の來奉と共に一燈園奉天神社の掃除は十五日午前六時奉天神社境内及び托鉢(午前五時より神社前六時より附近道路等)を行ふことになつた、服裝隨意携帶品として帶老若男女を問はず有志の參加を歡迎する事と成つた

人事

▲齋藤滿鐵理事 十一日大連へ十二日朝來奉
▲中西滿鐵地方課長
▲市川潔氏(鐵嶺郵便局長) 十二日朝家族同伴赴任
▲中島第十四師團軍醫部長 十一日奉天往復
▲佐賀師範生二十七名 十一日夜大連へ
▲並川渉氏(滿洲醫大庶務主任)今回安東地方事務所經理係長に轉任することゝなり十三日家族同伴赴任した
▲前醫大幹事 同氏も安東地方係長に轉任することゝなつたので近く赴任する筈

旅順

白玉山の西道に鳥居を建設する 二十日地鎭祭を執行 五月廿一日迄に竣工

帝國在郷軍人會旅順分會では十一日驛貴賓室に於て伊藤眞一氏委員長となり御大典記念事業として白玉山西道に鳥居を建設するとに關し役員會を開き協議の結果來る廿日午後一時半地鎭祭を執行し五月廿一日までに竣工せしめる豫定で着工するに決定した、鳥居の樣式は神明式で材料は鐵筋コンクリートを使用し位置は日清寺の北側道路上に設けると

地藏尊堂建立

…うと期待されてゐる

鯖江町淨土宗明照寺栗田顯善師は武田政吉、永山嘉一、山本房太郎諸氏の檀家總代の贊成を得て地藏尊堂を建立することになつた豫算は一千四百七十五圓で本月許可を受ければ直に起工に着手し六十日間で竣工する手筈であると許可申請の屆出をした

大連の糞尿 旅順に輸送

大連市の糞尿は市の發展と共に段々處分法に困つて來た、これをみた旅順の農會支部では肥料共同購入組合の本年度から實施されたのを機會に大連糞尿の旅順移入を決定し特別の列車(糞尿輸送のため)を設けて輸入することになつたこれらは會屯農村に供給するのであるが、人糞肥料を唯一の金肥とする農家では配給の分與を得やうと殺到する有樣である、大連市では石油一罐が金五錢五厘で運賃其他を合算すると一荷十五錢五厘見當になると

市井片々

グチ漁業の打合せのため旅順水產會支部では十二日善後策の協議をした、警運船は遠海、長風の兩船が出動すると

◇

博物館から獨立した圖書館は雜波主事の手で着々書籍の蒐集「旅順にはどうしたことか讀書子の少いのには驚いた」と生活の安定を得ると勉強しないのが凡人の常

◇

増田理事官の曰く「老朽淘汰をしてウンと新進の學士を採用し事務の刷新を計ること、局の如きものゝうちで老朽者はこの際馘首することにある、理事官の如きは特に任用令を適用する必要は更に御座らぬ」と意氣軒昂

旅順金家屯間 乘合自動車

旅順居住の支那人鄒一儉は旅順市から南山里、鹽田、公學堂、金家屯に至る廿名乘りの乘合自動車運轉の許可を十二日警察に申請した、料金は旅順市から南山里一名五十錢金家屯四十錢であると

水道鐵管掃除

旅順民政署の水道係では水道鐵管掃除施行のため來る十七日から三十日に至る間舊市街及び新市街の給水に時々濁水又は斷水することがあると、新市街は十七日から廿一日、舊市街は十九日から卅日の間

棉種配給終る

關東州棉花協會にては本年度の棉作耕地面積三千町步に對して全部の棉種を各民政署及支署に配給したが、會屯の各農家では十七、八日頃から弗々種を蒔く準備をした

全旅順の劍道爭覇戰 十四日擧行

全旅順劍道聯盟優勝刀爭覇戰は十四日午後一時の日曜に旅順警察署の振武館で例年の通り開催するが參加團體は十三で軍隊、學校、警察其他から九十二名の出場者あり、何れも多年に鍛練した勇者が文字通り龍虎相搏つの壯烈な試合を行ふであらう

反射鏡

關東廳では事務簡捷のため所管各課から法規の改廢に關し意見書を提出せしめたら▲道だけに意見書も仲々眞味を帶びてゐる▲勿論他の各課其他からの提出案も意見としていづれも考慮を要すべき事項のみであるが▲特に實行の容易で社會に廣く影響を與へる性質を帶びたエキスを捉えた點はうまい▲これだけ褒めて置いて其問題は何かと云ふと▲藝酌婦が外泊外出する場合現行令による認可主義を屆出主義に改めやうと云ふ意見▲社會の風紀は其れによつて何等變化はないとの理由付▲特殊婦人が社會問題化してゐる今日機宜を得た提案である▲法規の改廢を社會の進化と共に率先して研究してゐる保安課としては道に手のもの▲まだ其れより外に代書人に關すること其他があるゲナ▲勅令を仰がねば改廢のできぬものよりは手取り早い▲平野滿鐵、藤田關東兩學務課長の對面▲課長室に百燭光が一時に二個ついたよりもまぶしい頭と頭、戶の隙間からかいまみた男の噂▲其の禿つぷりはどちらが優勢だらうかと研究▲勝敗の數は神田内務局長に認めば軍扇の採配がつけられるであらうとの話▲教事の資格もこれで解決することだらうとの評判

公主嶺

大膽不敵な白晝の辻強盜
失敗して逃げ去る

市內市場町五丁目糧棧東永盛店員原籍河北省樂亭縣胡來坨孫殿英（二七）同店員蔣芳（二七）の兩名は去る十日午前九時三十分主命により朝日町二丁目糧棧萬生泉に赴き現大洋二百三十圓を受取り、更に榮町一丁目同裕銀號より鈔票四百五十一圓五十錢を受取り孫殿英は白布製の袋に現大洋二百三十圓を入れ蔣芳は鈔票四百五十一圓五十錢を懷中し鮫島通りを南行市場町に出て歸店の途中、同町四丁目荷馬車製造業合聚成ヶ前の路上に差掛りたる際尾行し來りたる二名の強盜中一賊は突如ブローニング拳銃を發射威嚇したので、蔣は恐怖の餘り附近の崔番南方に飛込み避難した瞬間、一賊は孫に組付き地上に押倒し現大洋二百三十圓を強奪し被害者の追跡を防ぐべく威嚇發砲をなし、南方に向け逃走附屬地境界の土屋橋を渡り支那町に潜入せんとする賊を勇敢な孫は之れを追跡その距離數歩に接近し、殊に白晝のこととて多くの通行人に逃走意の如くならず身邊に危險の迫つたのを感じた賊は強奪の金袋を投げて支那町に逃げ込み行方をくらましたので、孫は該金を回收歸店主人に一部始終を語り共に無事を喜び合つてゐたので屆出を失念し長時間を經て屆出に及んだのであるが、警察署は直に刑事係員を支那町に急派支那官憲と共力搜査に努めたが犯人を發見するに至らず嚴探繼續中である

驛長の交迭

公主嶺驛長深澤佳男氏は歸郷病氣靜養のため辭職十五日當地を出發することになり、立山の驛長桐ケ谷德之助氏後任として來公十一日新舊驛長は各方面を訪ひ告別と新任の挨拶をした

驛長更迭披露　公主嶺驛

長交迭披露の宴會を十四日午後六時三十分公園やまとに開催するので深澤、桐ケ谷兩氏は各方面に招待狀を發した

川本氏の榮轉　公主嶺警

察署勤務高等係主任警部補川本善四郎氏は當署在勤六ケ年間一日の如く職務に勵精裁決果斷にして溫厚寬和內外に信用を博しつゝあつたが、今回安東署に榮轉後任として貔子窩署より佐々木種夫氏來公赴任の途につく筈、氏の離公は一般より惜まれてをる

聯隊長の招宴　公主嶺駐

劄騎兵第二十聯隊長安藤氏は十二日午後五時三十分公園やまとに當地主なる日支官民を招し盛宴を張つた

鐵道警備映畫　公主嶺獨

立守備隊司令部主催鐵道警備勤務狀況實寫の活動寫眞を十三日午後七時より小學校の講堂に無料映寫多數の來觀者を歡迎すと

花柳便り

當市花柳界に於ける昨今の景氣は中の部であるが、各旗亭共紅裙連の向上を見ず餘りに月並的であつて新陳代謝が行はれぬのでパットせぬ感があるとは粹連の異口同音で、殊に太公の一枚看板小猫は鞍山に、いろはのおかよは病氣廢業の外南方に轉籍運動の妓があるとの噂、花時を控へた好季節に出る一方で新開業の喜久家では美人の本場より輸入の沙汰がないと云ふなかれ、一粒選りの若手藝妓を直輸入し陳列に及ぶと目下之れが交渉中であると廓雀のさゝやき

鐵嶺

日露役戰死者の記念碑建設計畫
新臺子驛において

新臺子居留民會長並に同驛長は去る日露戰役當時同驛占領に際し戰歿したる勇士の靈を祀るべく記念碑建設を計畫し過般來各方面に亘り當時の戰況戰死傷者等につき調査中のところ、數日前同驛攻略戰に參加せる山口左馬司（當時梅澤旅團後備步兵第四聯隊第六中隊兵士として出征）氏より回答あり、且つ若し記念碑建立と決定せば同氏郷里の會津磐梯山の小松數株を寄贈すべしとあり、戰友を追悼して「今まさに乘りとらんずる束の間に起たずなりける友をしぞ思ふ」の一首を添へてあつたが、當時新臺子驛の占領の戰況と戰死傷者の氏名は次のやうである

三月十二日午前六時四十分朱家條子を發したる中隊は新臺子驛を攻擊し午前九時五十分占領したが、敵は貨物に放火して退却せるも貨物は何れも無事なりき　捕虜は公報にては四名ありたるも今少し多數なりしやうに覺ゆ　我が戰死者は安齋新吉一名にて下腹部盲貫銃創負傷者は髙橋惣治、佐藤留五郎、岩生長治、渡邊岩太郎の四名同驛占領については種々の滑稽なる挿話あり、（下略）

輸組貸金利息

當地輸入組合昨年度下半期の組合員出資金利息並に貸付金利息は合計二千二圓五十八錢で組合では各個人分につき十二日夫々通知した

福家の花榮
自殺未遂
揮發油を嚥む

居留地大和町料亭福家の酌婦ハル榮こと下山久米野（二〇）は厭世からか意地からか、十二日午前中揮發油を嚥み自殺を圖つたが家人に見つけられ果さず、直に入院手當中であるが生命は取り止めるらしい

龍首山保勝會を組織計畫

龍首山に因む民謠俚謠と共に當地名物の考案公募は廿日を以て締切るが募集歌謠當選の上はポスターとして各驛各地に配布し名物は驛賣り等にて賣り出すべく、而して之等の主體として龍首山保勝會又は適當なる名稱のさうした團體を組織すべく有志者の間において寄々相談考究中である

死人本籍判明

去る六日法庫縣大卞子より支那馬車に乘せられ新臺子朝日町一丁目に出た渡邊西藏（四〇）の身許につき其後鐵嶺署は調査中のところ、十二日その本籍熊本縣鹿本郡城北村上野二一三一地と判明したので所轄警察署を經て同人死屍取扱方につき遺族又は近親に傳達方依賴した

質屋打擊激甚

奧地在住邦人は奉票暴落に何れも打擊を受けてゐるが、中にも質屋營業者は尤も激しいらしく昌圖城內において營業してゐた渡川正一は十二日遂に廢業した

定期檢黴成績

十二日執行の定期檢黴檢查人員は藝妓一九酌婦四三なりしが、入院を命ぜられたるは藝妓三酌婦二計五名である

三州人會延期　薩州日三

州會縣人會は來る廿一日開催すべき筈なりしも同日は青年會主催の敬老會あり會員何れも差支あるべきを慮り廿八日に延期した

朝日湯の廢業　附屬地に

も居留地にもタッタ一つの錢湯として內風呂なき在住プロのために唯一の慰安であつた朝日湯は、[illegible]て經營困難な處に過日の失火でバッタリ躓き遂に十一日廢業するに至つたが、下層者の不便と共に公衆衞生の方面から見て心ある人々は大に之れを憂へてゐる

慈善團に寄付　當地兵器

部勤務井仁氏は亡父辨吉が生前入院中鐵嶺慈善團より厚き同情と共に見舞金を寄せられたるを憶ひ今回亡父の冥福を祈るため且は同團への謝恩として十二日金十圓を寄贈した

瓦房店

邦人會社を妨害
我官憲の抗議にも應ぜず　從業員に對し惡宣傳

復州五湖咀に於ける邦人經營の粘土公司に對し支那官憲は常に壓迫を加ふべく計畫して居たが三月中旬より頻りに從業員に暴行を加ふる旨の惡宣傳をなし作業を妨害するので景知事に對し數度交渉したるも言を左右にして益々裏面的に煽動するので營口及び瓦房店の兩署より警官數名派遣目下警戒中である

三年度傳染病

瓦房店管內に於ける昨三年度中に於ける傳染病は猩紅熱六赤痢三九腸窒扶斯一四痘瘡三五實扶垤利亞三腦脊髓膜炎四パラチブス計百十名である

浮浪者を拘留

十二日午後九時頃骨格逞しき邦人三名が新市街本願寺に到り就寢中の西住職を起し石油を買ふて呉れと申込みその擧動不審なる爲め本署より河野警部補所刑事等出張搜查の結果濱松旅館に潛伏せるを同行取調べたるに石川縣生春田武雄（二七）大阪生多久和三郎（二三）富山縣生古川清長（二八）なる事自白した、本人等は一定の住所職業なく且氏名を詐稱して投宿したので何れも拘留處分に附された

飛降りて即死

十二日午前六時田家發上り客車が田家南方一哩の地點に差かゝつた際年齡二十三歲位商人風の支那人一名飛降り頭部を線路に打付け腦漿漏出して即死した、警察署より河野警部補以下急行檢視の上死體は支那官憲に引渡した

普蘭店

入江順太郎氏

普蘭店の草分として知られて居た入江順太郎氏は昨冬より健康を害し自宅に於て靜養中であつたが病勢急變八日死亡した、氏は鳥取縣の人永く普蘭店に在住して果樹園を經營し一方民會の爲に盡力し其の圓滿なる性格は常に在留民の平和を來し民會が今日の如く發達せるは偏に氏の努力に依ると言ふも過言ではない程で一般より惜まれて居る、葬儀は九日施行したが本莊署長以下官民多數の會葬者あり盛儀だつた

遼陽

運動會の協議

遼陽の春季陸上運動部では十五日午後一時から社員クラブ樓上に於て幹事會を開き左記事項に付協議すると

一、競技は家族本位か競技本位か
二、開催の時期及運動に關する打合
三、經費係員其の他

消防隊副監督

滿鐵遼陽消防隊副監督中河吉之助氏の後任は地方事務所の鈴木篤氏と八日附社報で發表された

人事

▲水町獨立守備司令官は宮地第十四師團長見送りの爲め十二日急行で來遼
▲田島顯治氏（沙河口工場技師長）は古庄庶務係長の東道で十二日各所歷訪告別挨拶
▲萩岡獨太郎氏（實業會長）金融組合設立の用件で十二日夜旅順へ
▲太田奉天地方事務所長は宮地第十四師團長に告別の爲め十二日來遼
▲末光奉天地方委員會議長　同上

東京　松坂屋　新築落成

豫ねて建築中であつた東京上野松坂屋は此程落成し四月一日開店した、建物は近世復興式鐵骨鐵筋コンクリート造りで耐震耐火に最近の學理を應用し地上八階、地下一階、屋階と合はせて十一階、總延坪九千坪他に地下道に依つて連絡の別館二千餘坪がある、店內には最新式のエレベーター十九臺、エスカレーター六臺、大小階段六本で一日二十萬人の入場客を迎ふる事が出來、尙收容一千人の大演藝場、大食堂を始め、大小展覽會場、鐵道案內所、郵局、衞生試驗所、染織試驗所等を設け屋上には動物園、遊戲場などが造られ大百貨店として新東京の一名物である

滿日婦人週報

廢娼運動を尻目に 公娼は逐年增加す
昨年は一昨年より四十萬人增加 皮肉なこの數字

公娼廢止の聲は耳にたこの出來る程唱へられたし今日まで論ぜられまた研究されて來た。衆議院本會議に公娼制度廢止案が上程され、委員附託となつたが、結局原案否決といふ運命になつた。警視廳保安部では昨年度の貸座敷

遊興者 を調査中であつたが、最近これを完成した、その結果でみると昭和二年度の遊興者は四百二十二萬二千九百六十一人昭和三年度は四百六十九萬七千二百十三人で約四十萬といふ夥しい增加を示してゐる、その中吉原と洲崎が大部分で何れも二十萬近くの遊興者があつた譯で、その揚り高は昭和二年度は一千五百九十三萬五千六十三圓、昭和三年度は一千七百五十五萬三千三百六十五圓で、百六十一萬八千餘圓の增加を示してゐる。これは昭和二年度が御大葬の翌年に當り昨年度は御大禮の盛典があつた關係もあるが大體に於いて

公娼は 年々に增加の傾向と見ても差し支へあるまい、一方には盛んに廢娼が論ぜられ理想においては一時も早く廢止すべき性質のものであるにも拘らず、斯く每年々々公娼が增加しつゝあるといふ傾向を見るにつけても廢娼論者が單なる理論に走らず深い實際に基いた研究より出發してこの公娼廢止の完成を期すべきであらう。」

「女の一念」を 社會淨化に
淨化運動には男より淸かな ……婦人の力が必要

若い女性が學窓を出て家庭社會に活躍するに就いて先づ念頭に浮ぶのは婦人は非常な力をもつてゐるといふ事である、婦人の力は敢て今日起つたものではなく昔から認められてゐる「徒然草」の中にも「女の髮すじにてよれる綱は大象もつながれる」と云ひ又「女の履ける

下駄 にてつくれる笛の音に秋の鹿は必ずよる」と云つて居りまた「女の力は牛の力よりも大きい」と云ふ事をのべ女の力の偉大な事をのべて居るが昔の力の認め方は今日と違ふ、卽ち昔の力の認め方は惡い方面のみ多く內心夜叉、外面如菩薩と云ひ又「女の一念岩をも徹す」とは婦人が嫉妬を起す言葉、それ故男子の用心が大事であると述べられ又「女に白齒は見せられぬ」等から考へれば婦人を

侮辱 する事甚だしいものであるがこれは眞理ではないこれだけの力があるとすればこれをよい方面に及ぼしたならばその

事は今こゝに例を擧げる迄もないかく

偉大 なる力を持つてゐる婦人が混濁してゐる男子の世界を淨化して貰ひたい。惡い方面に活動してゐる婦人は例外として婦人は一般に滑らかであると思ふが男子は女子に比較してそれ程淨らかなものではない、それで社會、國家の淨化には是非婦人の力が必要なのである。日本の女子は先天的に偉大な力がある、これが今日まで蔽はれて居つたのであるから女性の本體を明かに將來の

社會 の改革には進んで興り、努力して欲しい、之をなすものは女子の力より外にないと信ずる、誠に抽象的な事であつて具體的に云へば澤山あるが結局希望する處は婦人の持つ偉大なる力を家庭に社會に大いに發揮されて社會の淨化を希ふ次第である(平沼淑郎氏談)

結果は見るべきものがある事は論理上から云へると思ふ、今日はこの善良なる方面に婦人の教育は向ひつゝあるがこれは當然の事である。然し昔も惡い力だけ認めて善い方面には影響がなかつたとは云へない、英雄豪傑の傳記を讀むと必ずその母に偉人があつたといふ

御飯一杯食べて 出來る力の程度
十五貫目の米一俵を 廿間の高さに引揚ぐ

吾々の平常食べてゐる食物はすべてカロリー卽ち熱量又は溫量と稱するものを持つてゐる、これによつて生存して行く事が出來るのであるが、吾々が攝取した食物がすべて體內で熱に變化するものと假定し、それによつてなし得る仕事の程度を食品別に示すと、凡そ次のやうになる、つまり之は食品の動力化を示す譯である

◇米飯一杯――約一五〇瓦のカロリー二二〇これは仕事の程度にすると十五貫目の米俵一俵を約二十間の高さに引き上げる力

◇牛肉一切――約一〇〇瓦のカロリー一三〇、右の米俵一俵を約十三間の高さに引き上ぐ力。

◇鮪刺身一人前――約一〇〇瓦同じく十二間の高度に引き上げる力。

◇豆腐一丁――約二〇〇瓦のカロリー一二〇、これは右の刺身と同じ力。

◇鷄卵一個――約六〇瓦、カロリー九六、右の米俵を約九間半引き上ぐる力。

◇牛乳一合――約一八五瓦、カロリーは一二九、これは右の米俵一俵を約十三間の高さに引き上げる丈けの力、

◇落花生――百匁のカロリー五九〇で非常に多い事になる、これは右の米俵を五十四間引き上げ得る力に相當する。

斯やうに此の表では落花生が一番カロリーが多い事になるが、なほ鷄卵二個半は米飯一杯に相當するカロリーを持つてゐる事が分る。(糧友會調)

子供向の お獻立
生活改善同盟會の案

發育盛りの八九歳の子供には大概一日に一八〇〇位の溫量を必要とします、そこで夫に相當するお獻立一日分を參考の爲に示しませう

標準 蛋白六二瓦 溫量一八〇〇

▲朝食

一、味噌汁 味噌五匁(蛋白二、三五瓦、溫量二九)薩摩芋三〇匁(蛋白一、二瓦、溫量一二六)

一、菠薐草お浸し 菠薐草一〇匁(蛋白〇、八六瓦、溫量七、二)、醬油、味淋、味の素

▲晝食

一、支那式五目飯 筍五匁(蛋白〇、四八、溫量五、六)椎茸半匁、卵一五匁(蛋白七、四三、溫量八五、九)豚肉一〇匁(蛋白五、二五、溫量一一九、六)菠薐草三匁(蛋白〇、二六、溫量二)鹽、醬油各少量、御飯五〇匁(蛋白六、〇、溫量二七四)

▲間食

一、ホツトケーキ メリケン粉二匁(蛋白二、八、溫量五二、〇)卵一匁(蛋白〇、七、溫量六、五)ミルク〇、五勺(蛋白〇、三、溫量六、〇)砂糖二匁(溫量二八)バタ三匁(溫量八七)蜜柑小二個(蛋白一、二、溫量三、〇)

▲夕食

一、鰯の摘入れ汁(骨共) 鰯二〇匁(蛋白一六、四、溫量一一、三)葱五分、鹽、醬油少々

一、牛乳の濃川豆腐 牛乳三勺(蛋白一、九、溫量三七)寒天四分の一(溫量七五)味淋小匙半分、キヤベツ一〇匁(蛋白一、〇八、溫量一七八)米一合五勺(蛋白一四、一、溫量六八五、七)右溫量合計一七八八(生活改善同盟會案)

心すべき春の衛生
身も心も惱しき 春は一年中の危期
自己の體を知ることが肝要

春は人の心にも身體にも變化を與へる、之れは人間ばかりでなく動物も鳥類も草木も總ての生物に生ずる現象である、此時に心すべきは衛生である

◇…**衛生** とは生を守る事である、生を守る爲めには生の敵に勝たねばならぬ、生の敵とは生を破滅に導く黴菌である、その敵に打勝つ方法は敵をよく豫知する事であるチブスは食べ物から來る疫痢は子供等が外出の時の間食からよく來る、その進んで來る途を防ぐ可きである、それには第一に平常の體溫は何度であるとか、呼吸は幾らとか自分自身の容體をよく理解してゐて、若しそれに異常が起つた時は直に醫者の診察を受けねばならぬ、又自己を

◇…**眞實** に愛するならば一年に一回位は容態の診斷をなす必要がある、次には榮養であるが美味美食であれば滋養になるとは普通に感ぜられる事ではあるが今一歩進んでカロリー、蛋白、脂肪等の學理を考へての攝食が必要である、又睡眠は心身の疲勞を癒やす榮養分であり仕事も一種の榮養である、此の頃の空氣は肺の榮養である、季節は溫度高まり濕度が多く從つて細胞は盛んに運動を初める、心身は活況を呈して外界に刺戟を求めやうとする、發動的な心的變動は得て人をして輕卒、無思慮、注意散漫に導き姦通、家出、情死、墮落、誘拐などが起り易くひいては種々の

◇…**犯罪** も起る、又神經質な人は腦の充血に堪へ難くなつて頭痛、眩暈、耳鳴り等に惱み自殺精神病が多くなる、この自然が惠んだ歡樂の春の他面には惱ましい世相が伴なふ故に此處一番若きも老も男女共に只管心身の緊張と節制とを全うして一年の危機を警戒しなければならない(醫學士安齋直篤氏談)

春先きに殖える 子供の病氣
麻疹、チフテリヤ、猩紅熱等 應急の手當の仕方

七八歳の子供のかゝりやすい病氣として扁桃腺炎や耳下腺炎あるひは中耳炎などが春には殊に多い、ものであるが扁桃腺炎の時には除去して貰ふがよい、そして嗽ひをする事、耳下腺炎は俗にお多福かぜと稱へてゐるが、之はさして後に害は殘さない

◇……**水痘** と天然痘とは一寸素人は判別に苦むものであるが、天然痘は粒が揃つてゐて一時に現れるから之を知つて置くが良い、春先に於ては麻疹、チフテリア、猩紅熱などが流行る麻疹ははしかの事である、之等の病氣に罹つたら早くお醫者に見て貰ふが良い、初夏の候に於いては赤痢とか疫痢、或は小兒チブスなどが流行るから飲食の事には特に注意すべきである、又此の

◇……**年頃** に於ては虫病が多いものである、卽ち蛔蟲、蟯蟲、鉤蟲などに寄生されてその害を受ける夜中に突然飛び起きたり痙攣したりする事がある、それで每月一回宛虫くだしを飲ませるがよい、痙攣には食べ過ぎによるものがあるが、その時には灌腸してやるが良い、なほ此の年頃としていたづらの盛りの爲めに不慮の怪我をする場合が多い、外傷は直に應急の處置を施してお醫者の手當を受ける事、火傷の場合には何でも油を塗るが良い。或はゴム糊でも良い

◇……**物を** 呑みこんだ時には騷がずピンセツトか何かで挾み出すが良い。耳の穴に虫が入つた時には暗い部屋で蠟燭の火を耳に近づけると出て來るものである(岡田直一博士談)

素人に出來る 洋服の色揚法
仕上が一寸六ケしい

◇…洋服類の色のやけたり褪せた物は色揚げするか染替するより外はありません、洋服類の染色も綿絹類の染色と別段の變りはないので家庭で素人にでも立派に色揚げも染替もする事が出來ます。

◇…たゞ洋服類は嵩が多いので餘程大きな容器で染めないと斑染になり易いのです、先づ溫湯にアンモニア水をごく少量、僅かに匂ひのする程度に加へた中に約三十分位洋服を浸しておき、三つ揃ひでありましたら三つ同時にします

◇…染鍋に溫湯を充分に用意し別に茶碗等に望みの染料を熱湯で溶かし用量の三分の一位を染湯に加へ、洋服を絞らず其儘繰入れてよく攪拌し乍ら約十分間煮染め一旦洋服を取り出し殘りの染料を加へ更に洋服を入れて十分間位煮て又洋服を取り出して助劑を加へ洋服を入れて二、三十分間よく煮込み望みの色に染まつたら取り出して冷し、よく冷めてから充分に水洗ひして最後に酸を少量入れて絞つて日蔭で干します。

◇…仕上は生乾きの時か或は乾いた物に霧吹きして稍强いアイロンをかけます然し洋服の仕上は素人には困難でありますから仕上だけを洗濯屋に頼むか、或は百貨店のプレスをしてゐる處でプレスさせるのが最も便利です。

お茶のはなし
(七) 茶事の種類 速水宗泉

さらに客おの〳〵流溪に臨める手洗ひ鉢の處に降り立ちて口漱ぎ復順々に後坐の本席に進み入るや、床には古銅經筒大やつれの花入に齊の實、蘇芳半枯の一枝、梅鉢草郭公草など晩秋とり〴〵の草花を挿み、爐邊にて爐を中心として其左右に南鐐飯䆴の水指と名物切繼合せの袋裝ひし茶入とを飾り付けぬ、床花入と之れに挿みて褪せたる色の花とはさすがに晩秋蕭條の景趣を偲ばしむるに足り、爐邊の飾り付はまた見るからに幽寂の氣味を覺えけるにぞ余は思はずも讃嘆の聲を果して水屋に在りし庵主に花が耳に入りしや最と覺束なし、花は例の如く庵主が特に山中深く人を派して採取せしめ來りしものとて、都會に住める客の眼には新なるが多ければ余は之を説明して庵主が苦心の程を披露する折、この時疾くも性急の鈍翁已に茶碗類を持出して悠々に端坐し徐ろに總禮を遂げて點茶し薦むるにぞある、折柄正客花の風情を稱し且つ花入の非凡なる品柄を斷識して後其來歷を質すや、左樣いづれ大和の吉野あたりで古墳より掘出したものか天治二年といふ年號も見ゆる樣なれば八百年以前のものです、と言ふ、後に一覽を求めて之を熟觀するに其昔未だ土中に埋沒せる時に當り銹蝕など無慘にこれを損せしものか全く經筒の形を存せずして空蟬の如く僅かに其の裏面に經筒の名殘りを留め且つそれに刻める文字あるも既に處々腐蝕して左の字形を讀み得るのみ、

敬白如法 筒 勸進定俊
女弟子 天治二年七月

何人の數寄にや之を花入に應用せし所意匠寔に嘆稱すべし、この間庵主が點てゝ侑めし濃茶一碗は正客より順次喫み廻して型の如く末客喫み終り愈拜見といふ段取となりしなり、茶は眞に殘茶なりと云ふも其の保存能く行屆きたればにや香氣も失せず又其味も口切立ての如く芳潤肺腑に徹するを覺え心氣爽快言はむ方なく茶銘は宇治の里にして使用の茶器類は次の如し

水指(南鐐飯䆴、箱書付寸松庵)茶碗(長四郎作、利休在判、銘喝食)茶杓(今井宗久作、書原叟)茶器(宗旦張棗、箱書宗旦)建水(木地曲)蓋置(寂竹)

さて其品柄は概ね上揭箱書付の顔觸れに依て推知し得べく今更余が拙き筆にて彼是之れを品騰するは却て品の名譽を毀ふ虞あればこゝには只其箱書の文字を寫し出して其來歷の一端を示すに止めむと欲す、

水指箱書付佐久間宗可寸松庵、同張紙小堀遠江守政一宗甫、茶碗箱書付利休所持の內として豫宗旦より傳へ小黒に錫似とて秘藏の由旦喝食工、又宗易在世に讓之、因喝食號之宗偏

勿論其品の組合せに至りては恰も人の面の異るが如く其人々の意見に種々の相違もあらうが先づ殘茶會の催しとしては蓋し世にこの上は稀なるべく尤もこの催しに對して斯く賞揚する時はそんじよそこらに彼も名物是も名物と衒氣滿々珍器名什を並べ立てゝどうだ之れでもかと誇らむとする人もあるべけんが余が之を賞揚するは敢て去る意味のものには非ずと知るべき也、かくて濃茶一段と終りを告ぐるや薄茶の座も其儘に襲せむとあり侍婢のかの女が代點として、水指(時代藥罐、宗旦華押)茶碗(紅葉半使)換茶碗(鈍阿燒刷毛目)茶入(丹波、不昧、箱、銘野一月)茶杓(鐸庵作共筒銘猿舞)建水(張鄴曲)蓋置(同前)、

國母陛下　御慶びの日の御準備全く整ふ
來る五月、戌の吉辰を選んで御内着帶の儀を

【東京十三日發電】御懷姙中の皇后陛下の御經過は至極御順調に拜され、櫻花爛漫の今日この頃は只管輕き御運動、御散策に御攝生遊ばされてゐる、來月は五月にならせられるので五月五、十七、二十九日の戌の吉辰の内を選んで御目出度き御内着帶の儀を擧げさせられ、九月には本着帶を行はせられる御運びである、先般歸朝した盤瀨御用掛はこの頃隔日に拜診申上げてゐるが近く坂田、梅林寺兩助產婦が任命され看護婦室、產婆室も更に新な御設備をして御慶びの日の御準備は全く整つた、なは皇后陛下例年御試みの蠶は今年も御繼續遊ばされる由承る

けふ幕を明ける野球にマラソン
全市民の興味を一齊に集まるわが社の二大催し

けふ行はれる二大催し——第十四回關東州野球大會は午前十時から滿倶球場で行はれ、蔡大嶺、滿洲日報社間往復のフル、マラソンは午後一時、健脚を持む二十六人（既報に市內青年近藤庄作君追加）の韋駄天が、一齊に本社正門前をスタートする、關東州野球大會の選手諸君は午前九時三十分までに春日小學校運動場（滿倶脫衣場横）に參集されたい、入場式は午前十から行ふ

午前の試合
國際運輸對鐵道部
球審　岩瀬五郎氏
壘審　田中茂氏

午後の試合
旅順工大對工專
球審　中島謙氏
壘審　兒玉政雄氏

國際は靈峯天滿倶の投手で京錄で鳴らした木下投手に若冠ながら實業の本壘を固むるものと見られてゐる渡邊捕手のバツテリーに高橋三壘、宮武遊擊の大物を揃へ、鐵道部は一昨年まで東京帝大の投手國にあつて東正投手を輔けてゐた矢田投手、滿倶捕手として强打者だつた田村捕手のバツテリーに工專の捕手だつた廣津君が加はり、その他隱れた名手も少くない、練習に最も努力した國際との一戰は時に興味を惹くであらう

旅順工大と南滿工專の對戰は大會第一日を飾るにふさはしい好試合である、工大は昨年のメムバーに餘り變化はないが、工專は舊選手を送り、新入生中に地方中學で鳴らした新鋭を以て陣を固め、大に活躍を期してゐる、工大工專共に熱と意氣で爭ふ同志兩軍共にダークホースである點から見てもファンの血を湧かせずには居られまい

マラソンは一時出發
選手通過の沿道に印刷物を撒く

マラソンレース出場の選手諸君は午後零時三十分までに本社へ參集、胸番號を受けとりユニフォームに着代へ、スタート開始を待たれたい、賞品は

團體に　一等關東長官寄贈の優勝旗、大連市長盃、本社賞

個人に　一等滿鐵社長盃、大連市長盃、本社賞、二等市長金メダル、本社賞、三等市長金メダル、本社賞、四等市長金メダル、本社賞、五等以下二十等迄本社賞

以上のほか蔡大嶺、本社間を完全に往復決勝點に入つた者全部に參加章として本社銅牌を贈る

競技成績を樞要箇所に速報

マラソン參加選手の胸番號、住所氏名、職業、年齡、競技規定、コース、各商所の通過時刻、マラソンの各種評錄等を詳記した印刷物三萬枚を印刷して沿道その他の市民に撒布するほか、浪速町、日本橋、常盤橋、本社角、滿鐵本社前の五箇所に競走終了後の成績を貼出して速報することになつてゐる

四ツ球上達法（一）
ボークライン アーマチユア選手　村儀（談）

現今の我撞球界は今さら四ツ玉の上達を云々する程幼稚な時代でもないと思ふが何んといつても四ツ玉フアンの多い我國に於ては四ツ玉の上達を以て三ツ玉及ボークラインの階級とせねばならぬ。近時ボークラインゲームも漸次隆盛となり高點者は大分此のゲームに親しむ樣になつて來た事は誠に結構な事であるが然し如何に結構とはいへ之を初心者におすゝめする事は不可能である。

そこで四ツ玉は如何にすれば上達するといふ問題になるがこゝに三ツ玉と四ツ玉との六ケしさを比較研究して見る必要がある。例へば三ツ玉に幾種の取り方があるかといふに白玉から赤玉へ赤玉から白玉へ取るのと二通りの取り方より外にないのである。今こゝに赤玉一個を加へた四ツ玉として考へて見ると六通りの取り方が生じる事はお判りであらう。即ち只一個の赤玉を加へたのみで四通りの取り方が增した事になる。そこで此例を見ても如何に三ツ玉が四ツ玉より六ケしいかといふ事がお判りと思ふ。

四ツ玉は斯の如くやさしいものであるから相當ぞんざいに突いても當るものである。このぞんざいに突いて當るといふ事が四ツ玉上達に一番邪魔をする。丁寧に突く突かぬは其人の性格にも依るものであるから一概には云はれぬ。苟くも玉突はスポーツでありゲームであるから眞劍且つ眞面目な態度でやらなければ駄目である。

今僕が四ツ玉を突いてゐる諸君の突振りを見て直感する事は常にぞんざいな事である試みに我國に於ける世界的名手山田洗二君鈴木龜吉君等の撞球態度を見ると實に感心する事ばかりで其愼重且粘り等々我々後輩の手本となる點が多い事を感ずる山田君のを見て比較的やさしいが裏を拔ける恐れのある樣な玉があるときつとチョークをつけながら玉臺の周りを一周して第三球の現場に行き實測するところを見る又少しく六ケしい引玉などは先づおもむろにチョークをつけ丹田に力を入れ十數回もしごいて後突く動作をとる。世界的名人の山田君や鈴木君等がこの樣な眞劍な突き方をするのに我々下點者がぞんざいに突いてあたる筈がないいわんや二百・三百・五百・千點と連續した點を得る事は六ケしいと思ふ。今一つ特に輕率だと思ふのはイージーボール即ちキン玉の取方が如何にもぞんざいな事であるこれは特に諸君に望む事でキン玉は充分丁寧に難玉は當てるだけでよいと思ふ。

然るに諸君の突き振りを見るに全然正反對の感がする。金玉は實にかんたんに片付け難玉の時は特に後玉の事まで設計して突いてゐる樣である。名人が突いてもはずれる樣な難玉を初心者が後玉にまで注文を付けて當る筈がない事は誰が考へても氣の付く事である。

之に反して金玉の時は當る事だけは確實であるから此場合後玉を考へる餘裕が出來るではないか。以上は消極的に丁寧に突いて當てるといふ方法であるが次にどうすれば丁寧に突き得るかといふ積極的方法に付いて御話しよう。

ゆふべ若狭町に日本人の拳銃强盜
中津質店に入質を裝ひて闖入　騷がれて逃走す

春の夜のまだ更けやらぬ十三日午後九時ごろ市內若狹町百二十二番地中津質店にスプリングコートを着したる一見二十七、八歲と覺しき一名の日本人入質を裝ひ入り來り矢庭に隱し持ちたる拳銃を應接に出でた妻女につきつけ「金を出せ、出さぬと射ち殺すぞ」と脅しつけたので妻女は金を奧座敷に取りに行く如く見せかけ裏口より表に飛び出し「强盜々々」と連呼した爲め賊は一物をも得ず何れへか姿を晦ました、急報により大連警察署からは上郡山搜查係主任始め各刑事連時を移さず現場に急行する一方非常召集を行ひ搜查網を張つて犯人逮捕につとめたが遂に本稿締切りまでには就縛するに至らなかつた

後藤伯告別式
十六日青山齋場で　葬儀委員長は齋藤實子

【東京十三日發電】後藤伯逝去の報に接して麻布櫻田町の本邸では朝來弔問客引もきれず午前九時頃永田秀次郎氏を眞先に齋藤實子、關屋宮內次官、新渡戶博士、床次竹二郎氏等の弔問あり尙告別式は來る十六日午後一時青山齋場に於て佛式にて執行することになつたが、葬儀委員長には齋藤實子が當ることゝなつた、遺骸は青山墓地に埋葬すると
ら四時迄の間に於て官民有力者多數を招待しアツトホームを開くと

眞夜中に女給散歩　毆打さる

十三日午前二時ごろ大連伊勢町五四浪速食堂女給ミツ子こと中島正子を呼び止め「僕を醉ひ拂ひだと前に差し寬るや菊池は矢庭にミツは何事だ」と四五回續けざまに面部を毆打した上路上に突き倒し鼻腕に擦過傷を負はしめたと
より多量の鼻血を出さしめた上左支那俳優等酒間を斡旋し一同歡を盡し和氣靄々裡に散會したのは午後九時ごろであつた

愈よ本日　本社主催
關東州野球大會　午前十時入場式十時半開始
フルマラソン　午後一時本社正門前を出發

後藤伯邸へ勅使御差遣

【東京十三日發電】畏き邊では後藤伯生前の功勞を思召され敍位の御沙汰があつたが更に葬儀の前日勅使を麻布の伯邸に差遣され、前官禮遇には前例なき優渥なる御沙汰書を賜はり幣帛、祭粢料、御紳を御下賜になると承る、尙皇后皇太后兩陛下からも夫れ〴〵御使を差遣幣帛を賜はる筈である

後藤伯戒名

【京都十三日發電】後藤伯の戒名は妙信寺貫主神月徹宗師より左の如く付けられた
天眞院殿祥山棲霞大居士

うらる丸でアツトホーム

新裝成つて十五日初入港する定期船うらる丸では十六日午後一時か

夫內緣の妻小川トミ子（二五）および同小夜子こと慶太郎妻中村美壽（二〇）同久子こと淺太郎長女青柳久子（二〇）の三名は散步に浪速町と伊勢町角の菜商會前に差蒐かつた時伏見臺伏見寮內滿鐵消費組合傭人菊池淸一（三〇）および同居左官職川崎幸夫（二〇）の兩名が後方より久子を呼止めたのでミツ子ほか一名が醉つ拂つてゐるから放つておいて行かうと誘つたのが癪に障つたもの〻如く右三名が磐城町三井吳服店

花の前觸れ　蝦が漸く出盛る
昨日は百匁廿錢見當

蝦の出盛り——花時のまへぶれを告げるやうに「エビ〳〵」の聲が聞え出した、さて十三日の蝦の種々相はと云ふと百匁二十錢から二十六錢ぐらゐ云ふのは大連の水產會社の手から七千貫と云ふ大量の蝦が各市場それから奧地へと積出された、これについて水產會社の言ふところをきくと「今が出時です、これは舊の一日、十五日海水の關係時に多くとれるものです、昨日等は七千貫今日このごろのエビは山東角の彼方石島附近ですが、これからのものは山東の芝罘から秦皇島附近のもので五月の末までエビの時季安い時には百匁入錢位迄になりませう」と

片岡潜水王レニン號を引揚ぐ
モスクワ政府の依囑をうけ安徽省蕪湖に沈む

【ハルビン十二日發電】ロシヤ側の消息によればモスクワ政府は三年前安徽省の蕪湖附近で國民軍のために拿捕擊沈されたロシヤの汽船レーニン記念號の引揚げ方を日本深海興業の潛水王片岡弓八氏に依囑した、モスクワ政府は是非共同船を引揚げたい希望に燃えてゐるがその理由はレーニンの名稱の汽船が他國の領海に沈沒してゐることはロシヤ革命の元勳であり、國を擧げて崇拜の的となつてゐる故人に相濟まぬといふにある、國民政府はレーニン號の擊沈に對しモスクワ政府に遺憾の意を表してゐるので同船は近く片岡氏によつて圓滿に引揚られる筈だと

大連官民合同の外山旅團送別會
ゆふべ盛大に催さる

重任を果して原隊へ歸還する步兵第二十八旅團の大連官民合同送別會は十三日午後六時より市內監部通り泰華樓上で開催、旅團長を始め山內第五十聯隊、藤田第十五聯隊長ほか六十名、官民側約百五十名に達した、劈頭石本市長より外山旅團の功績をたゝへ其烈勵と稱へる挨拶あり、外山旅團長の懇篤なる謝辭あつて宴に移り、餘興

沙河口の火事

十三日午前十一時十分頃市內沙河口元町七一赤星藥局から出火したが、消防隊の活動に依り同藥店を半燒したのみで同十一時二十五分頃消火した、原因は火鉢の火に揮發油が引火した爲めであると

電話詐欺失敗

大連惠比須町二〇四前科一犯西檢番事務所事務手傳ひ岩田福太郎（二〇）は十二日午後八時ごろ壹岐町三丁目飲食店三福亭より浪速町三丁目洋品雜貨商一の瀨商會かたへ電話で壹岐町稅關長北代眞幸氏の名を騙り商品券十圓一枚、十五圓一枚計二枚二十五圓を注文したが怪しまれ北代かたへ電話で照會後詐欺の電話と判明、其筋に屆け出たので同店に現はれた處を張り込み中の梅村、春日兩刑事のために取り押へられた

取消申込

拜啓貴紙四月十三日夕刊所載大內相川兩派が「快樂で亂闘を演ず」と題する記事は事實甚だしく相違致し居り候につき全部御取消相成度く申入候也
昭和四年四月十三日　關東州辯護士會長大內成美
滿洲日報社御中

けふのラヂオ

昭和四年四月十四日（日曜日）
自午後〇時三十分
ニユース
自午後三時三十分
ニユース
自午後六時
一、ニユース
自午後六時二十三分（內地中繼）
一、演藝　花の洞間第七日　花の玉手箱（內容發表せず）
二、料理献立（以下自局放送）
三、天氣豫報

本社懸賞當選小說（禁無斷上演）

人生の曲藝（100）

瀨野皓太作　淺枝次朗畫

砂丘のかげ（三）

冬の陽は冷たい光を、海の上に投げかけてゐた。

彼は、その砂丘の一つに腰を下し、兩足を投げ出しながら、その海を眺めた。

小い白馬は、いくつも、彼につて岸に打ち上げられて來た。昔、ずつと昔、彼の憶出深い旅順港外の海岸に、鋼絲をした頃が思ひ出されてならなかつた。

その頃には彼の永遠の戀人なる崔紅玉が小さな綠色の短衣を着てその可愛いつぶらな瞳を、彼に投げかけてゐた。

崔紅玉の內に持つてゐる、ほんとうの魂は、その時分から彼は無意識に感じてゐたのであつた。けれども、あの日の彼女が斯くも十四年も經た今日までも彼を憫まし、彼に忘れられぬ彼女にならうとは思ひもしなかつたのであつた。しかも、その時には、彼は全く、日下部麗子と言ふ妖艶なる若き女性に心を惹かれてゐたし、その上麗子に對して純眞極まりなき愛情を捧げてゐた平井泰三と言ふ可憐な青年もゐて、この三人が可成り深刻な三角形の夫々の頂點に立つてゐたし、そんな事で、崔紅玉は度々、彼からも忘れられ勝ちであつた。

あゝ、その頃の生々とした時代は、思へば內村信策にとつてはなつかしくてたまらなかつた。

その時分に歸つて見たい。も一度、あの若々しい心に歸つて、あの汚れなき愛情をもつて、崔紅玉には、たとへ、かの黑い不吉なメダルを與へても、彼の純な愛情は恐らくその運命をも覆して了ふ樣な、そんな淸らかな心をもつた時代に歸つて見たい。

彼は、海に向つて、そんなことを呼びかけた。

太平洋岸を洗ふ大海は、彼のその聲をこだまさへせずに、しきりに、ゆれ動いてゐた。

幾千萬年とも知れない長い時が人間の生活が幾千度の變化を見せながら古い歷史を作つてゐる間も、この大海原は、たゞ斯くの如く、たゞゆれ動き、たゞ岸邊に波浪を打ちつゞけてゐたのであらう事を考へれば、彼は自分の短い今までの生涯に起つた小さな出來事などに對して、此の大海は何の感興をも引かない事に氣づいたのであつた。

けれ共、大海は、人間の生涯に起る凡ゆる悲劇も喜劇も、それこそどんなに澤山を見て來てゐるか判らないのだ。そして、今は彼のその痛ましい歷史をも同じ樣にみつめてゐるのだ。

さう思ふと、彼は最も信頼する友の如くにも、その大海を懸ふのであつた。

冬の陽は、砂丘のかげを暖かく照してゐた。まるで眞夏の頃の海岸の樣に、キラキラと砂面に輝いた。

砂のおもてに、彼はいつのまにやら、日下部麗子と平井泰三の名を書きつけてゐた。

平井泰三が、カフエ、ルミの桃色の部屋に、白大理石の卓子に倚つて、日頃は嗜まなかつたビールをあふつてゐた頃の事が、またふと彼の頭にのぼつた。彼の失意の色がその白い蒼ざめた額に上つてゐる、その頃の平井泰三の顏であつた。

又、彼は海邊でほんとうの日下部麗子の心もちに就いて、彼に話した時の、淋しさうな平井泰三の顏を憶ひ出した。

平井は、麗子ゆえに死に、麗子は彼ありしゆゑに、出奔した、その頃のあわたゞしい事件をも憶ひ出された。

內村信策が、ほんの僅かな月日のうちに、この二人を眼の前から見失ひ、そして、たゞ一人だけ、しかもその一人は彼の最も愛してゐる崔紅玉をも、見失つて了つた事などは、ほんとに諦めても諦め切れないほどな悲しい出來事であつた。

その時から、一體、今までの十何年かの長い年月を、彼はどんなに淋しい月日として送つて來た事であつたらう。

たゞ、彼はその淋しさを、その切なさを、彼の事業のなかに打ちかくして了つてゐたのだ。

「おゝ、崔紅玉、平井泰三、として日下部麗子。お前たちはたゞ、今は俺の憶ひ出のなかにだけに生きてゐて呉れるのだ」

內村は、まぶたの中の熱くなつて來るのを知つた。

その時、その淚にぬれた眼の前に、はつきりと映つたのは、さつき麗村邸を訪ふた、妖艶極まりなきかのみしらぬ婦人の姿であつた。彼女は、彼をみつめると靜かに近づいて來る樣であつた。

川柳募集課題

◇「上と下」　編輯局選
◇「聲」　藤田紫影子選
◇「春氣分」　石原靑龍刀選
▽各題五句必ず別紙に認むこと
▽本月に限り各題共十五日限

滿日社文藝係

滿日文藝　滿日俳壇

島田青峰選

ストーブ

○ 奉天　天江雨江

ストーブに客招ずるや雪の宿
幾度かストーブくべて夜學かな
ストーブの埃の障子はたきけり
ストーブに卓引き寄せて夕餉かな
日當れば見ゆる埃や露ぺチカ
ストーブや眠りこけゐるスキー人
ストーブの埃の机ふきにけり
かにかくもストーブ消して寢るとせん
ストーブに凭き机やタイピスト
ストーブに机の所變へにけり
ストーブに寢そべる犬の動かざる
窓外の吹雪を見つゝ煖爐焚く

○ 大連　伊東晃水

ストーブに椅子を進めて語りけり
掃き寄せし塵を焚きたる煖爐かな
とろ〳〵と火の見え燃ゆる煖爐かな
人遊き待合室の煖爐かな
發車後の煖爐に寄りし驛夫かな
除雪夫の入り替り立つ煖爐かな
湯たんぽの湯のたぎり居る煖爐かな
ストーブの風に鳴りつゝ燃え居たり
ストーブに掛け乾げたる襁褓かな

○ 撫順　楊柳影

ストーブや滯貨の中の見張小屋
ストーブに眼鏡曇らし入り來る
ストーブや爭ひかけて一と燃し
集金の袋持ちよる煖爐かな
鯨ひゐるスケート疲れ煖爐燃ゆ
ストーブの煙突長く座敷內
窓明けて煙吹きもどる煖爐かな

○ 哈爾賓　山崎星重

ストーブを焚く先生や分敎場
宿直の餠燒いてゐる煖爐かな
講堂や寄附のストーブ大いなる
ストーブに和む心や窓の雪
ストーブに頰ほてらして給仕かな
ストーブや句に靜まれば風の音

夕刊 滿洲日報 四月十三日

(一) 第八千二百三十三號 (日曜日) THE MANSHU NIPPO 昭和四年四月十四日 (明治卅八年十二月十五日第三種郵便物認可)

建川少將と方氏 山東警備法を懇談

最初徳州に兵を進め 邦軍撤退と同時に任に就く

【北平十二日發電】公使館附武官建川少將は答禮のため本日午前十一時半光明殿兵營に方振武氏を訪問し約一時間會談したが方振武軍の山東入りは確實なる如く最初徳州まで兵を進め日本軍の撤退を待つて山東鐵道沿線に入り孫良誠軍と協力して警備に當るべき旨及びかした、方氏は馮軍と圓滿に治安維持に任ずると稱したが建川少將は山東入りに當り相當人物を派遣し山東日本官民と融和連絡を圖ることが日本兩方面の利益なる旨を希望した

宗昌氏牟平攻略後 山東鐵沿線に進出せん

日本側に諒解を求む 劉珍年軍には離反者續出す

【北平十二日發電】張宗昌氏は目下牟平攻略軍を指揮してゐるが劉珍年軍容易に門を開かぬため坑道を穿ち城門を爆破すべく計畫し今明日中に爆破實行の筈で落城は時間の問題とされてゐる、劉軍には離反者多く一昨日之等離反者約三百名の武裝を解除し城外に放逐し絡を執りつゝありし事暴露した爲め城內より機關銃を浴びせ其の大部分を射殺せる事實あり、張宗昌氏は牟平陷落後直に兵を山東鐵道沿線に進出せしむべく日本側の諒解を求めつゝあり

蔣馮の暗闘 漸く明みに出る

蔣氏大いに憤慨す

【漢口十二日發電】蔣介石氏は最近馮軍の態度が口に中央服從を唱へながら湖北山東方面では寧ろ蔣軍と對抗的態度を執つて勝手に兵を動かして居る事實に憤慨し、馮氏の眞意を確めるため腹水にあつた韓復榘氏を當地に呼び寄せたのを手始めとして南京にある鹿鍾麟氏及び馮軍の訓練總長總洪森氏其他を漢口に呼び鹿、總兩氏は昨日南京を出發したと、一說には馮氏と廣西派とが或種の諒解の下に聯

松岡勞働代表一行出發(八日夜東京驛で)

反日會撲滅に 商震氏動かん

中央の命令あり次第

【北平十二日發電】衞戍總司令代理商震氏は國民政府より命令あらば即時武力を以て反日會を撲滅すべき意向を持ち政府及び閻錫山氏に指令を仰いだと確聞する

芳澤王兩氏 明午後愈よ會見

午前は堀內、周氏會見

【上海十二日發電】日支交渉は周龍光氏來滬の都合に依り十四日午前中今一度周氏と堀內書記官との間に下交渉をなし同日午後愈王正廷氏と芳澤公使とが會見することに決定した

滿洲の基礎を築いた後藤伯

明治大正を通じての偉勳者と、阪谷男語る(東京特電十三日發)

後藤伯とは隨分古くからの知り合で伯が內務省の衞生局長時代私は大藏省主計局の豫算課長であつた、伯は豫算の關係でよく談判に來られた、そしてその遣り口は豫算を必要とする問題はまづ豫算課長に交渉して殆ど

決定的 にして行かれた、で何時も私が相談相手になつたが鋭敏にして進歩的で而も科學的な伯は常に小心翼々たる私とは性格に於て全く違つてゐたゞめに却てよく氣が合つた日清戰役當時私は廣島の大本營に居つた、戰ひはいよ〳〵勝と決まり陣營は流行地たる支那から勝利で還つて來た兵隊を消毒せねばならぬのだから除疫所かりした者でないと遣り損なふといふので、この時兒玉大將が石黑男から後藤を推薦して來たがどうだらうと

相談を 受けた、私は勿論最適任と折紙をつけた、さうして豫算も後藤氏の思ひ通り工夫したがその結果大消毒所が出來た、伯はこんな仕事には最適任者であつた、臺灣初代總督としては列國の環視の中に兒玉大將が親任され次で私に民政長官に後藤を連れて行かうと思ふがと相談されたので其時も推薦した、暫く經つと山縣總理大臣から至急呼ばれて行くと「兒玉から臺灣經營のため六千萬圓の

公債を 承認しろ」と云つて來たが兒玉は氣が違つたのではあるまいか」と大變心配されてゐるので私は後藤長官の遣り手の事だ、大將が氣が違つたのではないと答へたので公も遂に此の計畫に贊成されたがこの時から伯の手腕も大分認められた樣だ、日露戰後私は藏相として滿洲經營をやらねばならなかつたが他所の國に總督も置けないから滿鐵を興すことゝなつた、初代總裁の人選には兒玉大將から相談を受けたので後藤を

推薦し たが大將は其の晩亡くなられ後藤も今更斷ることは出來ぬといふので就任したが私は「金と人とは引受けるから經營に專念してくれ」と云つて各省から人を引き拔き金も八千萬圓調達することを約束した、臺灣と滿洲との

基礎を 二つながら築かれた伯は明治大正を通じての偉勳者である

文化蒙古を建設

王族會議豫備會議に 哲里木盟長が提案

【長春特電十三日發】蒙古王族會議の豫備會議に於て哲里木盟長は十二日左の如き建議を中央政府に提出し各旗の承認を求めてゐる

一、蒙古の自給自決
二、土地を蒙古人民の公有とし人民及び土地は盟旗がこれを管理す
三、普通學校を設け有爲の人材を外國に留學せしむ
四、各旗及於いて河川の修築、公路の修築をなし郵便局、電信局を各旗は市に新設し電燈、電話を重要都市に設く
六、大規模の工場を起し牧畜業より生ずる毛皮其他を蒙古人の手で加工すること
六、專門家を聘し牧畜の改善を圖ること
七、警察を設け戶口調査工業の獎勵、衞生施設の改善をなし漸次社會の改善を行ふ

不戰條約諮詢奏請 當分延期に決定

犬養老や外務當局者を加へて きのふ重大閣議で

【東京十三日發電】十二日の定例閣議は午後一時より永田町首相官邸に開會、田中首相以下各閣僚出席、政府は不戰條約諮詢奏請の手續きを執るに對して樞府側の險惡なる空氣を緩和する方法を審議する重大閣議なるを以て特に田中首相より犬養長老の出席を懇請し外務省側より吉田、森兩次官、堀田歐米、松永條約兩局長等を招致し其の後外務省に於て本條約の全文に對する研究の結果並に米佛大使より批准を督促し來りたる經過につき說明する處あり

一、樞府に於て數を以て爭ふ快意を以て原文の儘の諮詢を奏請するか
一、樞府の意嚮に聽從すべきか
につき意見の交換を行つた結果政府としては今日の場合樞府と一戰を交えることは不利なりとし遂に
一、外務省の諸種の見解を一擲してインザネーム、オブ云々の字句につき留保をなして諮詢を奏請す

より外なしと云ふことに決定したとしては留保批准を上策とする、然し之れに就いては提唱國たる米國と重大交渉を生ずることであり且批准後加盟各國が承認するや否やも疑問なるため此の點に關して帝國政府は先づ之れが事情を詳述し留保批准の已むなき事を交渉諒解を求めては如何、從つて諮詢奏請の延期も亦已むを得ないとの意見に到達するに至つたが尙政府の確定的方針として固執することを避け先づ關係方面の諒解を求める事に決した模樣で從つて諮詢奏請も延期となる模樣である

而して留保批准の條約に及ぼす效果に就いては積極說と消極說の兩論に分れたが閣議は政治的解決策

金子顧問官 首相と懇談

首相官邸で

【東京十三日發電】金子樞密院顧問官は十二日午後五時永田町首相官邸に田中首相を訪問し不戰條約問題に對する樞府側の形勢につき懇談し同四十分辭去した

トロツキー氏 入獨拒絕

【ベルリン十二日發電】確なる筋より聞くところに依ればトロツキー氏のドイツ入國は拒絕されたと

內田次官 漢口に向ふ

【南京十二日發電】內田海軍政務次官は今朝南京着午後に亘り胡漢民、戴天仇、王正廷氏等を訪問し十二日夜軍艦で漢口に向け上江した

協調的 新提案作成

賠償專門委員會

【パリー十二日發電】獨逸賠償債務最終的解決の賠償專門委員會は十一日の本會議に於てフランス、イギリス、イタリー及びベルギーの四國專門委員は獨逸賠償金總額並に賠償年金の支拂を受くべき債權各國間の配分規定に關して遂に協調的新提案を作成する事に成功したが、右の新案は十三日獨逸側專門委員シャハト氏に提示するものと期待さる、尙フランス側は今回の新提案は其の要求を五割方削減してゐるものと稱してゐる

今朝五時半 後藤伯遂に薨去

きのふから假死狀態

【京都特電十三日發】十二日午前十一時全く絕望狀態に陷つた後藤伯は其後昏睡假死の狀態を續けて遂に覺醒するに至らず近親者に取り圍まれて十三日午前五時半薨去した

訂正 昨日夕刊に正午薨去の旨を報じたるは打電者の不用意に出で取扱にも手落ちあり此に訂正す

遺骸は 今夜京都發

【京都十三日發電】今曉五時三十分薨去した後藤新平伯の遺骸は午前九時家族近親者の手に依り納棺の上府立大學新館階下大廣間に移し簡單なる告別式を行つた上同夜九時五十四分京都驛發列車にて特別靈柩車を增結し家族近親者附添ひ東京の本邸に送ることゝなつた

死面をとる

家族の希望で

【京都十三日發電】後藤伯の薨去につき家族の希望に依り故伯のデスマスクを取ることゝなり、京都市東山線松原下ル上野製作所の荒谷技師は午前六時府立病院に來り伯の病室に入り直にデスマスクを取つた

醫者のいふ事を よく聞いた

後藤伯の枕頭に詰切つた 主治醫飯塚博士談

【京都特電十三日發】後藤伯の發病以來枕頭に詰め切り主治醫として治療につとめた京都府立病院の飯塚博士は語る

四日朝急報により京都驛に駈けつけ貴賓室で伯の診察をした時之は駄目だと思ひましたが取敢ず病院にお連れしてからの容體は頗る順調でした、そして五日夜少し惡くなつてから一時小康狀態を持續してゐました、伯の內臟は非常に頑强に出來てゐるため一樣の弱みをつないでゐたのですが何分老體の上に榮養の攝取が少いので衰弱を最もおそれてゐたのですが十日夜から經過面白からず十一日朝から食物の攝取全くなく正午ころから脈搏呼吸がいよ〳〵不整となりました、伯の病狀は左內腦血管の破裂でしたが大體頑健な身體であつたのと絕えず病氣に勝たうといふ努力が涙ぐましい位あで醫者の云ふことはよくきかれました

本人も 滿足でせう

嗣子市藏氏談

【京都十三日發電】薨去後の伯病室から出て來た嗣子市藏氏は暗然として語る

いろ〳〵皆樣に御心配をかけて申譯ありません、こうした旅先とは云へ多くの博士達中や病院の手厚い看護を受けて本人もさぞ滿足であつたと思ひます、私も非常に感謝して居ります

後藤伯叙位

【東京十三日發電】後藤新平伯病氣危篤の趣き天聽に達するや伯の功勞篤きを思召され左の如く特旨を以て叙位の御沙汰があつた

從二位勳一等 伯爵 後藤新平
叙正二位(以特旨位一級被進)

市會解散は 事件解決後考究

まだ一切考へてはゐない、と 田中大連民政署長談

大連市會の紛糾につれて發生した某被疑事件について一部では東京市の例にならつて市會を解散すべしとの說も起つてゐるが田中民政署長は右の如く語つた

市會乃至市長に關することは太だ遺憾ではあるが今市會を解散しやうなどといふことについては一切考へてゐない、それは司直の手によつて裁かれつゝある被疑事件が泰山鳴動鼠一疋式に終るか將又傳へられるが如き大事件となつて曝け出されるかまだ審理中でその結果を俟たねば何事も考へられないからである

兩派妥協形式で やつと役員改選

開會前から危かつた 關東州辯護士會總會

關東州辯護士會は十二日午後四時より將城町扇芳亭に於て總會を開催、會長、副會長、評議員の改選を行つた、之れより先會員の大半は大內氏を會長に小野氏を副會長に推すに一致してゐたが大連市會紛議の立場にある相川辯護士は之れを快しとせず密かに藤氏を會長に、五十村氏を副會長に推すべく猛運動を開始し、また會員內に於ても之れに策動した者あり兩派に暗雲低迷し一波瀾は免れざるものと觀測され事態容易ならざるものあつた爲め前會長の米岡氏と植賀氏が仲裁に入り兩派妥協の形式で開會、出席者十九名、早速選擧に入り投票を行つた結果

十二票 會長 大內成美氏
十一票 副會長 小野實雄氏

に當選、次いで評議員は高橋、河內山、寺島(飯)、古賀、渡久山の五氏當選、米岡前會長より旅順高等法院移轉に關しては既に設計も完成してゐる故意見あれば新會長に於て述べて貰ひたいとの引繼ぎあり、宴に移つたが遂に別項の如き紛擾を惹起した

鮮銀對小寺氏 商事調停か

併し圓滿解決は難い 加藤鮮銀總裁語る

【京城特電十三日發】東上中であつた加藤鮮銀總裁は十二日歸任したが氏は語る

小寺氏の問題は自分の就任當時手を着けたので

最初 は双方共紳士的態度で圓滿解決を望んで居つたが小寺氏の當行に對する負債千五百萬圓の擔保は債務の半半にも足りないにも拘らず當方に一言の挨拶もなく擔保外の財產を擔保として昨年六月勸銀から百五十萬圓借入れたがなほ忍んで交渉して來たが依然として何等の具體案を示さないので昨年八月に競賣の申請をしたのである、處が

俄に 狼狽して前遞信省次官米田氏を以て交渉があつた結果小寺氏が條件に反對したので圓滿解決を見なかつた、同十二月漸く契約書を交換した所が片山理事の手違ひで米田氏も手を退き競賣を實行することになつた、結局は商事調停となる譯だが圓滿解決は至難であらう、何にしろ大正九年から元利金一文も入れないので延滯利子でも九百萬圓あるには驚く、何分債務が大きいのに先方では貰つた氣で居るから始末が惡い、次に日魯漁業の問題に付

當行 は直接の關係は薄い會社幹部が相場に手を出す事はよくない、日露貿易進展も相手が第三インターナショナルと密接の關係があるから不安で手の出しやうがない、內地の金融は緩慢である、金解禁に對しては政府でも時期が來れば斷行すると思ふ、滙業銀行の破綻は支那政府に貸付けた元利金が返還されぬのでこの解決を見ぬ限りは日本としても更に資金を出すことは難しいだらう

在滿在鄕軍人の 勤務演習日割

滿洲在鄕軍人に對する昭和四年度の勤務演習は左の如く決定した

▲步兵(旅順九、遼陽二十、奉天三十三、鐵嶺三十八各聯隊)將校准士官豫備隊九月廿八日より十月廿六日まで後備役九月十五日より九月廿六日迄下士豫備役九月廿八日より十月廿六日迄後備役九月十二日より九月廿六日迄兵卒豫備役九月廿八日より十月廿六日まで後備役九月十二日より九月二十六日迄第一補充兵召集演習は兵卒後備役と同じ教育召集は七月五日より九十日間
▲騎兵(公主嶺二十聯隊)將校准士官下士兵卒第一補充兵(召集演習のみ)豫後備役とも六月十五日より七月六日まで
▲野砲山砲兵(海城廿二聯隊)將校准士官下士は八月一日から八月廿二日まで兵卒第一補充兵は八月七日より八月廿八日まで
▲重砲兵(旅順)將校下士兵卒第一補充兵(召集演習)豫後備役とも六月十日より七月一日迄
▲工兵(遼陽十六聯隊)同上八月一日より八月二十二日まで
▲經理部(旅步九、遼陽步二十、奉天步卅三聯隊)將校相當官及び豫備役准士官九月十二日より十月三日まで後備役准士官九月十二日より九月廿六日まで下士豫備役同上後備役は一年志願者出身者は九月十二日から十月三日までその他は九月十二日から九月廿六日まで
▲衞生部及獸醫部(旅步九、遼步廿、鐵嶺步卅八、海城野廿二聯隊)將校准士官、下士の豫後備役共經理部に同じ兵卒は豫後備で第一補充兵(召集演習)は九月十二日より十月三日まで十二日より九月廿六日迄

寫眞帖を寄贈

令部交替歸國した駐滿第十四師團將卒の勞苦を慰安するため大連ヶ

大觀小觀

◇不戰條約問題で、名案未だ浮び出ず、當分延期して樞府と「不戰」に決定。

◇喧しい老人連が死ぬか、內閣の壽命が終るか、根氣較べをやる氣でもあるまい。

◇遠慮すべき場合に遠慮せず、盡すべき責任はスッポかす。大連市役所はよほど調子が變だ。

◇蒙古に電燈や電話の出來る案が現はれた。これが本當の啓蒙政策

◇某事件、結局ものになるまいとの噂傳はる。から書くと今度は司法權の名譽毀損かナ。

◇毀損する筈なきものを毀損されたりと騷ぐ。蓋し自ら名譽を毀損するものか。

よりなる寫眞帖を贈る事となり各方面の贊同を得て直に調製に着手し五月初旬同師團に送附し各隊に配付を依賴する由

天氣豫報

十四日(晴)北西の風一時曇
日出五時二十分日沒六時卅九分
滿潮前零時卅五分 後一時十分
干潮前六時卅五分後七時四五分

各地の溫度

大連	七、二	五、六
旅順	六、五	四、三
營口	二、五	一、七
奉天	一、〇	〇、八
長春	二、九	〇、四

聯合艦隊出發す
第一、二艦隊相前後して 秦皇島仁川へ

碇泊七日間、大連港内外を壓して軍艦の港と化せしめた聯合艦隊第一、第二艦隊は軍艦便乘に或ひは武道試合に軍樂隊の演奏會に又は相撲大會に、講演會にあらゆる機會にあらゆる方法をもつて我海軍の威力を公開し幾多の海軍フアンを作つたが、十三日朝午前九時過ぎ第二艦隊は第一艦隊に先だつて拔錨、旗艦榛名を先頭に比叡その他廿四隻の艨艟が舳を揃へて黄海を眞直に仁川に向つて出發した、第一艦隊は秦皇島に向ふべく午後三時半旗艦陸奥をさきに山城日向とその堂々たる編成ぶりをもつて約三十餘隻が、午後五時迄に出港した

名士を乘せ 門司出帆
新船うらる丸

【門司十三日發電】大阪商船會社の大連航路新造船うらる丸は十三日朝初就航の途次門司に入港商船では關門の名士百餘名を同船に招待午前十時より船内に於て就航披露宴を張り盛會を極めた
尚ほ同船は午後一時出帆し大連に向つたが新造船の事とて乘客多く一等三十名二等九十二名三等四百五十名で殆んど滿員である木下長官夫妻及滿日社長山崎猛氏等知名の士が乘船して居る

雪で電線故障

奉天附近降雪の爲東京大連線及京城大連局管内各電信線を始め遞信家屯間に於て殆ど全線共不通となつたが同十一時半頃より漸次恢復線は昨日午前九時半頃より奉天蘇し午後二時半迄には全部恢復した

高松宮殿下に 伺候し拜謁
旅大官民兩艦隊を訪ふて 別れの挨拶を交す

これよりさき關東廳よりは藤岡警務、神田内務兩局長、その他村岡關東軍司令官、宮地第十四師團長、久保田駐在武官、二宮憲兵隊長、永山市長等同じく大連民政署より田中民政署長、高山、寺田、萩野谷長山市内各署長、滿鐵より藤根理事、牧野囑託等が午後八時と云ふに滿鐵差廻しの小蒸汽黒島丸によつて榛名御乘艦の高松宮殿下に御別れ言上の爲め榛名に伺候、一行は殿下に拜謁仰せつけられ、大角第二艦隊司令長官等にも別れをおしんで離艦、次に聯合艦隊旗艦たる陸奥に向つた、しかるにこの日は昨日來の波風荒きまゝに艦に近よれずやむを得ず艦の周圍を旋回して一同帽子を打ちふり別れを告ぐ、陸奥よりも谷口聯合艦隊司令長官が態々艦上に現はれ同じく擧手の禮をもつてこれに應へるところあつた

高松宮殿下より 酒肴料を御下賜
田中署長が代表し拜受

第二艦隊の出港に際し御挨拶のため旗艦榛名に伺候した田中民政署長は鮫島御附武官の手を經て高松宮殿下御下賜の御酒肴料
山崎滿洲日報社長、中島燕業會社々長、森軍金州民政支署長、本出日清油房常務、田中大連民政役、山崎文書課長旅順大連の各警察署長高崎鈔事務、柄澤裕泰洋行主等へも夫れ〳〵御酒肴料を御下賜遊ばされた【寫眞は本社長へ御下賜の御酒肴料】

旅大官民に長官から謝辭

谷口聯合艦隊司令長官は十三日正午久保田駐在武官を通し旅大の官民に左のメッセージの傳達を無電によつて送つて來た
大連民政署長及大連市長へ
當隊乘員貴地に於て官民御一同より熱誠なる歡迎を受け深謝に不堪出港に際し乘員一同を代表し厚く御禮申上ぐ尚益々官民各位の御健勝と御發展を祈る
右關係各方面へ御傳へを乞ふ
旅順官民各部代表へ
御厚禮を謝す御機嫌よろしく
右石本大連市長、藤井民政署長、藤原旅順民政署長、政署庶務課長、藤原旅順民政署長の八名の代表として拜受し歸署後夫れ〳〵傳達したがこの外宮殿下には關東廳の高等官、在連中の滿鐵重役、高柳牧野兩囑託藤井秘書

愈よ明日から關東州野球大會
午前十時に入場式、興味ある二試合

大連に在住する野球名選手總動員の觀ある關東州野球大會はいよ〳〵明十四日午前十時より中央公園滿俱球場に擧行する、參加ティームは精鋭をすぐつた十ティーム、參加選手は總勢實に百四十名、曾て滿俱實業の花形選手だつた球界に名だたる古つはものがあれば、同じく今を時めく滿實兩軍の現役選手として フアンの注視を集めてゐる新鋭あり、更に本年度初て實滿兩軍に加入した新顔選手もあり、或は工專、工大、大商の如き意氣と熱をもつて立つ學生團のごとき本年新入學の有力選手を多く有する點、特に大商のごときティームの全部に大變革が行はれ、殆ど新進選手を以て組織された新ティームが如何なる程度まで大會に活躍するか相當に興味のある點であり、沙河口工場ティームが傳統的の不撓不屈の粘り强さを以て戰ふところ大敵を惱ますものと見られてゐる、當日は午前十時より參加ティームの入場式、優勝旗返還式後小日山大會委員長、飯塚審判委員長のバッテリーで始球式を行ひ、同十時三十分より國際對鐵道部の試合を球審岩瀬五郎氏、壘審□□氏で行ひ右終了後午後三時より工專對工大の試合を球審中島謙氏、壘審兒玉政雄氏で行ふ豫定である、當日の觀覽席は本紙に刷込の入場券を要する、內野觀覽以外は全部解放である

出場チームの主將
【左上から】北川(消費) 山本(滿[illegible]) 矢田(鐵道部) 介田(滿[illegible]) 伊藤(鐵道事務所)
【右上から】高橋(國際) 梅本([illegible]) 野田(沙河口工場) 向田([illegible]) 池ノ江(工大)

支那海賊團の一味 蘆山丸奪取を圖る
怖るべき船員全部慘殺の陰謀 出帆直前に暴露す

【上海十二日發電】當地から廣東に通ふ日支汽船蘆山丸の乘組員全部を慘殺し汽船を貨物ごと奪ひ去らんとする一味十八名の海賊團の計畫が同船出帆二、三時間前に暴露し犯人の一味を逮捕した事件が今朝あつた、今朝六時頃黄浦江岸のガーデンブリッジ附近で擧動不審の一支那人を捕へ身體檢査をしたところ携帶せる乾葡萄箱にピストルを充滿して居たので工部局の警察に拉致し嚴重取調べの結果本日午前十一時半出帆の前記蘆山丸の航海中安川船長以下船員全部を射殺し船ぐるみ奪はんとする海賊團の一部なることを自白し、同船には船長運轉士機關士其の他の役目を努める一味徒黨十八名がそれ〴〵旅客に扮裝して乘込む豫定なることをも自白した急報に接し總領事館警察は總動員にて海賊團九名を捕縛したが殘りの者は行方不明となり目下搜索中なるが支那海賊團か三千噸からの日本定期航路船を奪はんとしたことは始めてゝ各船會社は大恐慌を來してゐる

明夏決行を目標に 第二次の横斷飛行計畫
愼重な態度を執る帝國飛行協會

【東京十三日發電】帝國飛行協會では曩に太平洋横斷飛行計畫の後始末として川西製作所との問題解決の爲め過日來屢川西側と折衝を重ねてゐたが
一、川西は一、二號機製作に要した費用約十六萬圓を協會に寄附する名目の下に受け取らず此の二臺は川西の所有とし一切其の自由處分に委す
一、横斷飛行には堪へざりしも兎も角優秀の飛行機を作つた川西の功に對し協會から獎勵の意味にて金三萬圓を寄附す
との條件で話が纏まつたので十一日午後三時から理事會を開き阪谷會長から之を報告し滿場一致之を承認した、之に依つて愈協會では第二次の横斷計畫に入ることゝなつたが、今度は愼重な態度を採り明夏決行を目標として大體次の如き方法を採ることゝなつた
一、太平洋斷横の能力ある飛行機の製作を第一とし此の費用二十萬圓は富豪の寄附を募る
一、斯くて航空局の斷行證明書を得て成功の確信がついてから初めて太平洋横斷飛行の計畫を發表し全國的の後援を俟つて擧行する

支那女誘拐犯

小崗子署司法係では露天市場二區四十三號料理店營業常殿海(三五)を引致し取調中であるが常は婦女誘拐の常習者で一昨年天津支那官憲に懲役四ケ月に處せられたが性こりもなく更に本年三月天津より三名の婦女を誘拐し來り內一名は小鳳なる妓名で自宅に娼妓稼業を爲さしめ內一名は小洋六百圓で瓦房店平康里八號李某方へ賣飛ばした事實があるが尚他に餘罪ある見込で嚴重取調中

不可解極る 市役所の態度
重大な責任を無視し 非難の聲が高かまる

大連市役所は聯合艦隊の入港に際して或は單獨で或は滿鐵、海軍協會、海務協會、滿洲日報社等との共同主催で幾多の催しをなし殊に滿鐵道場に於ける柔劍道大會及び大連運動場に於けるラグビー試合には畏くも高松宮殿下の御臺臨を仰ぐの

光榮 に浴したに拘らず艦隊側から「其儀に及ばず」との沙汰があつたからといふを理由として殿下へ對し奉りての御禮言上にも伺候せず更に十三日朝出港にさきだち別辭の交換が行はれたときにも關係各機關が均しく出席したに拘らず市からは一人も顏を出さなかつた、石本市長は假りに御遠慮申しあげたとしても之を

補佐 すべき小數賀助役のあるに一人も出頭しないのは大連市民の代表として重大なる責任を無視したものであるとして非難の聲が高い

大內、相川兩派が 快樂で亂鬪を演ず
相川氏と小野氏の口論から 辯護士會員の劍劇

十二日夜開かれた關東州辯護士會は別項(第一面)の如く役員選擧を行つて後、其の結果に憤慨せる相川氏は先づ高橋氏と摑み合をなさん計りの口論をやり一方齋藤氏對松谷、竹田兩氏の激論行はれ蜂の巣をつゝいたやうに亂れた揚句大內派は晩翠軒に相川派は快樂に流れ込み二次會に移つたが兩派合流の妥協成り晩翠組も引揚げて快樂に

乘り 込み立川、濱田、米岡三氏を除く十六名は二階散財部屋にづらりと並び始めは酒よ女よと戲談も言ひ合つてゐたが、突如相川氏は向側に座を占めてゐた小野副會長に對し「オイ小野君、君は生意氣だ、自重しろ」と血相を變へて開き直つて來たので、小野氏は「自重しろと言はれても何を自重するのか、自分は自分の信じてゐる處を遂行してゐるまでである」と答へたがこの時既に

激憤 してゐる相川氏は「何！生意氣奴が——」と言ひざま自分の前にあるコップのビールを投げつけ小野氏の頭から顏面一帶にビールを浴せかけたので古賀氏は相川氏の後方より抱き止め制止したがこの時氣早な連中は相川氏を取り卷き滅茶苦茶に鐵拳で毆打し相川氏もまた之れに抵抗して大活劇を演じた

原因は何か
三辯護士夫々かたる

右に關し小野氏は語る
相川氏はこの前の軍人宿泊問題から會長の椅子を離れた經緯などあり、今回の會長改選にも皮肉策を用ひ自己の反對の立場にある某氏を擔ぎ上げやうとして失敗した爲め胸中面白からざるものがあつたであらう、自分に對しては「副會長になつたからつて今後生意氣にするな」等と云ふから自分は「生意氣か生意氣でないか今後の態度を見て欲しい」と云つた、然うしたら相川氏は俄かに激昂して矢庭に僕の顏へビールを打つかけて挑みかゝつて來た、僕も今考へて見れば戀かつたが盃洗の水を打つかけてやりました、
また相川辯護士は語る
原因は別に何もない、只酔拂つた揚句の口喧嘩だ、けふは二日酔で頭が痛くつて寢てゐる
更に席を同じうした某辯護士は語る
「小野君は大體喧嘩するやうな男でないがあの場合に處しても只盃洗の水をかけた丈けで泰然自若として少しも反抗せず紳士としての體面を保つてゐた事は實に感心する、併し隨分不愉快であつたと見えて事件が濟んだ後も「オイ氣を取り直して飲み給へ」と盃をさしても終りまでその座を去らず浮かぬ顏して飲んでゐた

說教判決
懲役七年

大連市民を脅かした說教强盜松村藤吉に係る公判は十三日午前十一時大連地方法院に於て開廷野本判官は懲役七年を言渡した

日曜の催し

▲本社主催フルマラソン 午[illegible]時より
▲關東州野球大會 午前十時より滿俱球場において擧行
▲組合基督敎會 東京巣鴨教會牧師野口末彦氏午前十時半よりイエスの體驗の講演
▲本願寺關東別院 午後二時より悟と救赤星布教使本願と名號岩本輪番助勤
▲救世軍大連小隊 午前十時獻身者の生活西部大尉午後七時半神の淋しさ波山小隊候補生
▲日本基督教會 午前十時攝理の神白井牧師午後七時半天父の御前に手塚長老
▲幼棋會主催へボ將棋第二回月次會 正午より松山臺ラヂウム溫泉に開催同好者の參會を歡迎すると
▲大連橘會 午後六時半より市內岩代町遊樂館において洪照大津旭史氏送別琵琶演奏會
▲觀水會素謠會 午後一時より楓町中堂[illegible]邸宅にて開催

◇……杏の花は綻び泥柳も芽を吹いて花には早いが行樂の好季節が訪れた
◇……あすの日曜日の天候は風もおさまり曇模樣であつても大丈夫と若草山の觀測
◇……支那側で湯崗子溫泉對翠閣東方の土地約二十天地を買占め中學校を設置する計畫中であると【鞍山發】
◇……二日朝來撫順では氣溫が俄に低下し、攝氏三度一を示し午前十時半頃から牡丹雪が降り出した
數年前四月一日に霙が降つたが四月半に雪が降つたのは珍らしいと【撫順發】
◇……圓卓騎士團(ナイツオブ、ラウンドテーブル)は本日新會員として松平恒雄氏を招待して盛宴を張つた
其の際松平氏は演說して、秩父宮殿下東鄕元帥其の他日本の名流が此の團體の會員となつてゐる事を回想し英國の騎士道と日本の武士道は全く相似してゐる、と結んだ【倫敦十一日發電】

金剛呪門 (208)

山中峰太郎作 小田富彌畫

阿呆の尾行

——場面は西陣の番所へ移る…

壁の十兵衛と、なほ一人の男を緒方維六の邸から、捕手たちに曳かせてきた隼、尋問するより先に、朝早く女昌の家から運んできた武士の屍骸といふのを、まづ檢視した。

「ウム、この男か!……」

所司代を路に襲つて、英彦と互格に闘つてゐた覆面の男に、骨格が紛れもない。

「これが、十合の邸から、金剛盤を掠つたと?」

「さやうで。もう一人、十合の家で斬り斃された浪人體の男と、二人が御用と僞つて入つてきたと、屆けてきた者が申しますんで、しかし、金剛盤の行方は、まだどうも何とも分りませぬ」

と、土間に寢かしてある眞木兵助の屍骸を、傍で見ながら番士長が、委細を報告する。

「も一人の男は?」

「えゝそれは、まだ、十合の家の方に」

「なぜだな?」

「と申しますのは、十合の番頭も斬り斃されましたんで、そのまゝ親分に見てもらひたいと、から私が思ひまして」

「幾つ屍體を見ても、金剛盤の行方は分るまい」

「へえ……」

「が、とにかく十合の方へ、見舞がてらに行くとしよう。桂五郎さん、十合の御主人に、引合せて貰ひたいが」

と、振り向く傍に立つてる桂五郎、

「行きませう。親分が見えれア、あすこの皆が安心しますしな。お京も、あすこへ歸つてきませうから」

「では、案内して貰はうか。番士長、二人の捕物をこのまゝ打ちこんでおけ!」

虚無僧すがたの隼、桂五郎と連れだつて、番所を出ると、十合の邸へ足を向けた。

路々に、昨夜の亂鬪の始末を、殘りなく語る桂五郎、それを聞く隼、

「いや、結局、朱雀組といふ一黨の奴原が、かうした騷ぎを捲き起したのだ。御時勢が變つてくると、いろんな奴が黨派を結んで、よくない騷ぎを企らみをる。油斷のできない世の中になつてきたものだ」

「で、なんですかい、入坂の捕物の上﨟といふのも、やはりその、北大路卿の奥方だとか、さういふ向きの?」

「いゝや、違ふ。白洲でその方の水も向けてみたのだが、あの女、北大路卿の居所さへ、すこしも知らずにゐるからな。いや何とも、公卿の奥方といふ柄ぢやない。毒婦だな」

「では、正體は?」

「まだ分らぬ。今に剝げてくるだらう」

「今さきの緒方維六といふオランダ醫者と、繋がりがありますんで?」

「さア?、まづ無からうか」

「あすこの藏の中にあつた屍骸は、どうした殺され樣を?」

「藥と見た、が、オランダ醫者の使ふ藥が、おれには分らぬ。あゝ桂さん!」

「えッ、なんで?」

「後を見なさい」

「え?」

と、振りかへつた桂五郎、鼻のさきで笑ひ出した。

「フ、成程、あの阿呆が、まだ尾けてきてますな」

「煩さい阿呆だ。十合の家まで來るだらう。あいつ……お京さんを戀つてる。油斷をすると、ああいふ阿呆が反つて恐ろしい」

「〇に十字の燒印がある鍬だなんて、さツぱり分らんことを、ぬかしをりましたが……?」

「ハヽヽ、何か目星をつけたのだらう。江戸の隱密の遣り口だな」

「と言ひますと?」

「何か一つの小さな手掛りから、ズルズルと手蔓を引きださうとする。早い樣で間ぬるい。確かな樣で目星を外す」

「成程……」

二人が親げに話して行く後から、チンバを引きずり尾けてくる乙藏

……畜生ツ! この俺を、除け者にしやがツたな、今に見やがれ! 洗つてくれるぞ、あの桂五郎の奴! 天龍寺の墓發きを!……お京をどこへ、隼の奴、送りこんぢまやがつた?

と、顏を振りながら、路の片端を歩いてくる。十合の邸の横路である。

映畫と演藝

東亞は家庭向トーキー製作

日活、松竹、マキノと此の頃我國にも漸くトーキー時代を招致せんと策動して居るが、今回東亞キネマでも小野技術部長、仁科監督に命じて其の具體化に着手した、其の第一着手として最初は二三巻物の實寫に依つて試み引續き時代劇をレビュー的に影撮し、將來の對策から家庭向トーキーを製作する事になつた

第三週の映畫陣 各館上映々畫

四月第二週の映畫界は上映々畫よりも寧ろ突發した各社の配給系統動搖說が興味の中心となつた模樣であつたが、大連全市を艦隊化した聯合艦隊の出港で第三週は愈よ春シーズン映畫戰の最高頂に近づきつゝある

問題の帝國館は早くより樂譜入りのパンフレツト其他で宣傳しつゝあつた入江たか子主演の松竹小唄映畫「君戀し」をいよいよ上映するが各社の「君戀し」中最もキャストの光つた作品である、これに對抗して常に小唄映畫で大衆ファンを吸集しつゝある演藝館にては同館一流の興行法により「君戀し」と銘打つた所謂小唄映畫を上映し松竹の「君戀し」の向ふを張ると共に時代劇はマキノ特作品の「浪人街樂屋風呂解決篇」を公開し更にコロンビア映畫の「サブマリン」(潛水艇)を以て陣容を固め必勝を期してゐる、浪速館は問題の人大河内傳次郎の人氣を以て押切らんとし池田富保監督の赤穗義士三部曲の一つである大河内傳次郎主演の「天野屋利兵衛」を上映するから結局演藝館と浪速館の對戰となるだらうと觀られてゐる

協和會館映畫 スピーディ封切

大連滿鐵社員倶樂部主催で來る十五日午後七時から協和會館に於てパラマウント社特作品「ロイドのスピーディ」八巻及びダニエルス孃主演「男裝女劍客」八巻を上映、會費は大人五十錢、小人三十錢會員外八十錢である

僞稱劇團注意

朝鮮國境の警備を主題とし警備劇を組織し鮮内各地を巡業して總督府及び警務局の證認應援を得た如き宣傳で觀客を吸集する東京八王寺浦島讓治一行は僞稱してゐるものであるからとの通知が關東廳内務局に達し各警察署では注意してゐる

樂屋話

浪速館では十五日から大河内傳次郎主演の「天野屋利兵衛」を上映するが大河内が日活復歸に決定し來る廿一日頃復社するといふので▲日活歸社記念興行と銘打つて花柳界全部にハガキを以て華々しく宣傳▲ところがマキノ出張所ではそんな筈はないと一笑に附して机の抽斗から▲大河内を日活で返してくれといつてゐるが返さぬといふ電報を見せる▲松竹との解約問題で大阪に行つた林帝國館主が家主の花月館代表者河合氏を伴つて行つた事は可成り映畫人から興味を以て見られてゐる▲また一方では從業員の暗鬪を中心に盛んな流言蜚語が傳へられてゐる▲兎に角帝國館問題の落ちつき先は來る十六七日頃には目鼻がつくだらうが大連映畫界の紛糾はこれから愈よ本舞臺に入るのだらうといふ見解も下されて賑やかなこと

映畫 みたまゝ サブマリン 演藝館上映

深海の威嚇と闘ふ勇敢な潛水艇乘組員と潛水夫の息詰るやうな生命を賭した潛水作業を中心に米海軍S四十四號の事件を劇化しメロドラマ的なエピソーズを點綴して興味深く製作されたコロンビア映畫である、先づ興味は潛水艇を取扱つたところにあるが、この映畫の持つ迫眞性は物凄いものがある、この映畫ほど力強い迫眞性を持つ映畫は珍しい、海底に遭難した潛水艇に刻々に迫る死の手、海上に於ける泪ぐましい潛水作業の尊い犠牲、涙なしに見てゐられない場面の連續である、友情劇をテーマにしてそのプロットに闘の女を配しガターのテクニツクに情熱の葛藤を描き出してメロドラマ的に筋を運んでゆく過、また遺憾なく明るいメリケン水兵氣質を織込んだユーモア等[illegible]フランク、キヤプラ氏の腕は次第に冴えて最後の息もつかせぬスピード、自動艇から飛行機へそして底知れぬ海底へ——正確なテンポを以てぐんぐん觀客を引づつて行く、ジヤツク、ドーガンのジヤツク、ホルトとボツブ、メイスンのラルフ、グレイヴスの氣持よい二重奏、エロテイシズムの豔な闘の女スナツグルに扮したドロシー、レヴイア孃のコケテイツシユな演技、前半から後半への美事な轉換等近來稀に見る傑作の一として推賞に價するものがある

有島武郎全集

全十卷 申込金不要 最新型特製

内容見本 無料進呈 四月十五日締切

全集物の型を破れる實物出で、全讀書界の歡聲盛んに湧き來る

第一卷 小説集

(壹冊) 紙數六百頁 壹圓參拾錢

第一卷 ○かんかん蟲 ○An Incident ○宣言 ○半日 ○西方古傳 ○幻想 ○お末の死 ○フランセスの顏 ○潮霧 ○平凡人の手紙 ○カインの末裔 ○クラ、の出家 ○實驗室 ○凱旋 ○迷路 ○小さき者へ ○動かぬ時計 ○「死」を畏れぬ男 ○斬魔劍 ○たとへばなし ○秋風 ○ドラ ○草いきれ ▼詩・遠友夜學校々歌 ○札幌農學校々歌 其他

東京牛込 新潮社 振替東京七九七〇

新青年 5月

期待さるゝリーグ戰 ―早慶對抗 野球座談會 打つぜ!! 今度は!!

▼興味ある兩軍新チームの編成。 ▼新人小川果してプレートに立つや否や?? 熱球空に伸び行くホームランの痛快味をそのまゝに、こゝに火の樣な舌戰が交へられた――

(早稻田側) 森下雨村 松村英一 加能作次郎 (慶應側) 邦枝完二 井汲清治 和木清三郎

新緑微風漫談集 風はソヨソヨ、MaNDaNは弾む 惡くありませんな
◎だから酒は有害デアル……德川夢聲
◎密輸入異聞……安田專太郎
◎猫……内田百間
◎靜かなる復讐……岡田時彦
◎逃げ出す花婿……伴太郎

AMOUR
感覺と戀愛……正木不如丘
戀愛表情術……畑耕一
戀とピストル……M・ブラクス サトウ・ハチロー
Oh Oh Oh……

小酒井不木氏 一ヶ年振りの力作 闘爭……(堂々一百枚)
鬪爭とは何ぞ? 龍虎相搏つの意か? 然り、然り!! 鬪爭こそは人生の姿である

特選五篇
○父の不思議 稻垣足穗
○十萬圓の鞄 湯淺輝夫
○或作家の死 保村滋
○遺書に就て 渡邊溫

▽▽▽モダン大學▽▽▽ 新鮮なること初夏の朝のごとき……
チエス物語……(岩崎昶)
メイ監督……(鬼下朗大)
双眼鏡……(高橋邦太郎)
大衆音樂の方向……(小松平五郎)
妻君の法定相場……(清澤洌)

本格探偵小説傑作集
□至妙の殺人(英)オーモニア
□人間の嗅覺(英)オーモニア
□内濟金(米)ワイルド
□二つの屍體(獨)ド・ハイン
□リンウッド倶樂部事件(英)マーシャル
動物の人生(英)ジエシ

◎定價六十錢(送料二錢) 東京市小石川 博文館 (振替東京二四〇番)

講談倶樂部 五月号 六十錢

トテモ面白い

義賊五郎吉 戀と義俠の痛快物語
長篇讀切 救ひの煩惱
鬼殺しといはれた五郎吉も、愛兒千太の身の上を案じ之より善心に立返らんと千太を負つて逃げて行く折しも五郎吉御用だ!! 振りかゝる十手捕繩、今は絶體絶命、捕吏を相手に血の雨降らさんと意氣込む――その時「ホホ、、、」突然現はれた美人! この女を廻つて意外の場面展開! 讀者を泣かせ、怒らせ、波瀾萬丈! 新堀鹿人氏の快筆面白いく何人も見逃せぬ快篇!

◎主家再興の秘謀……(吉川英治)
◎密室の怪美人……(大下宇陀兒)
◎美男美女快場面……(村上浪六)
◎戀無情!……(中村武羅夫)

傑作短篇
◎戰國哀史…中村博士
◎愛國少年…横山美智子
◎名君物語…笹川博士
◎感動物語…清澤洌
◎謎の微笑…太田三郎
◎拔け雀…桂家文之助

新橋名妓の數奇な運命―◇捕鯨船秘譚……貴司山治
感激美談 世界を戰慄せしめた火藥の發明 ◇下瀨雅允博士……松村中將
紀文と奈良茂の大盡競べ痛快を極む ◇豪奢の夢……池田桃川
尊し母性愛、愛兒の行方を搜す決死の美人 ◇美しき人生……袋一平
何事ぞ?七尺二寸の巨漢とお洒落狂女 ◇謎の道行……本田美禪

◎銀の鞭……加藤武雄
◎かげらふ新嘲……大佛次郎
◎夜明前……長田幹彦
◎富士に題す魚……佐藤紅綠
◎綠青……山本(？)眞山青果
◎寛永秘劍……新堀鹿人
◎野崎村……中内蝶二

◎爐邊雜話……菊池寛
◎當代百傑人物畫傳
◎汝元來記……(物の始り)

漫談大會
◎夫婦喧嘩……細木原青起
◎贅澤くらべ……川上三太郎
◎賭の名人……吉岡鳥平
◎夢を語る……佐々木邦

◎奇怪極まる陰謀(相馬事件の眞相愈々大評判) 伯爵後藤新平
◎雨宮敬次郎大儲話(富豪三井を相手に決死の大勝負、一擧四百萬圓の利益)

探偵座談會
トテモ面白い!
明治大正怪事件の眞相公開
◆怪しい手紙の消印…錦町署の大評定
◆虱一匹で怪盜逮捕…お春殺しの眞犯人
◆搜査苦心百八十日…半陰半陽の怪老人
◆竹橋騷動と神風連…軍事探偵の話
◆前科者と諜者…成田詣の御難

出席者(イロハ順) 原胤昭 濱尾四郎 尾佐竹猛 甲賀三郎 筑波四郎 松本芳次郎 酒井周吉 庄田良 平松健一

定價六十錢 送料三錢 東京本郷 大日本雄辯會講談社 (振替東京三九〇三)

三菱商事株式會社燃料部

一、手販賣 二週年記念
一、ビードル印油
一、タイコール印油
・益々御愛用賜度候・

TIDE WATER LUBRICANTS

VEEDOL MEDIUM

ビードル印 モービル油 高級自動車潤滑油 各種内燃機關潤滑油
タイコール印 高級機械油 スチームシリンダー用 タービン用 ディーゼルエンジン用

米國タイドウオーター石油會社總代理店
三菱商事株式會社燃料部
大連支店 (電話八一五一一八一五五番)

一、手販賣 五週年記念
米國アソシエーテツド石油會社製品東洋一手販賣開始以來茲に五周年を迎へ候此の上共品質の吟味價格の低廉を旨とし貴需に應可申候間舊に倍し御引立の程希上候

一、取扱品種
一、加洲產原油重油
一、時計印ガソリン
一、コツプ印燈油
一、サイコール印モービル油
一、アポン高級機械油類

アポン印 サイコール印 CYCOL MOTOR OIL コツプ印 MORE LIGHT TO THE GALLON 時計印

米國アソシエーテツド石油會社總代理店
三菱商事株式會社燃料部
大連支店 (電話八一五一一八一五五番)

張店以東の皇軍撤退延期を正式に要求す
王正廷氏が岡本領事に對して
日本側善後策協議中

【北平十二日發電】支那官憲は先般來山東派遣軍撤退延期方を希望しつゝあつたが、九日王正廷氏は岡本領事に對し張店以西を撤兵し以東の引揚げを延期されたしと希望し、更に十一日博山より張店、青島間全部の撤兵延期を正式に要求する處あり日本側は之れが善後策につき協議中である

撤兵完了期の延期トテも免れぬ形勢
支那側警備充實を逡巡

【南京十二日發電】過日の日支山東折衝委員會で支那側は山東の現狀を以てしては青州以東に於ける山東鐵道沿線の在留日本人現地保護困難なる故この地方一帶の居留邦人を青島に引揚げさせられ度しと主張したので日本側は之れに對し其の不誠意を難じたが派遣軍幹部としても該地方邦人の危險なる狀態を知りつゝ撤兵する譯にも行かず撤兵完了期の延期は免れぬ形勢にある而して日本が支那側の事情に聽從して撤兵延期をなせば又復支那側に排日の口實を與ふる惧れがあるので極力支那側に警備充實方を督促してゐる、支那側が警備に就て責任を執る事に逡巡してゐる理由は張宗昌軍の外に馮玉祥軍が津浦線より南下し始め德州より山東に侵入せんとする形勢を示してゐるためである

撤兵は既定方針通り決行
陸軍、外務兩當局者の意見

【東京十二日發電】參謀本部の二宮第二部長及び陸軍省の梅津軍事課長は十二日外務省當局を訪問し山東派遣軍撤退に關し支那側より撤兵延期方の懇請ありたるに對し日本としては既定方針を變更せず從つて特に撤兵期を延期せざる陸軍側の意嚮を傳ふる處あり、無論外務省側も之れに贊成してゐるが只撤兵後の治安につき支那側が萬全を期し難き口吻を漏らすので憂慮してゐる、從つて山東の事態が實際危險狀態を呈するに至らば或は撤兵計畫に變更を加へ更に日本軍の再配備等の第二段の策を講ぜねばならぬと見てゐる、併し目下の形勢では支那側の事情のみに依つて漫然と撤兵延期方針を着々實行する外ないとの意見を有してゐる

蔣氏、張馮氏らを促し膠東方面の總攻擊
張軍の劉軍攻擊依然進捗せず
褚氏の戰死說傳はる

【東京十三日發電】青島發某所着電によれば劉珍年軍に對する張宗昌軍の攻擊は既に每日に亘るも依然進捗せず却つて張軍に損害多きものゝ如く且つ眞疑不明なるも褚玉璞氏は過日牟平の戰鬪で戰死したと、一方蔣介石氏は張學良氏に對し軍艦を龍口に派遣し張宗昌氏を討伐すべきことを要求、次で張學良氏の回答あり次第膠東方面の總攻擊令を下し各軍を前進せしむる豫定で馮玉祥氏にも然るべく實行方電命したと

共和同盟軍陝西に支部
西安府を攻擊

當地某所着電によれば陝西省漢中の吳新田師長は吳佩孚氏の指揮をうけ部下千五百名を率ひ去る六日同地を出發西安攻擊を開始し引續き攻圍中であるが附近の民團縣警察等は續々吳軍に加はり十二日陝西に共和同盟軍支部を組織した

論功行賞決定
次回閣議まで延期する

【東京十二日發電】山東出兵に關する陸海軍の論功行賞は既に軍部當局より奏請原案を內閣迄で提出

好調に進捗の濟南引繼事務
十六日孫良誠軍入城
治安維持につく

【青島特電十二日發】極度に動搖して居た濟南の民心も日支官憲の引繼事務が好調に進捗し十六日孫良誠の部隊入城、治安維持につくことになつたので青島に避難するもの最初の程より減少せる模樣で避難する婦女子は十九、二十の兩日に約八百名青島に引揚げる筈である

膠濟沿線の婦女子引揚
準備既に成る

【青島特電十二日發】膠濟沿線の居留民は濟南の引揚げに準じて婦女子は勿論八分かた青島に引揚げるべく既に準備がなつた

南京政府幹部の更迭

【奉天特信】南京に於ける中央政府では武漢討伐も一段落は近く蔣氏の歸來を見ると共に政府要路の大更迭を行ふ由で、其際張學良は南京方面の某重要なる要職の椅子を與へらるゝ由傳へられつゝある

不戰條約案問題と關係當事者の進退
政府が折れて留保を認めれば
後に殘る責任問題

【東京十三日發電】不戰條約問題に關し政府は大體樞府の留保主張に從ふことゝなり先づ米國の諒解を求むることゝなり樞府の主張通り政府が折れて出れば先づ本案は大した論難を見ずに樞府を通過するものと見られてゐるが、此處に問題として新に發生するものは當時の特派全權たる內田顧問官の責任問題である、字句の留保は如何にも內田全權の面目に拘るものであるから果して內田伯が面目玉を潰され乍ら晏如たるを得るや否やは重大なる懸案である、更に內田伯にしてその進退問題に觸るゝ以上本條約に携はつた直接の責任者たる松平駐英大使（當時の駐米大使）及び出淵駐米大使（當時の外務次官）も亦自然に責任問題が及ぶ譯でありしかする時は幣原外相にも自然餘波の及ぶことゝなり之等の點は大いに注目されてゐる

在外正貨對策
現送以外に方法なし

【東京十二日發電】二月末の在外正貨は九千六百萬圓にして來る十月ごろには海外諸拂に支障を來す惧れあり之れが對策は當面の急務とされ大藏省に於ても具體的方法につき種々考究しつゝあるが、其の方法として

一、政府日銀所有の外國大藏證券は既に在外正貨に計上されて居り問題とならぬ

二、日月潭、滿鐵の外債募集は英米の金利高のため當分實現不可能であるから之等民間外債買上げに補充は不可能と見る外ない

三、故に正貨現送以外の方法としては政府日銀所有の外貨公債を擔保として借入れをなす外に途が無い

而も之れは英米の金利高のため實現困難である、故に現在に於ては正貨現送以外に正貨補充の方法なしとの結論となつてゐるが、政府が正貨現送をなすとすれば平素の聲明に基き金解禁を目標とする外なしと見られてゐる

蔣馮兩氏が情勢緩和に努む

【北平十二日發電】危機一髮の感ある馮、蔣關係は馮側に於て主動的態度を避け韓復渠馬鴻逵を速に派し蔣介石氏と會見、意見の疏通を圖り更に劉鎭岡を山西に派し閻錫山に和平意見を傳達すると共に情勢緩和に努め、一方蔣介石氏もまた湖北省政府臨時主席に馮氏の代表劉驥を推さんとする等兩者共に最後的局面に至る迄の辭令交換に努力しつゝある

韓復渠軍に撤退命令
蔣馮の危機去る

【北平十三日發電】馮玉祥は十日附にて湖北進入の韓復渠軍に對し全軍武勝關に撤退するやう正式命令を發した、之が爲同方面に於ける蔣、馮兩軍の危機緩和され當分戰事行動に移ることはないであらう

天長節諸兵指揮官決定

【東京十二日發電】天長節當日に於ける諸兵指揮官並に參謀長左の如く決定した

軍事參議官　陸軍大將　井上幾太郞
天長節觀兵式諸兵指揮官被仰付
參謀本部第一部長　陸軍少將　畑俊六
天長節觀兵式諸兵參謀長被仰付

獨逸賠償年賦額

【パリー十三日發電】ドイツ賠償債務最後的解決の賠償專門委員會十二日の本會議に於て作成された聯合國側の賠償新提案は賠償年賦金を今後三十七年間十八億馬克乃至二十四億馬克と規定しその後の二十二年間は十七億馬克と定むるものと解せらる

國債償却告示

【東京十二日發電】政府は十三日の官報を以て昭和三年度中內國債額面二千八百六十二萬一千圓、外國債額面（邦貨換算）二百九萬七千圓合計三千七十二萬八千圓を買入れ、償却したる旨を告示すると

對外爲替軟弱

【神戶十三日發電】對外爲替市場は交換所大會における三土藏相の演說が金解禁に對して何等の新味なきため軟弱歩調となり、一方內地銀行に滯貨橫溢し資金の處分難に顯著なるものあり朝來生糸ビルの出廻りも正金その他の銀行に極力吸收されて市場に出廻らぬため一向響かず近物買旺盛でヂリ安商狀である

現洋帶出禁止

【奉天特信】張學良氏は最近奉票の暴落に依り私かに現大洋を省外に搬出する者多き爲め、今後省外に行く者は現大洋五十元以上の携帶を嚴禁する旨公布した

軍縮開催商議を米政府否定

【ワシントン十二日發電】當地ホワイトハウスでは海軍々縮問題討議の爲め近く國際會議を開催すべくアメリカ、イギリス間に公式又は非公式商議行はれつゝありとの報導を公式に否定した、而して來る十五日よりゼネバーに開催される國際聯盟軍縮準備委員會に出席の爲め渡歐の途に在るアメリカ側首席代表ヒュー、ギブソン氏は國際海軍々縮會議開催の交涉に關しては本國政府より何等の訓令を受けて居らぬと

蒙古王族正式會議
十五日から開く

【長春特電十三日發】蒙古王族會議の正式會議は十三日午後一時から各旗代表の茶話會を催し協議の結果十五日より交涉處に於て正式會議を開くことになつた

關東廳官制改正で免れぬ專任理事官の異動
これに伴ふ人物銓衡で一苦勞か

關東廳官制の改正は七月一日から實施されるものゝ如くであるが、官制改正の骨子は屢報の如く問題は內務局方面に於ける人事の配置に關し新任用、更迭及び異動乃至免官の多少あるものとみられる點である、特に金州、普蘭店、貔子窩の各民政支署が昇格する結果事務官方面に異動あり、又財務局の新設に伴ふ財務部には稅務課の獨立により徵稅制度の確立を期するため內定せる源田事務官の稅務課長の下に理事官一名の新任用をみるべく、海務局港務課にも亦理事官の一名增は豫算に於て決定せる點であり且つ右三民政支署の昇格により少くとも一署（金州か）のうちには理事官一名を設ける意圖あるともみられる、現在官制の專任理事官としては米內山（大連民政署財務）藤井（旅順民政署庶務）吉野（同地方）增田（同庶務）本莊宗三（普蘭店支署長）に專賣局庶務課井上勇、業務課天野作藏の二理事官を加へ七名であるが、更に理事官三名の增加が行はれるものゝ如くである右專任理事官五氏中には官制の改正により勇退組とみられるは本莊氏に大連民政署から一名ある樣子で增田理事官の事務官昇進に專任理事官の異動は免れない、從つて其の補缺としては高文にパスした山中（殖產課）、田中（文書課）篠崎（地方課）大和田（土木課）の帝大出身に高倉（會計課）の五氏あるほか特別任用による五級以上の候補者中四級では官有財產の三浦靖、主計の大森榮助、警務課の土屋於菟熊其他民政署內にも有資格者あり

二、三級

屬中にも亦人物少からず、問題は官制改正と理事官級及事務官の更迭異動は當然行はれるものゝ如くである、然し右五氏の如く高文をパスした事務官の有資格者が理事官に任用されると特別任用令によつて理事官となるべき判任官の進路は自然の勢ひとして停止されるので、理事官の異動に伴なふ人物の銓衡は多士濟々だけに產みの惱みを伴つてゐる、尙兼任理事官としては現在中村、富田、布勢の三氏がある

解決案文の字句修正も終る
日支三懸案交涉につき
堀內書記官語る

【上海十三日發電】南京での豫備交涉を終へた堀內書記官一行は今朝七時着列車で王正廷氏と同車來滬した堀內書記官は語る

前後數回の豫備交涉で南京、漢口事件解決案文及び條約廢棄問題に關する交換公文の字句修正も出來上つたから次回の兩全權の會見で正式承認を得れば調印となるのだが日本は樞密院に諮詢しなければならぬから次回の會見では調印出來まい

尙排日取締に關しては芳澤公使より詰問する筈である

索倫の開墾
近く着手する

興安屯墾局では愈々開墾期に入つたので近く着工すべく既に大體の準備も整つたが、更にロシヤに注文した蒸氣耕墾裝置の鐵九臺及播土機百九十七臺も近く到着することになつて居るので、更に山東移民五萬人を收容し大々的に事業を進める筈

邦人扱ひの日本行貨物抑留を解除
我を折つた支那官憲が

支那官憲が曩に食料品の露領輸出禁止を楯にポクラニチナヤに於いて抑留した邦人扱ひ日本行貨物に對し哈爾賓商業會議所は領事館に申請之が解除方につき支那側に交涉中のところ、支那官憲は去る十日右抑留を解除すると同時に契約濟未發送分の輸出も許可する旨通じて來た、然し今後の新規契約は相當制限を加へる由で尙外國商人の貨物に對しては絶對に許可せぬ方針であると

朝鮮博協議會
關係主任集合

【京城特電十二日發】朝鮮博覽會では十二日午前九時から日本全國の博覽會關係主任者を招き本府第一會議室に於て協議會を開いた、出席者は鐵道省、滿洲、臺灣、北海道及び各府縣六十餘名、山梨總督の挨拶につぎ今村殖產局長より朝鮮博覽會の大樣につき說明し、小島課長より各項につき逐一應答し各主任者何れも非常な意氣込みにて審議し午後四時から實地視察をした

今度は警部級の老朽淘汰や
警部補進級に伴ふ異動

關東廳警務局所管警部補の異動は既報の如く發表されたが、次で來る問題は警部級の老朽淘汰と警部補の進級に伴なふ更迭異動で、六十一名の定員中現在五十八名を有し三名の缺員となつてゐるから監察官制度の新設までに多少の更迭は免れまい

教專卒業生
資格問題の懇談

平野滿鐵學務課長は十二日午前十一時關東廳に藤田學務課長を訪問し奉天の教育專門學校卒業生の資格問題其他當面の事件に關し懇談する處あり午後一時半辭去したが、關東廳としては右卒業生に小學教師たる資格を與へるに勅令によるべきか、廳令を以てするかに關し研究を要するであらうと、然し滿鐵學務課としては廳令を以てされるやう希望する處があつたと

辭令

【東京十二日發電】

大阪府立師範學校教諭　佐藤孝太郞
任關東州公立高等女學校教諭（七等）
大連商業學校教諭　廣瀨幸太郞
依願免本官
支那公使館附武官補佐官　步兵少佐　原田熊吉
免本職
補支那公使館附武官補佐官　步兵少佐　井上淸

人事

▲木下謙次郞氏（關東長官）十五日うらる丸にて歸任
▲春日善之助氏（同秘書官）同上着任
▲山崎猛氏（本社長）同上歸任
▲寺崎由松氏（辯護士）十四日出發沿線各地へ

大阪商船の飯塚支店長は關東州野球大會の審判委員長であるが、野球は中學から高等學校へかけて選手として活躍した人▲大學卒業後臺灣に赴任してからは同地に野球熱を皷吹して或は自らチームを組織し或は審判者として鳴らしたものである▲ひとり野球のみならずランニングの方も得意であつて、其の帝大時代はボールのチームが駄目であつたので例の三島、明石などいふ人々と共に盛んに競り合つてゐた▲ソレで同君の述懐に曰く「アノ時ランニングの方に力を入れてゐたら有名な人間になれたであらうものを……」しかし今でも五千米、一萬米突くらゐは相當のレコードで走る確信があると▲孰その中に永谷君あたりに挑戰しさうな元氣である

一分增配に伴ふ豫算編成替協議
十二日滿鐵で開催す

滿鐵では一分增配に伴ひ三百八十萬圓を要するが此れが財源は鐵道部、販賣課に各百萬圓の增收を申付け更に產業助成金二百萬圓中百萬圓を天引し尙八十萬圓は他の方面から捻出する方針であるが既に本年度豫算は決定せるを以て此の爲めには豫算の編成替の必要があるので十二日午前十時より本社に於て岡、藤根、小日山各理事、竹中經理部長を始め各部長、撫順炭礦長並に鞍山製鐵所からも代表者出席豫算の編成替協議會を開き、正午休憩引續き午後一時より再開午後四時散會した

奉票稍引返す

【奉天發】慘落した奉票は十二日寄附五千百元で漸次下押し四千八百八十元から九百四十元となり前場の出來高は千二十萬であつた、後場は四千九百十元に寄付七百九十元乃至八百六十元とやゝ引戾しを示したがその原因は官銀號が奉票維持の爲め五百七十萬圓の金を賣出したためで一般では、尙六千元臺を豫想してゐる

特產

◇定期後場（銀建）
▲大豆（混保合）單位厘
▲三等大豆（出來不申）
▲豆粕（混合）單位厘
▲豆油（保合）單位錢
▲高粱（強調）單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

◇現物後場（銀建）
▲包米　出來不申

銘柄	寄付	大引
混保（袋込）	六〇六〇	六〇六〇
大豆・裸物	[illegible]	[illegible]
三等大豆	出來不申	
豆粕	二〇四〇	二〇五〇
豆油	[illegible]	[illegible]
高粱	[illegible]	[illegible]
包米	出來不申	

錢鈔

◇定期後場（單位錢）
◇現物後場（單位錢）

	寄付	高値	安値	大引
[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

商品

後場

銘柄	約定期	値段	枚數
麻袋	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鐵筋	延四月末	四二五	一〇

出來高　一萬枚
綿糸布（出來不申）
麥粉（出來不申）

神戶特產物（十三日）

銘柄	値段
大豆現物	[illegible]
先物	[illegible]
豆粕現物	[illegible]
先物	[illegible]
滿洲小麥	[illegible]
豆油現物	[illegible]

大阪株式

銘柄	後場寄	後場引
大株新	[illegible]	[illegible]
大紡新	[illegible]	[illegible]
鐘紡新	[illegible]	[illegible]
日糖	[illegible]	[illegible]
郵船	[illegible]	[illegible]
東新	[illegible]	[illegible]

東京株式

銘柄	後場寄	後場引
東株新	[illegible]	[illegible]
東新	[illegible]	[illegible]
五品	[illegible]	[illegible]

東京株式（短期）

銘柄	後場寄	後場引
[illegible]	[illegible]	[illegible]

大阪期米

限月	後場寄	後場引
[illegible]	[illegible]	[illegible]

フル・マラソン競走 競技參加者決定
健脚に固い自信を持つ二十五名 愈よ今十四日決行

本社主催のフル、マラソンは全市の興味をこゝに集めていよ〳〵今十四日午後正一時より擧行されることゝなつた、締切當日までに參加を申込んだ選手は團體として遞信倶樂部一、個人は總員廿五名でこれらの人々は已に走路たる大連市中附近を屢次往復して充分の練習を積み、各自己の記錄を高むることに腐心してゐる、參加決定者は左のごとく、申込者の數は必ずしも多いとは言へぬが、本年の參加者は從來の經驗によつてマラソンレースの實質をよく味はひ、解氷以來二ケ月近くに亘つて、孜々營々血の滲むやうな練習を積んだ固い自信を有する眞面目な健脚家のみを網羅したもので、號砲を合圖に本社前をスタートしてから、決勝點たる本社前に歸着するまで終始接戰を續けることであらうと豫想されてゐる

個人競技者
(上の括弧内は胸番號)

(1)岡田 正(滿鐵消費)
(2)川崎 一郎(無)
(3)村上 英壽(大民水道係)
(4)宮本平次郎(體育研究所)
(5)中本 忠利(遞信倶樂部)
(6)周 武達(大連商業)
(7)栗山 徹雄(沙河口工場)
(8)松本丈太郎(遞信倶樂部)
(9)緒方 東(學生)
(10)雪野 昇(沙河口青年)
(11)渡邊 逸(大連驛)
(12)八重垣榮次郎(鐵道事務所)
(13)鈴木熊次郎(遞信倶樂部)
(14)山田 一一(滿鐵社員)
(15)中江 一男(店員)
(16)木下 儀利(遞信倶樂部)
(17)佐藤 昌平(會社員)
(18)諸澄 哲則(無)
(19)志水 政市(遞信倶樂部)
(20)笠松 常洲(大民水道係)
(21)松本喜代次(沙河口工場)
(22)岩佐 勇一(大連商業)
(23)田中 竹雄(無)
(24)花田 一彥(滿鐵地方部)
(25)山田 盛一(旅順一中)

團體競技者
遞信倶樂部

(5)中本 忠利 (8)松本丈太郎 (13)鈴木熊次郎 (16)木下 儀利 (補缺)志水政市

選手通過時刻
正午後一時 本社前出發
一時五分頃 常盤橋通過
一時三十分頃 星ケ浦東門通過
一時五十分頃 小平島口通過
二時十分頃 蔡大嶺引返點
二時卅五分頃 小平島口通過
三時 星ケ浦東門通過
三時三十分頃 常盤橋通過
三時卅五分頃 本社前到着

應援者の注意
出場選手應援のため自動車、自轉車、オートバイ其他の方法を以て選手に附添ふて走る事又は走路に立入り他の競技者の妨害となる可き行爲に出づることは競技の反則行爲である、若しさう云ふ反則行爲があつた場合には折角奮鬪して居る選手が除外されることになり甚だ氣の毒な結果になる、應援の各位は特に此の點につき注意されたい

競技者へ注意
競技に參加を申込んだ競技者諸君は當日正午迄に滿洲日報社に參集、更衣、胸番號受領、着衣其他の保管を本社係員へ申出づる等萬般の處理をなし、競走開始時刻に遲れ競技より除外されぬ樣注意されたく、着衣を一纏めにしたものは保管に應ずるが貴重物を預かることは御斷りする

救護班設置
競技者が競技中負傷若くは急病を發したる際の救急處置を遺憾なからしむるために自動車を以て救護班を組織し、大連醫院醫員丘田侃三氏及び看護婦二名之に乘込み競技中の事故に對しては敏速に應急手當を願ふことにしてあるから、競技者は遠慮なく申出でられたい、但し競技終了後に於ての責任は別である

水雷校殉難者に 御菓子料下賜
【東京十二日發電】畏き邊では十一日水雷爆發の椿事を聞し召され十二日午後零時四十分今村御附武官を水雷學校に差し遣はされ死傷者に對し御菓子料として金一封を御下賜あらせられた

花の前觸れ 蝦が漸く出盛る
昨日は百匁廿錢見當

蝦の出盛へ―花時のまへぶれを告げるやうに「エビ〳〵」の聲が聞え出した、さて十三日の蝦の種々相はと云ふと百匁二十錢から二十六錢疕きのふは大連の水産會社の手から七千貫と云ふ大量の蝦が各市場それから奧地へと積出された、これについて水産會社の言ふところをきくと「今が出時です、これは舊の一日、十五日海水の關係時に多くとれるものです、昨日等は七千貫今日このごろのエビは山東角の彼方石島附近ですが、これからのものは山東の老鐵から秦皇島附近のもので五月の末までエビの時季安い時には百匁八錢位迄になりませう」と

後藤伯告別式
十六日青山齋場で 葬儀委員長は齋藤實子

【東京十三日發電】後藤伯逝去の報に接して麻布櫻田町の本邸では朝來弔問客引もきれず午前九時頃永田秀次郎氏を眞先に齋藤實子、關屋宮內次官、新渡邊博士、床次竹二郎氏等の弔問あり尙告別式は來る十六日午後一時青山齋場に於て佛式にて執行することになつたが、葬儀委員長には齋藤實子が當ることゝなつた、遺骸は青山墓地に埋葬すると

後藤伯邸へ 勅使御差遣
【東京十三日發電】畏き邊では後藤伯生前の功勞を思召され敍位の御沙汰があつたが更に葬儀の前日勅使を麻布の伯邸に差遣され、前官禮遇には前例なき優渥なる御沙汰書を賜はり幣帛、祭粢料、御紋章付銀盃を御下賜になると承る、尙皇后皇太后兩陛下からも夫れ〴〵御使を差遣幣帛を賜はる筈である

後藤伯戒名
【京都十三日發電】後藤伯の戒名は妙信寺貫主納月徹宗師より左の如く付けられた
天眞院殿祥山棲霞大居士

軍艦觀覽の 人數調べ
幾多の海軍ファンをこしらへて、すつかりおなじみになつた帝國聯合艦隊は愈十三日出港と決定したが、四日間にわたる軍艦見學者數は一日目團體千五百六名、一般五百九十九名、二日目團體千四百二名、一般九百三十一名、三日目團體千八百六十七名、一般千五十一名で四日目は荒天のためグツと減じ團體三百四十一名、一般なしの計七千百九十七名、昨年の一萬四千五百七十四名に比較するとズツと減少してゐるがこれは支那人に一切觀覽させなかつたこと、巡洋艦由良を十四五番バースに繫留沖に出なくても隨意に見られたこと等が影響してゐる、之に反し學生團體の見學は昨年に比し二倍以上の增加であると

盛會だつた海軍講演會
「ゼネバ會議の概要」に就て十二日午後七時から協和會館に於て山城艦長豐田貞次郎氏の海軍講演會が催された、二時間半に亘る氏の得意の辯舌に聽衆は多大の感動を與へられ九時半散會した(寫眞豐田艦長(上)と聽衆)

四ツ球上達法(一)
アーマチユア ボークライン 選手 豐 儀 村

現今の我撞球界は今さら四ツ玉の上達を云々する程幼稚な時代でもないと思ふが何んといつても四ツ玉フアンの多い我國に於ては四ツ玉の上達を以て三ツ玉及ボークラインの階級とせねばならぬ。近時ボークラインゲームも漸次隆盛となり高點者は大分此のゲームに親しむ樣になつて來た事は誠に結構な事であるが然し如何に結構とはいへ之を初心者におすゝめする事は不可能である。

そこで四ツ玉は如何にすれば上達するといふ問題になるがこゝに三ツ玉と四ツ玉との六ケしさを比較研究して見る必要がある。例へば三ツ玉に幾種の取り方があるかといふに白玉から赤玉へ赤玉から白玉へ取るのと二通りの取り方より外にないのである。今こゝに赤玉一個を加へた四ツ玉として考へて見ると六通りの取り方が生じる事はお判りであらう。即ち只一個の赤玉を加へたのみで四通りの取り方が增した事になる。そこで此例を見ても如何に三ツ玉が四ツ玉より六ケしいかといふ事がお判りと思ふ。

四ツ玉は斯の如くやさしいものであるから相當ぞんざいに突いても當るものである。このぞんざいに突いて當るといふ事が四ツ玉上達に一番邪魔をする。丁寧に突く突かぬは其人の性格にも依るものであるから一概には云はれぬ。苟くも玉突はスポーツでありゲームであるから眞劍且つ眞面目な態度でやらなければ駄目である。

今僕が四ツ玉を突いてゐる諸君の突振りを見て直感する事は常にぞんざいな事である試みに我國に於ける世界的名手山田浩二君鈴木龜吉君等の撞球態度を見ると實に感心する事ばかりで其愼重且粘り等々我々後輩の手本となる點が多い事を感ずる山田君のを見て比較的やさしいが裏を拔ける恐れのある樣な玉があるときつとチョークをつけながら玉臺の周りを一周して第三球の現場に行き實測するところを見る又少しく六ケしい引玉などは先づおもむろにチョークをつけ丹田に力を入れ十數回もしごいて後突く動作をとる。世界的名人の山田君や鈴木君等がこの樣な眞劍な突き方をするのに我々下點者がぞんざいに突いてあたる筈がないいわんや二百・三百・五百・千點と連續した點を得る事は六ケしいと思ふ。今一つ特に輕率だと思ふのはイージーボール即ちキン玉の取方が如何にもぞんざいな事であるこれは特に諸君に望む事でキン玉は充分丁寧に難玉は當てるだけでよいと思ふ。

然るに諸君の突き振りを見るに全然正反對の感がする。金玉は實にかんたんに片付け難玉の時は特に後玉の事まで設計して突いてゐる樣である。名人が突いてもはずれる樣な難玉を初心者が後玉にまで注文を付けて當る筈がない事は誰が考へても氣の付く事である。

之に反して金玉の時は當る事だけは確實であるから此場合後玉を考へる餘裕が出來るではないか。以上は消極的に丁寧に突いて當てるといふ方法であるが次にどうすれば丁寧に突き得るかといふ積極的方法に付いて御話しよう。

愈よ本日 本社主催
關東州野球大會
午前十時入場式十時半開始
フル、マラソン
午後一時本社正門前を出發

眞夜中に 女給散步
毆打さる
十三日午前二時ごろ大連伊勢町五四浪速食堂女給ミツ子こと中島正夫內緣の妻小川トミ子(二〇)および同小夜子こと歷太郎妻中村美雪(二〇)同久子こと淺太郎長女青柳久子(二〇)の三名は散步に浪速町と伊勢町角の榮商會前に差蒐かつた時伏見臺伏見寮內滿鐵消費組合傭人菊池滿一(二〇)および同居左官職川崎幸夫(二〇)の兩名が後方より久子を呼止めたのでミツ子ほか一名が醉つ拂つてゐるから放つておいて行かうと誘つたのが癪に障つたもの〻如く右三名が磐城町三井吳服店前に差し蒐るや菊池は矢庭にトミ子を呼び止め「僕を醉ひ拂ひだとは何事だ」と四五回續けざまに面部を毆打した上路上に突き倒し鼻より多量の鼻血を出さしめた上左腕に擦過傷を負はしめたと

議會暴行事件
【東京十二日發電】議會の亂鬪事件に關し桝谷、松田(竹)工藤の

濠洲橫斷機 のサ號墜落
【メルボルン十二日發電】濠洲大陸無着陸橫斷飛行の壯途に出發し先月三十一日以來行方不明を傳へられたサザン、クロス號機はサウス、ポート、ジョージより三十マイルの地點に於て泥土中に墜落してゐるを發見した

荒谷野球團に 明大軍勝つ
七對五にて
【カリフオルニア、サンタマリヤ十一日發電】米國遠征中の明大野球團は本日當地で荒谷野球團と試合し七對五で明大快勝した

隧道天井墜落
工夫八名下敷
【長崎十二日發電】十一日午後一時五十分頃長崎縣北松浦郡今福村伊佐鐵道御峰隧道南入口より十一間奧で突然天井の岩面墜落し工事中の工夫八名が其の下敷となり三名は救助されたが殘り五名は目下救助作業中

けふのラヂオ
昭和四年四月十四日(日曜日)
自午後〇時三十分
ニユース
自午後三時三十分
ニユース
自午後六時
一、ニユース
自午後六時二十三分(內地中繼)
一、花の兩間第七日
花の演藝花の玉手箱(內容發表せず)
二、料理獻立(以下自局放送)
三、天氣豫報

兩替店に 二人組强盜
主人を即死せしめ一名捕る
【安東特電十二日發】十二日午前六時支那街興隆街兩替店際喜號へ二名の强盜押入り主人に拳銃を突付け金を强要したが、之に應ぜぬので射擊し三發のうち二發は主人の頭部と胸部に命中し即死せしめた、物音に驚いて馳せつけた近隣者や巡警のために目的を果さずその場から逃走を企てたが、惡運つきて兇賊の一名劉明山は巡警に逮捕されその片割れである孫徹山は遂に行方を晦ました

入船町で 油草燒く
十二日午後九時ごろ市內入船町海岸に野積中の油草から發火約十萬斤を燒失し各消防署員の必死の努力で漸く十時鎭火したが、何分油を取つた草のことゝて火焰物凄く仲々の騷ぎであつた、同草は舟から揚げた許りのもので所有者は不明であるが損害は約五千圓である、原因取調べ中

三代議士は公務執行妨害の罪で起訴され豫審に附されてゐたが、十二日午前十時半秋山豫審判事、松阪檢事の一行は議事堂に臨み當時の模樣につき詳細に實地檢證を遂げた

本社懸賞當選小說　人生の曲藝（100）

（禁無斷上演）

瀬野皓太作　淺枝次朗畫

砂丘のかげ（三）

冬の陽は冷たい光を、海の上に投げかけてゐた。

彼は、その砂丘の一つに腰を下し、兩足を投げ出しながら、その海を眺めた。

小い白馬は、いくつも、彼にのつて岸に打ち上げられて來た。昔ずつと昔、彼の憶出深い旅順港外の海岸に、網をした頃が思ひ出されてならなかつた。

その頃には彼の永遠の戀人なる崔紅玉が小さな綠色の短衣を着てその可愛いつぶらな瞳を、彼に投げかけてゐた。

崔紅玉の内に持つてゐる、ほんとうの魂は、その時分から彼は無意識に感じてゐたのであつた。

けれども、あの日の彼女が斯くも十四年も經た今日までも彼を惱まし、彼に忘れられぬ彼女にならうとは思ひもしなかつたのであつた。

しかも、その時には、彼は全く、日下部麗子と言ふ妖艶なる若き女性に心を惹かれてゐたし、その上麗子に對して純眞極まりなき愛情を捧げてゐた平井泰三と言ふ可憐な青年もゐて、この三人が可成り深刻な三角形の夫々の頂點に立つてゐたし、そんな事で、崔紅玉は度々、彼からも忘れられ勝ちであつた。

あゝ、その頃の生々とした時代は、思へば内村信策にとつてはなつかしくてたまらなかつた。

その時分に歸つて見たい。も一度、あの若々しい心に歸つて、あの汚れなき愛情をもつて、崔紅玉には、たとへ、かの黒い不吉なメダルを與へても、彼の純な愛情は恐らくその運命をも覆して了ふ樣な、そんな淸らかな心をもつた時代に歸つて見たい。

彼は、海に向つて、そんなことを呼びかけた。

太平洋岸を洗ふ大海は、彼のその聲をこだまさへせずに、しきりに、ゆれ動いてゐた。

幾千萬年とも知れない長い時が人間の生活が幾千度の變化を見せながら古い歴史を作つてゐる間も、この大海原は、たゞ斯くの如く、たゞゆれ動き、たゞ岸邊に波浪を打ちつゞけてゐたのであらう事を考へれば、彼は自分の短い今までの生涯に起つた小さな出來事などに對して、此の大海は何の感興をも引かない事に氣づいたのであつた。

けれ共、大海は、人間の生涯に起る凡ゆる悲劇も喜劇も、それこそどんなに澤山を見て來てゐるか判らないのだ。そして、今は彼のその痛ましい歴史をも同じ樣にみつめてゐるのだ。

さう思ふと、彼は最も信頼する友の如くにも、その大海を思ふのであつた。

冬の陽は、砂丘のかげを暖かく照してゐた。まるで眞夏の頃の海岸の様に、キラキラと砂面に輝いた。

砂のおもてに、彼はいつのまにやら、日下部麗子と平井泰三の名を書きつけてゐた。

平井泰三が、カフエ、ルミの桃色の部屋に、白大理石の卓子に倚つて、日頃は嗜まなかつたビールをあふつてゐた頃の事が、またふと彼の頭にのぼつた。彼の失意の色がその白い蒼ざめた頰に上つてゐる、その頃の平井泰三の顏であつた。

又、彼は海邊でほんとうの日下部麗子の心もちに就いて、彼に話した時の、淋しさうな平井泰三の顏を憶ひ出した。

平井は、麗子ゆゑに死に、麗子は彼ありしゆゑに、出奔した、その頃のあわたゞしい事件をも憶ひ出された。

内村信策が、ほんの僅かな月日のうちに、この二人を眼の前から見失ひ、そして、たゞ一人だけ、しかもその一人は彼の最も愛してゐる崔紅玉をも、見失つて了つた事などは、ほんとに諦めても諦め切れないほどな悲しい出來事であつた。

その時から、一體、今までの十何年かの長い年月を、彼はどんなに淋しい月日として送つて來た事であつたらう。

たゞ、彼はその淋しさを、その切なさを、彼の事業のなかに打ちかくして了つてゐたのだ。

「おゝ、崔紅玉、平井泰三、として日下部麗子。お前たちはたゞ、今は俺の憶ひ出のなかにだけに生きてゐて呉れるのだ」

内村は、まぶたの中の熱くなつて來るのを知つた。

その時、その涙にぬれた眼の前に、はつきりと映つたのは、さつき藤村邸を訪ふた、妖艶極まりなきかのみしらぬ婦人の姿であつた彼女は、彼をみつめると靜かに近づいて來る樣であつた。

川柳募集課題　編輯局選

◇「上と下」
◇「聲」　藤田紫影子選
◇「春氣分」　石原靑龍刀選

▽各題五句必ず別紙に認むこと
▽本月に限り各題共十五日限

滿日社文藝係

滿日文藝

滿日俳壇　島田靑峰選

ストーブ

○　樽臺　天江雨江

ストーブに客招ずるや雪の宿
幾度かストーブくべて夜學かな
ストーブの埃の障子はたきけり
ストーブに卓引き寄せて夕餉かな
日當れば見ゆる埃や置ペチカー
ストーブや眠りこけゐるスキー人
ストーブの埃の机ふきにけり
かにかくもストーブ消して寢るとせん
ストーブに近き机やタイピスト
ストーブに机の所變へにけり
ストーブに寢そべる犬の動きをる
窓外の吹雪を見つゝ煖爐焚く

○　大連　伊東晃水

ストーブに椅子を進めて語りけり
掃き寄せし塵を焚きたる煖爐かな
とろ〱と火の見え燃ゆる煖爐かな
人溢き待合室の煖爐かな
發車後の煖爐に寄りし驛夫かな
除雪夫の入り替り立つ煖爐かな
湯たんぽの湯のたぎり居る煖爐かな
ストーブの風に鳴りつゝ燃え居たり
ストーブに掛け擴げたる濡襁褓かな

○　撫順　揚柳影

ストーブや雜貨の中の見張小屋
ストーブに眼鏡曇らし入り來る
ストーブや爭ひかけて一と燃し
集金の袋持ちよる煖爐かな
憩ひゐるスケート疲れ煖爐燃ゆ
ストーブの煙突長く座敷内
窓明けて煙吹きもどる煖爐かな

○　哈爾賓　山崎星[illegible]

ストーブを焚く先生や分教場
宿直の餅燒いてゐる煖爐かな
講堂や寄附のストーブ大いなる
ストーブに和む心や窓の雪
ストーブに頰ほてらして給仕かな
ストーブや句に靜まれば風の音